

# 垂井町の現状分析・課題整理

第6次総合計画策定のための背景資料

平成29年8月21日

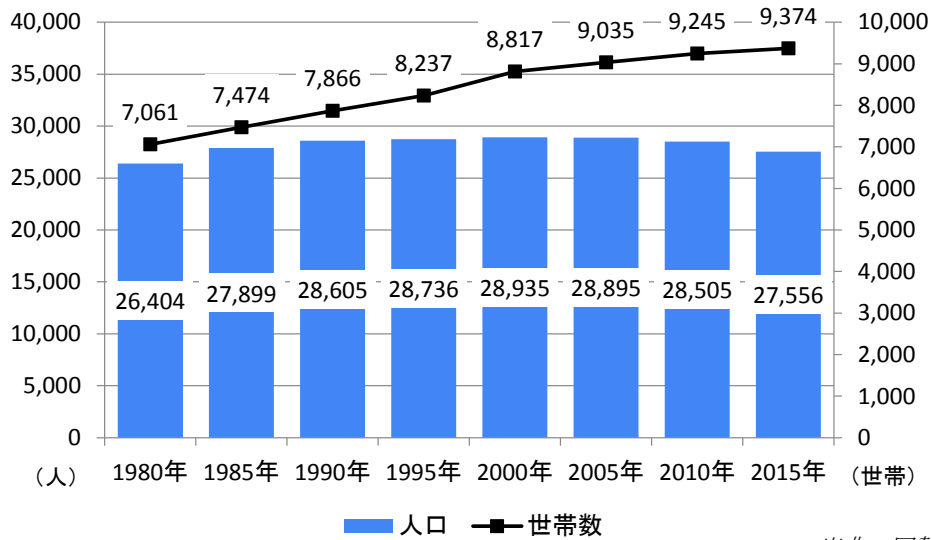
## もくじ

1	垂井町の概況	1
2	アンケート調査の総括	3
3	各分野における課題	19
	(1) 安全・安心	19
	(2) 教育・生涯学習・文化	25
	(3) 子育て・健康・福祉	31
	(4) 地域環境	41
	(5) 産業・交流	44
	(6) 都市基盤	57
	(7) 協働	62
	(8) 行財政運営	67
4	垂井町男女共同参画プラン懇話会における主要意見	75
5	高校生ワークショップにおける主要意見	77
6	住民ワークショップにおける主要意見	85

## 1 垂井町の概況

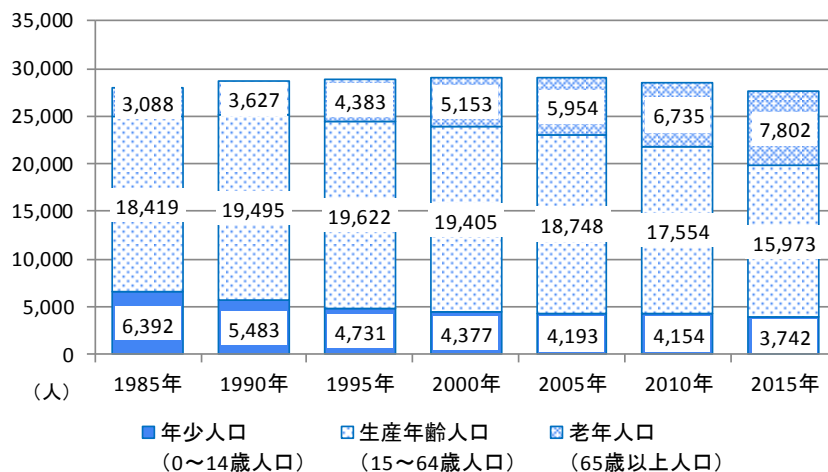
人口は2000年の28,935人をピークとして、緩やかに減少傾向にあります。その一方で、世帯数は1980年から2,000世帯以上増加しており、世帯当たりの構成人数割合が減少しています。

図表 1 人口と世帯数



年齢3区分別人口をみると、年少人口と生産年齢人口が減少しているのに対し、老年人口は2倍以上増加しています。

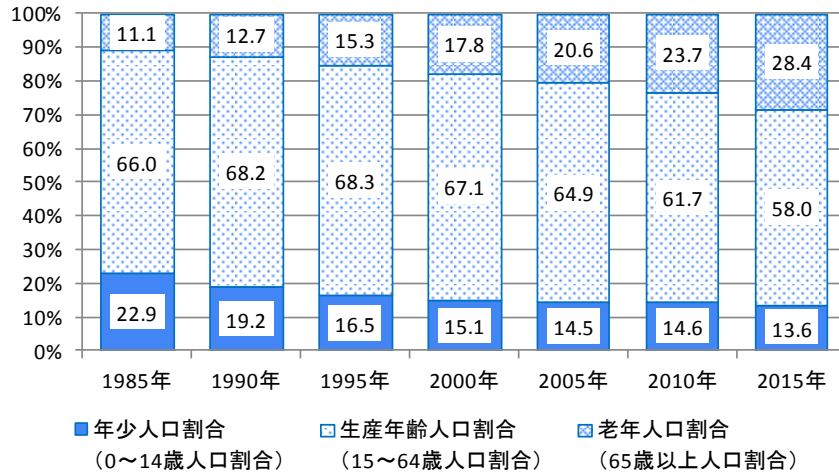
図表 2 年齢3区分別人口



■ 1 垂井町の概況

年齢別 3 区分人口割合で見ると、2015 年時点で老年人口割合が 28.4%まで拡大しています。したがって、既に老年人口割合が 21%を超えた超高齢社会に入っていることとなります。

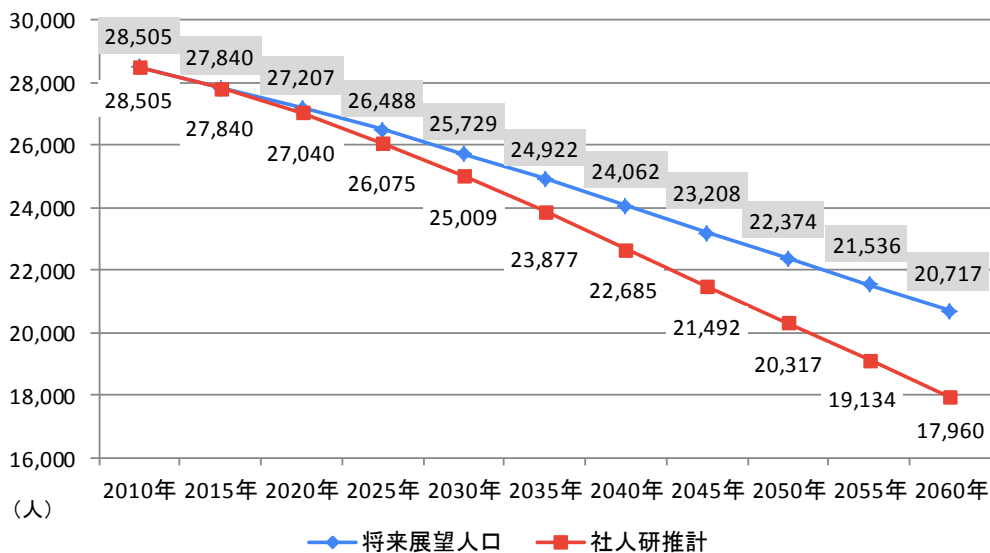
図表 3 年齢別 3 区分別人口割合



出典：国勢調査

「垂井町人口ビジョン」では、2060 年の将来展望人口として、21,000 人を目標に掲げ、現在想定されている総人口の推移（社人研推計）より約 2,000 人の減少抑制を目指しています。

図表 4 将来展望人口（人口ビジョン）



出典：垂井町人口ビジョン

## 2 アンケート調査の総括

総合計画を策定するにあたって、住民のニーズを反映することは必要不可欠です。そこで、様々な住民を対象として、アンケート調査を実施し、垂井町に対する認識や課題・要望を把握しました。

また、調査は、町職員も対象として、住民と行政双方からの意見を取り入れることとしました。

以下に実施の概要と、着目すべき主要な調査結果を抜粋して掲載します。

### 【実施概要】

調査対象	対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
住民	町に在住の18歳以上の方	3,000人	1,324件	44.1%
高校生	不破高校に通う高校3年生	100人	73件	73.0%
中学生	町内中学校に通う中学3年生	320人	278件	86.9%
保護者	上記中学生の保護者	320人	206件	64.4%
正職員	町職員（正職員）	190人	190件	100.0%
臨時職員	町職員（臨時職員）	207人	207件	100.0%

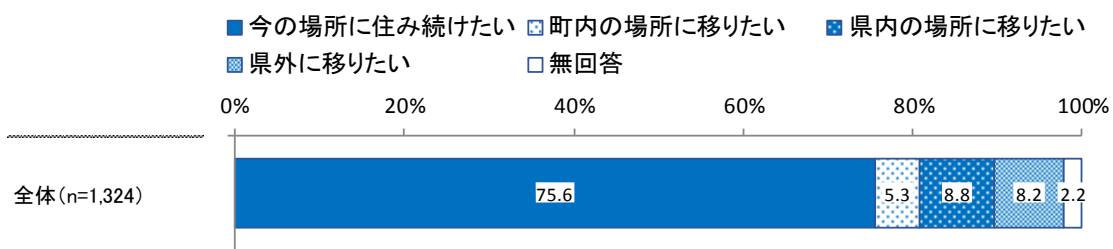
### 【主要結果】

#### ① 垂井町での居留意向

垂井町における居留意向について、一般住民の75.6%は、「今の場所に住み続けたい」と回答しており、大多数が永留意向ありと判断できます（図表5）。保護者についても概ね同様の傾向がみられます（図表8）。また、中学生においても「垂井町に住み続けたい」が10.1%、「進学や就職で町外に住むことがあっても、いずれは垂井町に戻って住み続けたい」が29.9%となっており、「わからない」と回答した33.5%を除くと、過半数は居留意向がある結果となっています（図表6）。

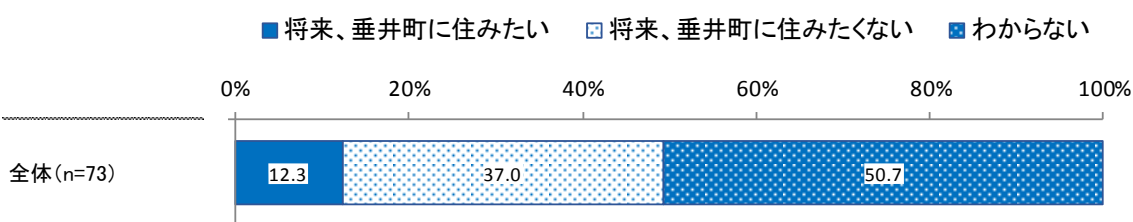
一方、高校生では「将来、垂井町に住みたくない」と回答した割合が37.0%であり、「将来、垂井町に住みたい」の12.3%を大きく上回る結果となっています（図表7）。

図表 5 垂井町の居留意向（住民）



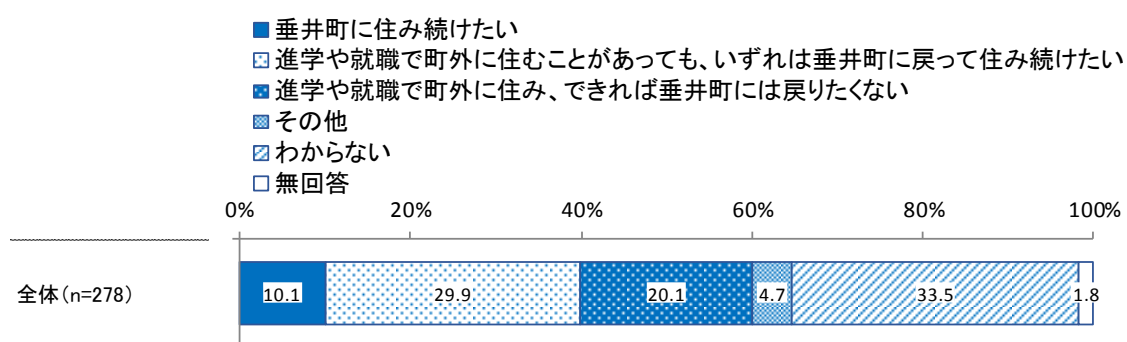
出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

図表 6 垂井町の居留意向（高校生）



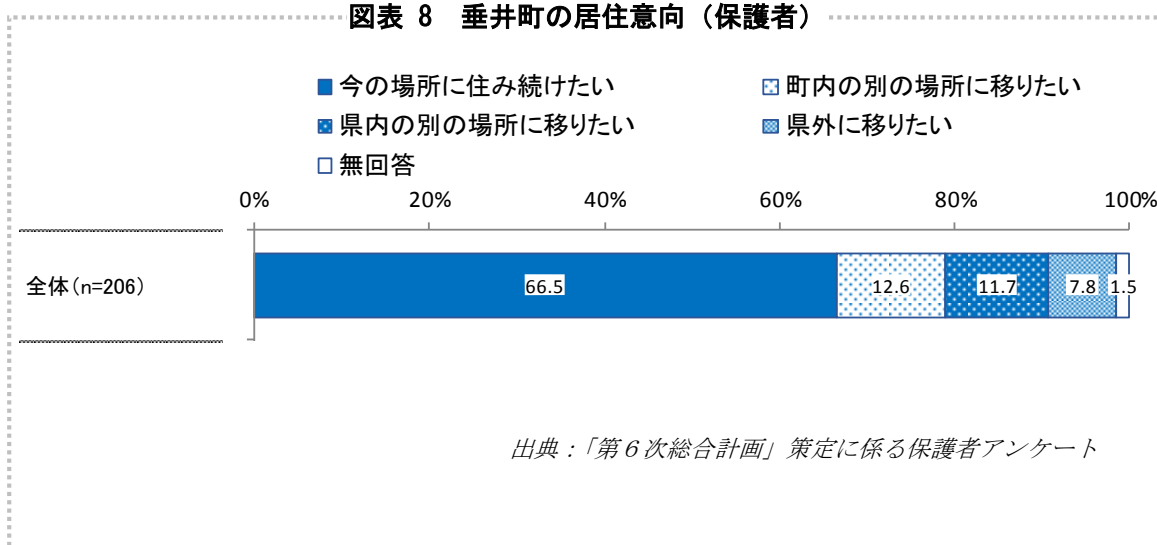
出典：垂井町の将来に関する高校生アンケート

図表 7 垂井町の居留意向（中学生）



出典：垂井町の将来に関する中学生アンケート

図表 8 垂井町の居留意向（保護者）

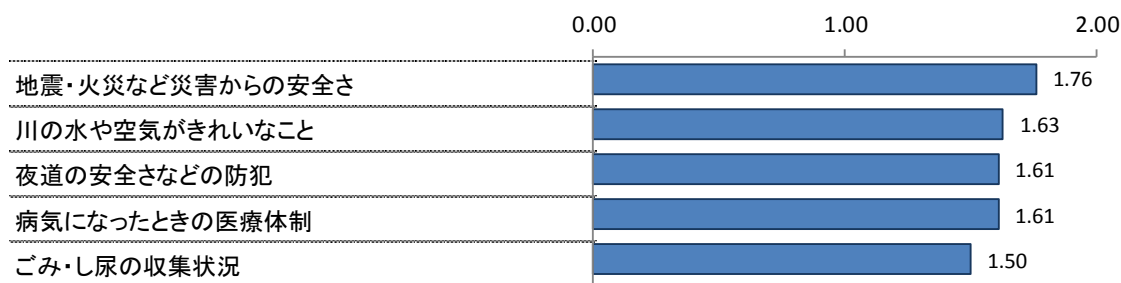


② 垂井町のまちづくり施策の重要度

身の回りの環境やまちづくり施策の重要度についてみると、住民では「地震・火災など災害からの安全さ」が 1.76 ポイントで最も高くなっています（図表 9）。臨時職員も同様の結果です（図表 11）。また、正職員においても「防災体制を充実させ、災害に強いまちになっています。」が 1.84 ポイントで最も高くなっています（図表 10）。

住民、職員いずれも、重点を置くべきは防災体制・安全対策などであるという認識であることがわかります。

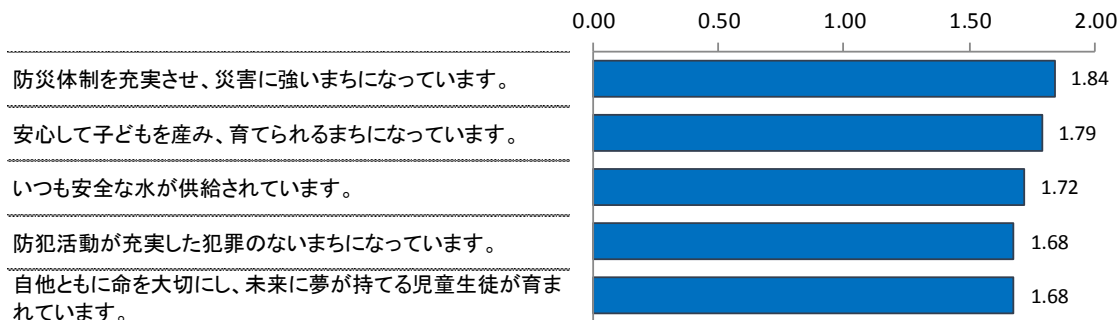
図表 9 身の回りの環境の重要度上位 5 項目（住民）



※重要度=重要[+2 点]、まあ重要[+1 点]、あまり重要ではない[-1 点]、重要ではない[-2 点]として集計

出典：「第 6 次総合計画」策定に係る町民アンケート

図表 10 施策の重要度上位 5 項目（正職員）

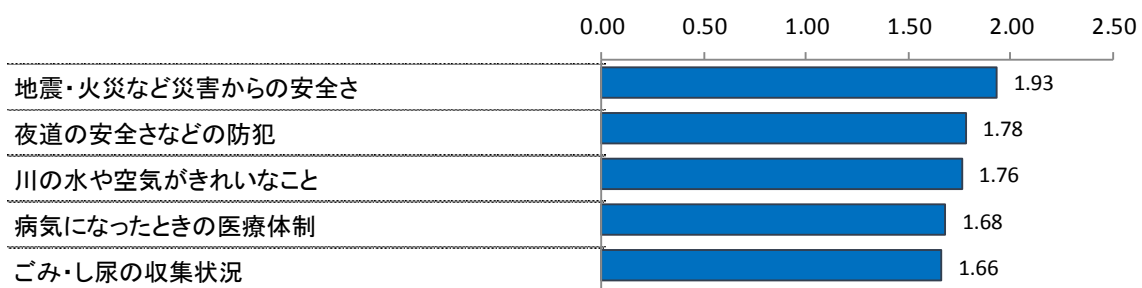


※重要度=重要[+2 点]、まあ重要[+1 点]、あまり重要ではない[-1 点]、重要ではない[-2 点]として集計

出典：「第 6 次総合計画」策定に係る職員アンケート（正職員）



図表 11 施策の重要度上位5項目（臨時職員）



※重要度=重要[+2点]、まあ重要[+1点]、あまり重要ではない[-1点]、重要ではない[-2点]として集計

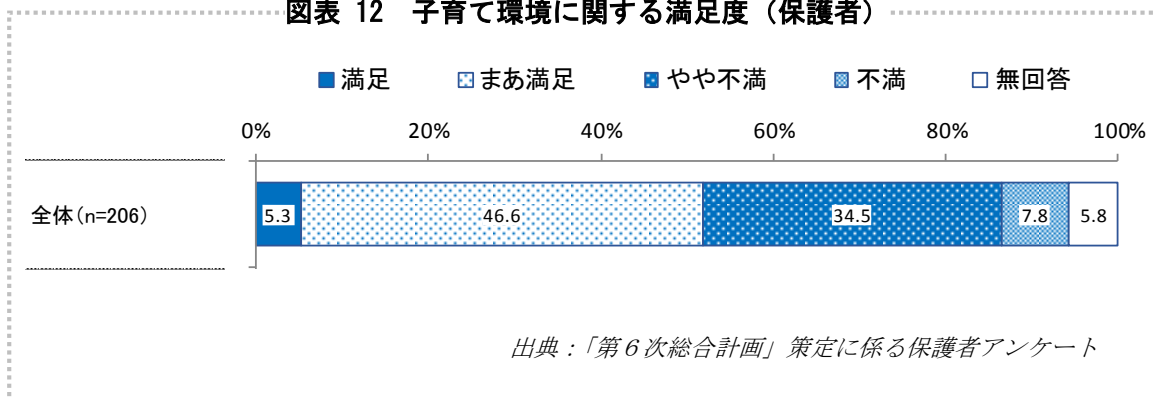
出典：「第6次総合計画」策定に係る職員アンケート（臨時職員）

### ③ 垂井町の子育て環境

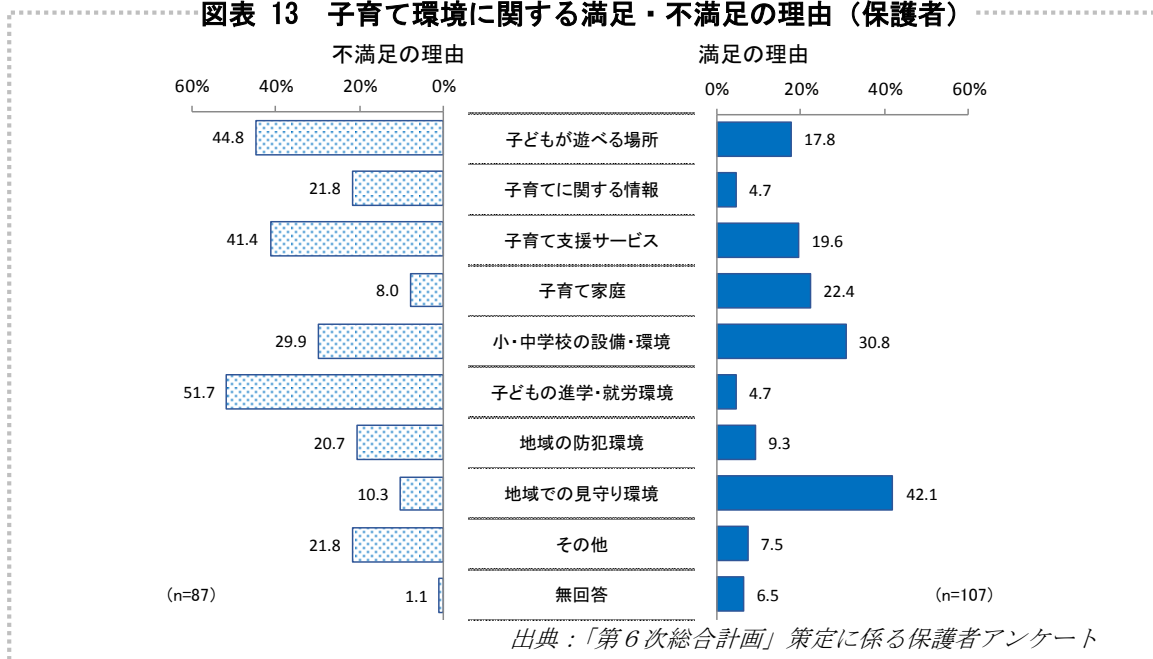
垂井町の子育て環境については、約半数の保護者が満足と回答しています（図表 12）。満足している理由としては、「地域での見守り環境」が 42.1%で最も高く、ついで「小・中学校の設備・環境」が 30.8%となっています（図表 13）。一方、不満足の原因としては、「子どもの進学・就労環境」が 51.7%で最も高く、ついで「子どもが遊べる場所」が 44.8%、「子育て支援サービス」が 41.4%となっています（図表 13）。

子育てしやすいまちにするためにすべきこととしては、「子育て・教育に関する手当てや助成等、経済的支援の充実」が 56.8%で最も高く、ついで「児童館など放課後の子どもの居場所の充実」が 42.7%となっています（図表 14）。

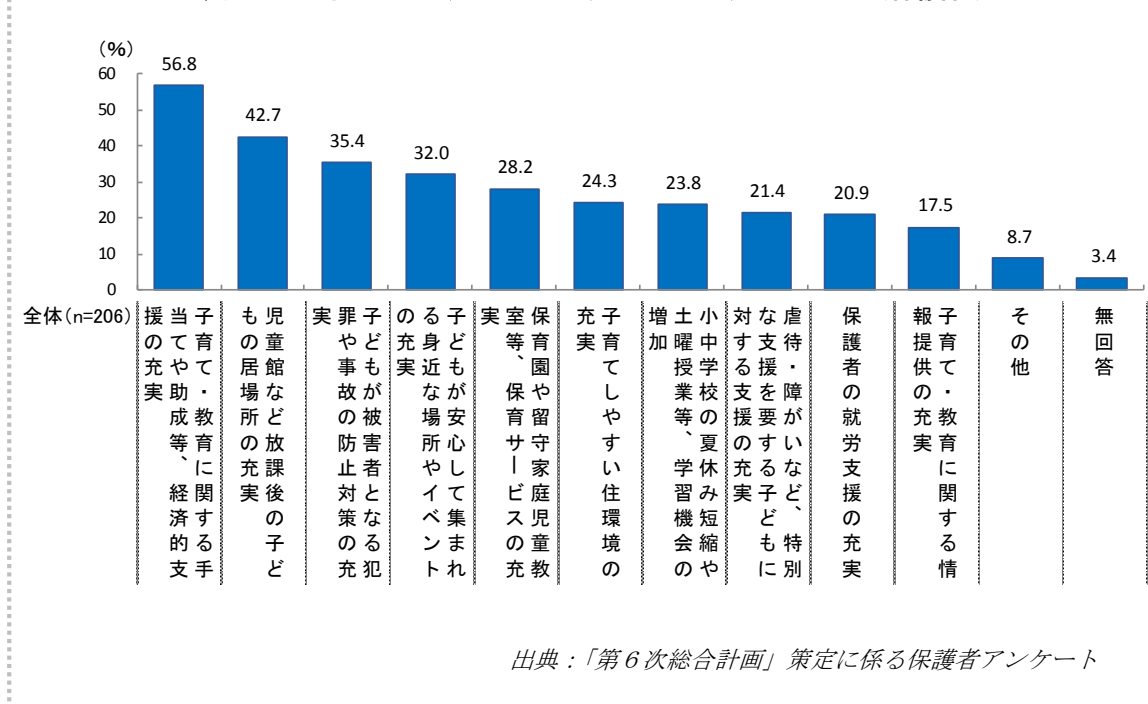
図表 12 子育て環境に関する満足度（保護者）



図表 13 子育て環境に関する満足・不満足の原因（保護者）



図表 14 子育てしやすいまちにするためにすべきこと（保護者）

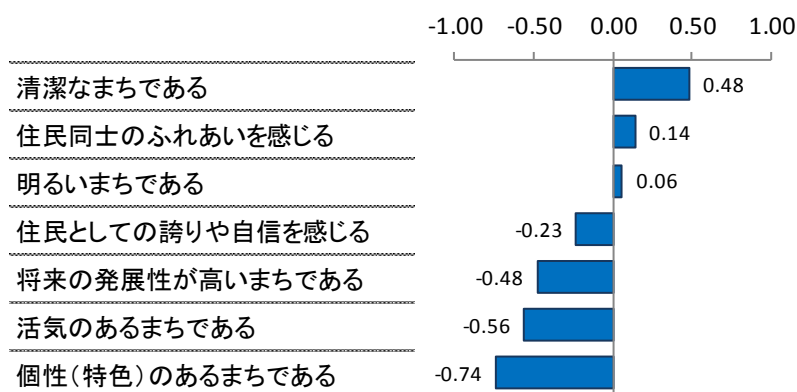


#### ④ まちのイメージ

住民が思うまちのイメージ、保護者が思うまちのイメージは、いずれも「清潔なまちである」という認識が最も高くなっています（図表 15、図表 16）。一方、思わない認識が高い項目については、いずれも「個性（特色）のあるまちである」「活気のあるまちである」「将来の発展性が高いまちである」という結果でした。

高校生が思う垂井町のイメージは「自然環境の豊かなまち」という認識ですが、住みたいまちのイメージは「子どもや若者が多い活気あるまち」「都心に近い住み良いまち」「交通の利便性の高いまち」が高くなっており、現実と理想のギャップが大きいことがわかります（図表 17）。

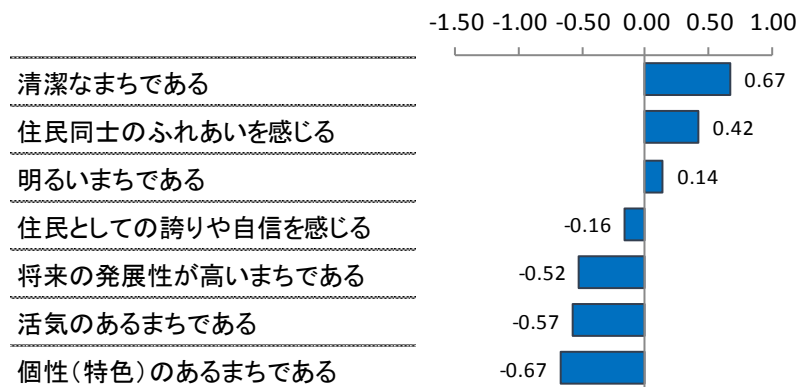
図表 15 垂井町の印象（住民）



※印象度=そう思う[+2点]、やや思う[+1点]、さほど思わない[-1点]、思わない[-2点]として集計

出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

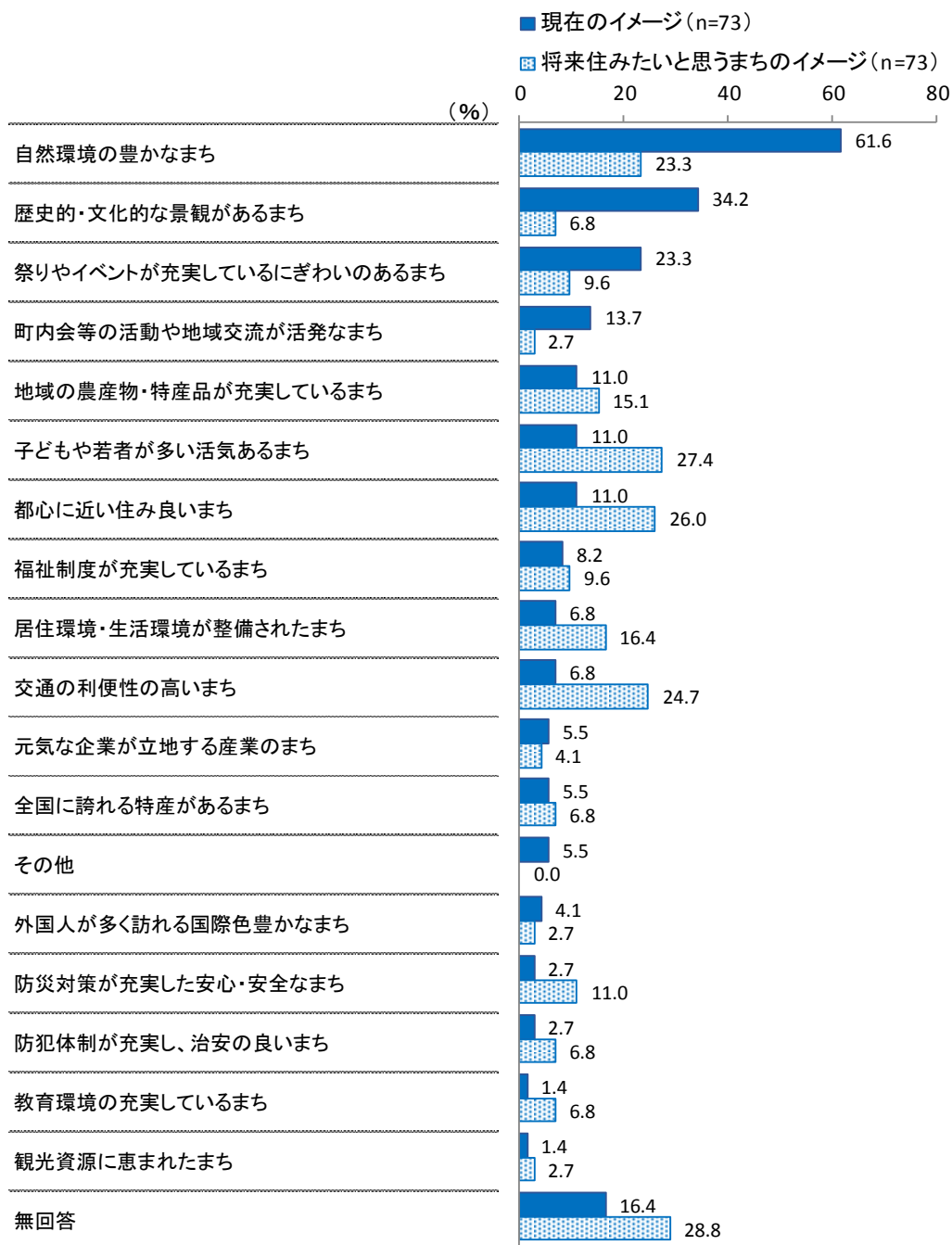
図表 16 垂井町の印象（保護者）



※印象度=そう思う[+2点]、やや思う[+1点]、さほど思わない[-1点]、思わない[-2点]として集計

出典：「第6次総合計画」策定に係る保護者アンケート

図表 17 将来住みたいまちのイメージ（高校生）



出典：垂井町の将来に関する高校生アンケート

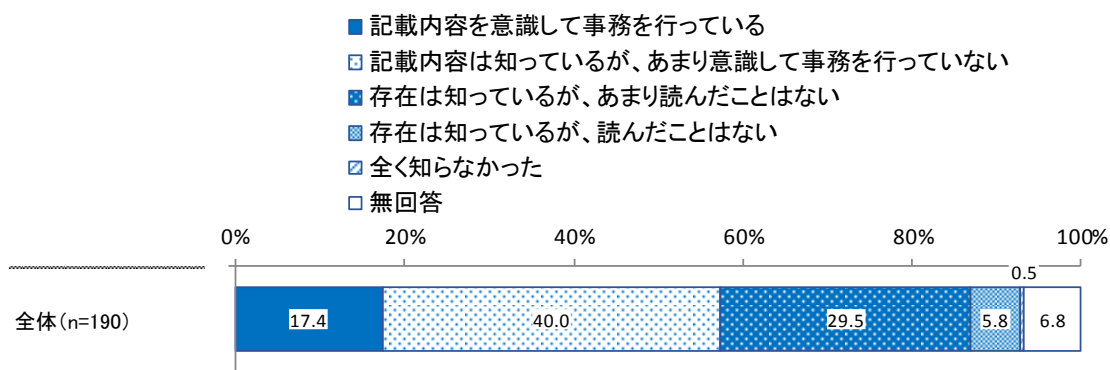
⑤ 総合計画の利活用

正職員の総合計画の利活用状況について、「記載内容を意識して事務を行っている」と回答した割合は17.4%に留まっています（図表 18）。

臨時職員の総合計画の認知度については、約半数が「計画の名前も内容も知らない」となっており、認知度は高くないといえます（図表 19）。

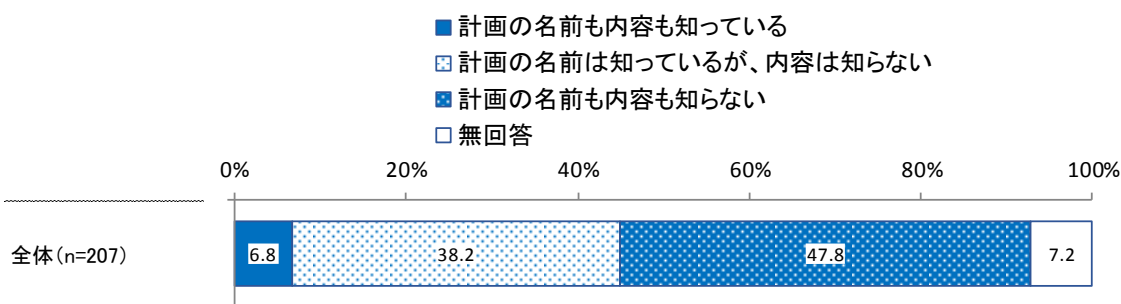
総合計画を機能的にするために改善すべきこととして「各部門が連携して取り組む、横断的なプロジェクトの推進」、「総花的ではなく、重点項目特化型への転換」、「職員に浸透させる機会の充実」の割合が高くなっており、これに配慮した次期計画の策定・運用が必要です（図表 20）。

図表 18 総合計画の利用度（正職員）



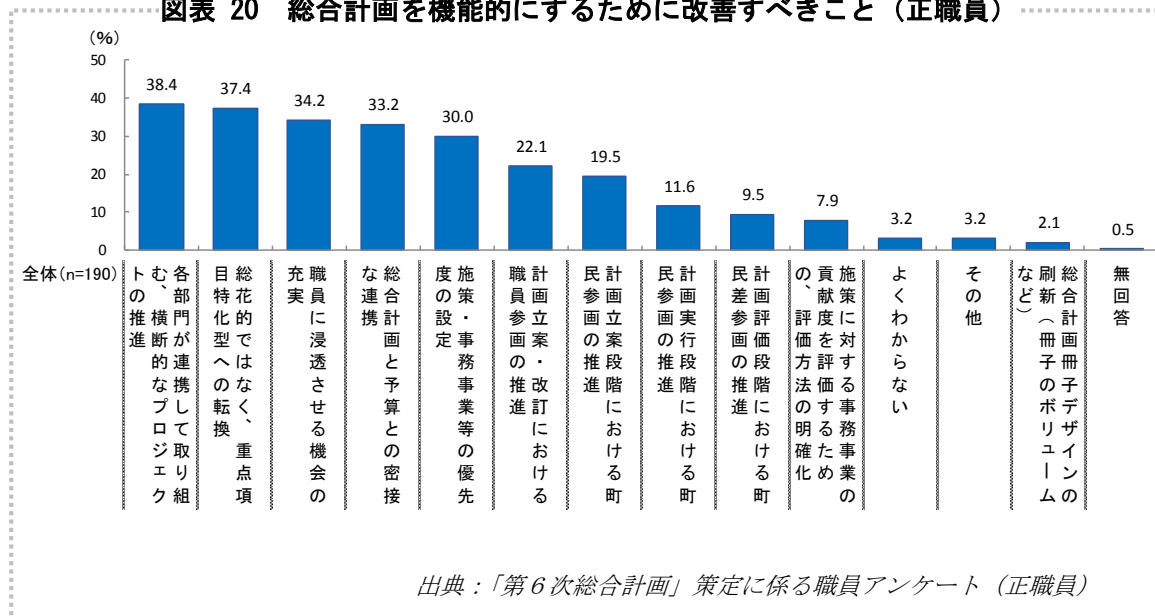
出典：「第6次総合計画」策定に係る職員アンケート（正職員）

図表 19 総合計画の認知度（臨時職員）



出典：「第6次総合計画」策定に係る職員アンケート（臨時職員）

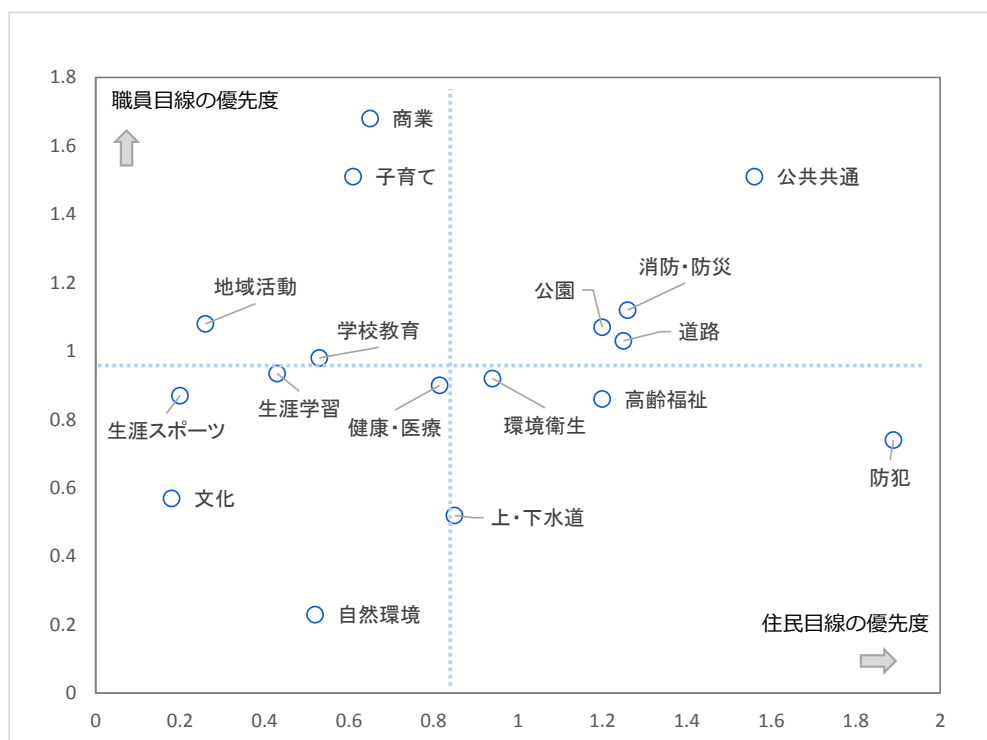
図表 20 総合計画を機能的にするために改善すべきこと（正職員）



⑥ 職員、住民の分野別優先度の比較

アンケート調査の結果について分野別に優先度を算出、職員と住民の優先度の違いを算出すると「公共交通」、「消防・防災」、「公園」、「道路」は職員と住民いずれも優先度が高いと判断しています。「防犯」は住民のほうが優先度が高く、「商業」、「子育て」、「地域活動」は職員のほうが優先度が高い結果となっています。

図表 21 分野別優先度の比較<sup>1</sup>



出典：「第6次総合計画」策定に係る職員アンケート（正職員）

「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

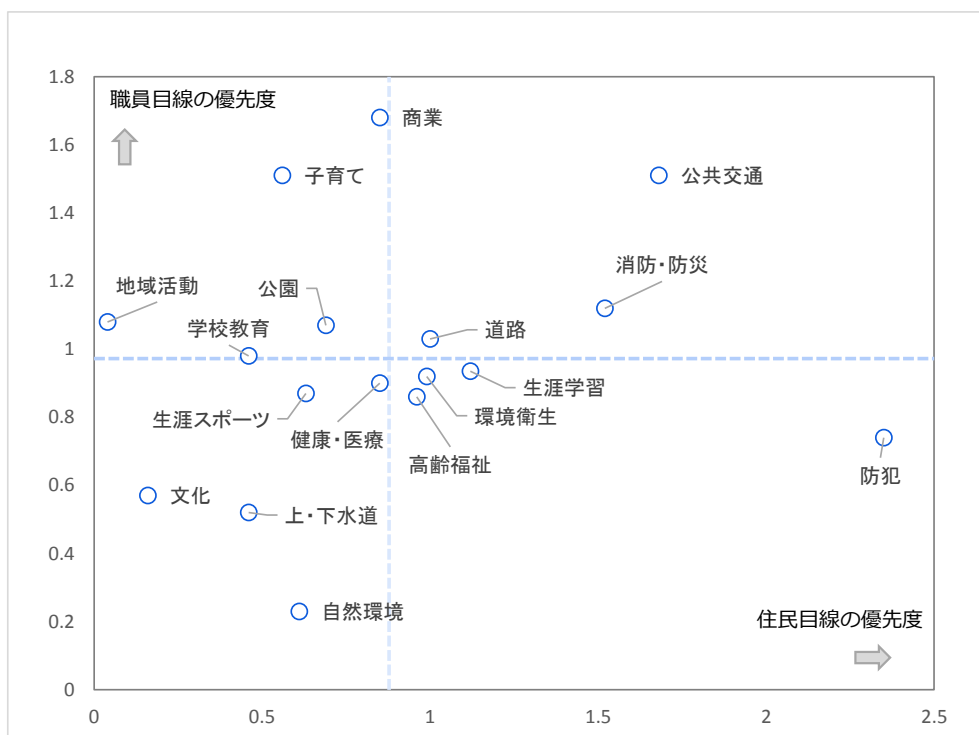
<sup>1</sup> ・職員：正職員アンケート問2「まちづくり目標の達成度と重要度」から分類し算出  
 ・住民：町民アンケート問4「身のまわりの環境の満足度と重要度」から分類し、算出  
 ・優先度：達成度（満足度）平均・重要度平均



分野別の優先度の比較について、町民アンケートの結果を年代別に算出した結果を以下に記載します。30～39歳の子育て世代では「子育て」や「公園」の優先度が特に高くなっており、関心の高さがうかがえます。また、「防犯」は60歳以上を除き、優先度が2以上となっています。

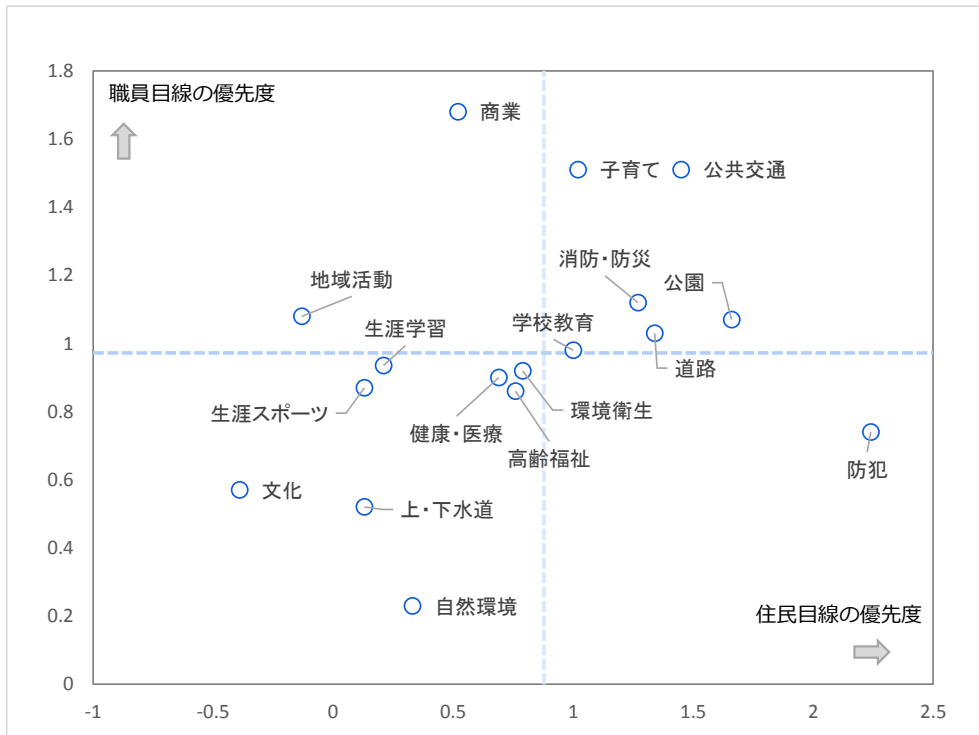
図表 22 分野別優先度の比較

(18～29 歳)

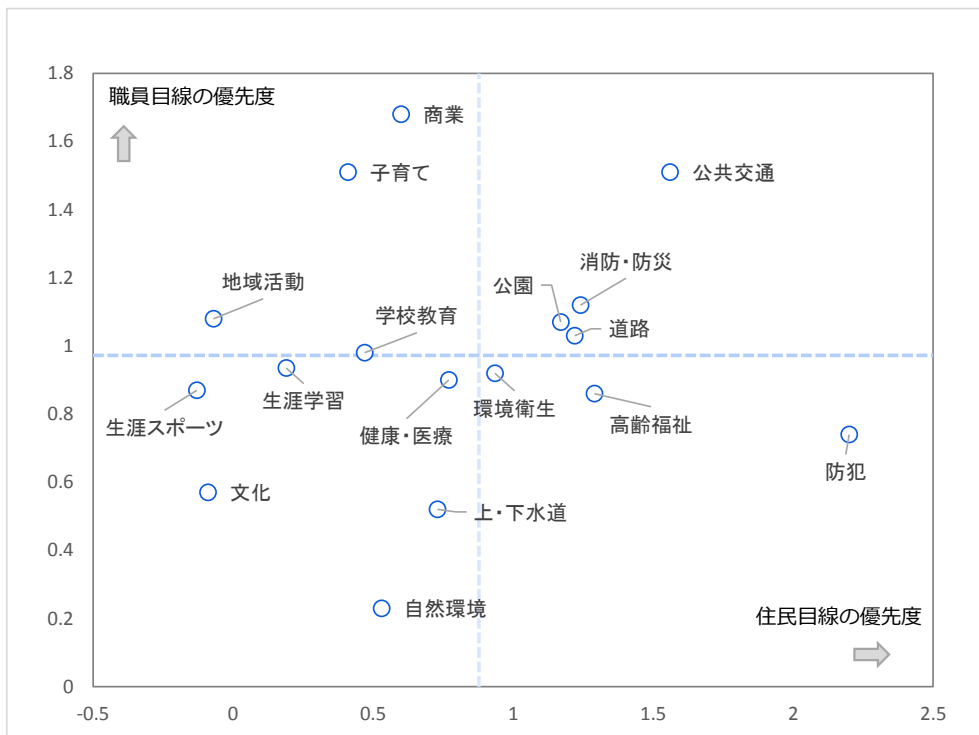


図表 23 分野別優先度の比較

(30～39 歳)

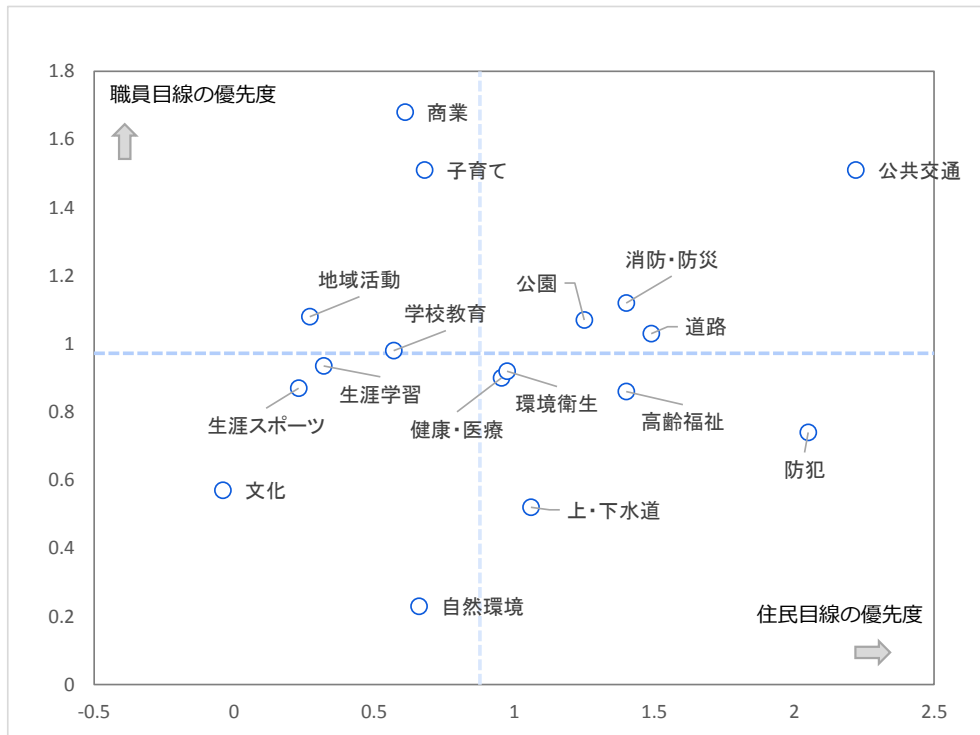


(40～49 歳)

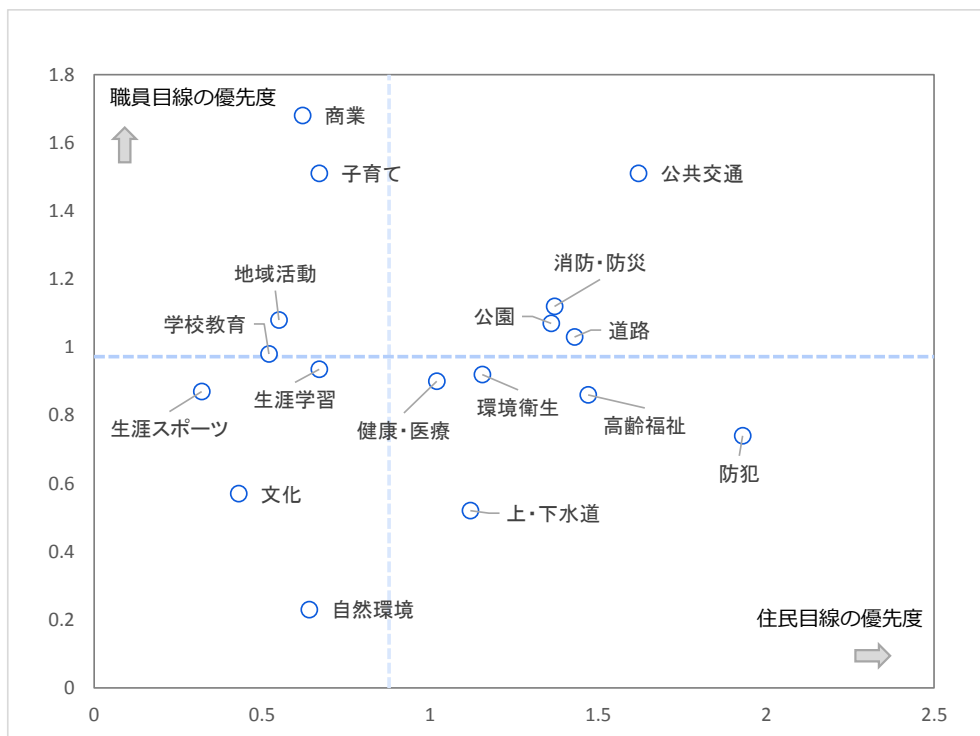


図表 24 分野別優先度の比較

(50～59 歳)

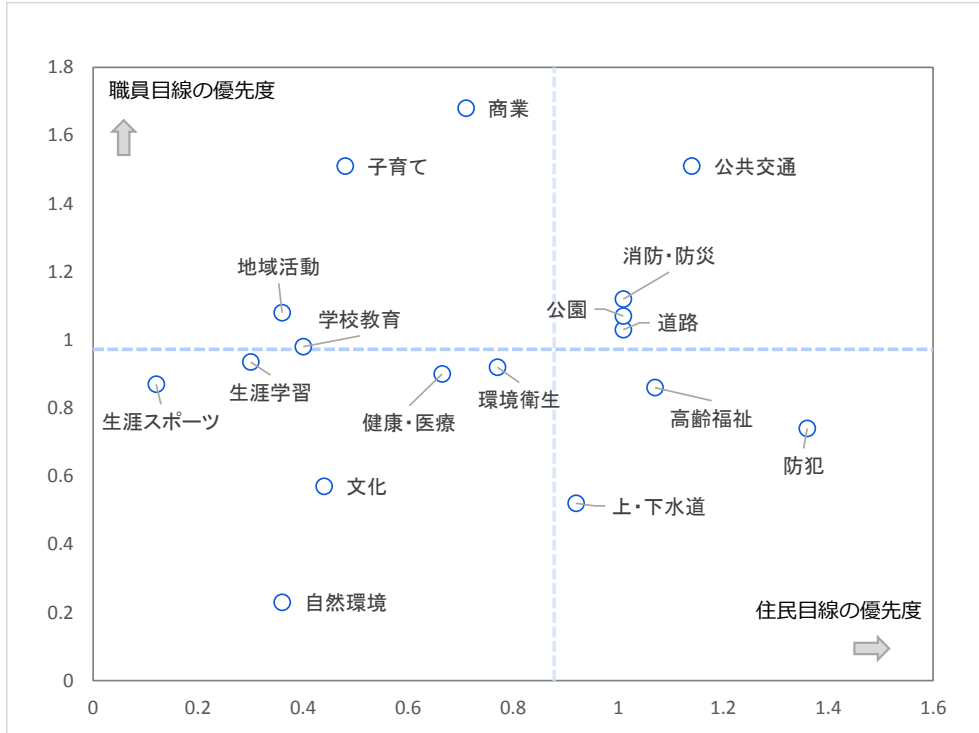


(60～69 歳)



図表 25 分野別優先度の比較

(70 歳以上)



### 3 各分野における課題

#### (1) 安全・安心

##### 【課題総括】

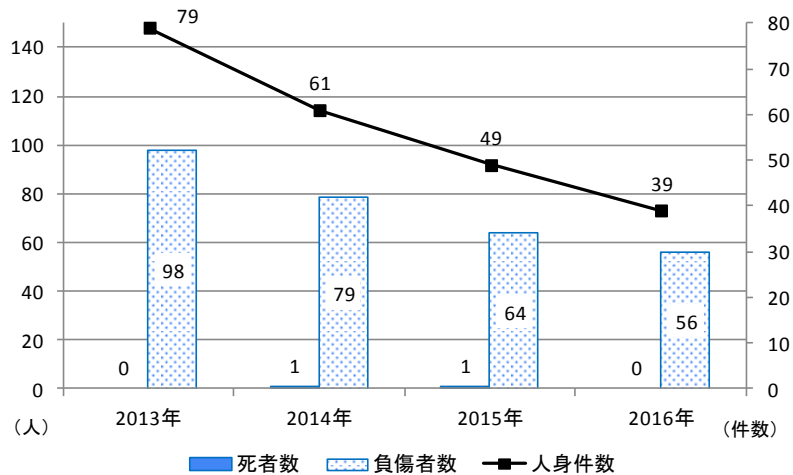
安全・安心分野では、とくに防災体制の整備が垂井町における重点事項です。地域防災計画に基づき、庁内体制の整備が図られているものの、有事の際の職員体制、避難所運営体制に課題を残しています。また、少子高齢化や人口減少により、共助の難しさが増すことが想定されます。現状として、消防団員確保が難しくなっている状況もあります。

以上のような背景から、万が一を想定した防災体制の充実が喫緊の課題だと位置づけられます。有事の際の職員・避難所等の初動マニュアルの整備浸透や、自主防災組織をはじめ、地域における防災体制の構築と意識醸成を図ることが必要です。

##### 【現況】

人身交通事故の負傷者数、人身件数は、ともに減少傾向にあります。

図表 26 人身交通事故発生状況

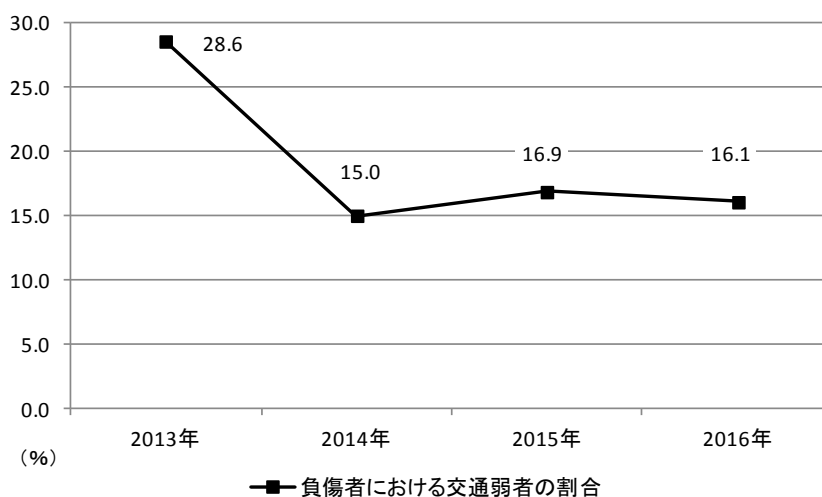


出典：岐阜県警

### ■ 3 各分野における課題

負傷者における交通弱者（自転車・歩行者）の割合は、直近 3 年間に於いては、15%～17%で推移しています。

図表 27 負傷者における交通弱者の割合



出典：岐阜県警

刑法犯については窃盗犯が最も多く、2013 年を機に増加に転じています。

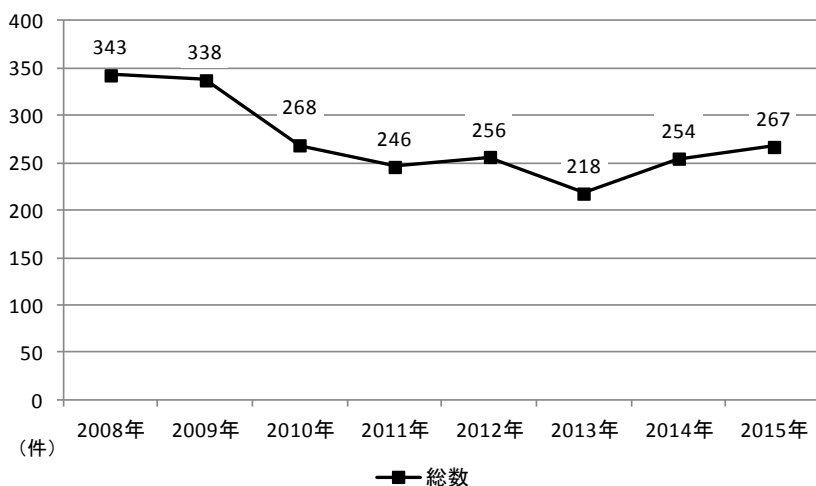
図表 28 刑法犯（包括罪種別発生状況）

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
総数 (件)	343	338	268	246	256	218	254	267
凶悪犯 (件)	2	5	0	0	0	1	2	0
粗暴犯 (件)	4	4	4	7	11	9	14	13
窃盗犯 (件)	260	245	187	190	189	156	180	209
知能犯 (件)	16	6	4	8	12	10	11	19
風俗犯罪 (件)	1	0	0	0	0	0	3	0
その他の刑法犯 (件)	60	78	73	41	44	42	44	26

出典：岐阜県警

刑法犯の総数は 2008 年以降減少傾向にあるものの、2013 年から増加しています。

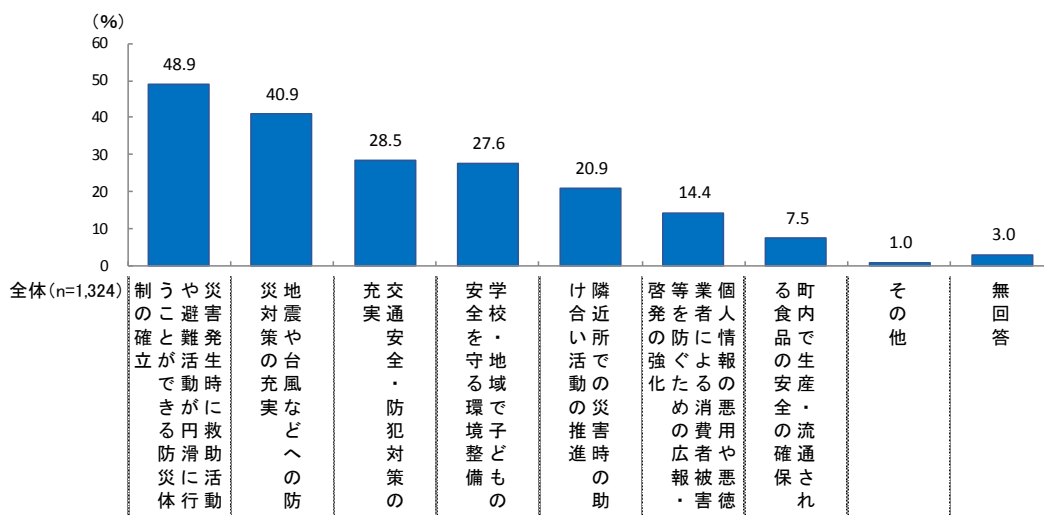
図表 29 刑法犯の総数



出典：岐阜県警

町民アンケート調査の結果をみると、安全・安心分野では、重要な取り組みとして「災害発生時に救助活動や非難活動が円滑に行うことができる防災体制の確立」と回答した割合が 48.9%で最も高くなっています。

図表 30 「安全・安心」分野について重要な取り組み



出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

- メール配信システムを導入し、災害時における迅速な職員の初動体制を構築
- 各種訓練による多様な災害・救急・火災対応の知識、技能習得
- 防火水槽等の計画的な設置による災害対策の充実

● 現在と将来の課題認識

- 災害（特に地震）時における現実的な職員体制、避難所運営等の整備の必要性
- 防災無線のデジタル化への対応

● 今後の方向性

- 災害に対する庁内・職員・地域の体制整備
- 消防団員の確保



【評価指標】

1-1 交通安全	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
交通事故発生件数(人身事故)	100件	78件	75件	43件
シートベルト着用率	運転席 97.9% 助手席 95.2%	運転席 99.5% 助手席 99.5%		指標変更
交通安全教室などの開催依頼数	-	97回(H23)	➡	117回
1-2 防犯	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
犯罪発生件数	484件	314件	400件	168件
夜道の安全さなどの防犯に満足している住民の割合	31.4%	40.8%	↗	39.6%
地域の防災、防犯のための活動に参加した住民の割合	14.0%	16.3%	↗	12.3%
1-3 消防・防災	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
自主防災組織の組織化	17.6%	77.9%(H23)	100%	86.8%
公共施設の耐震化率(指定避難所)	61%	79.7%	70%	81.2%
地震、火災など災害からの安全さに満足している住民の割合	56.6%	72.3%	↗	66.6%
地域の防災、防犯のための活動に参加した住民の割合	14.0%	16.3%	↗	12.3%
消防団員の充足率	100%	100%	100%	100%
火災発生件数	7件	6件	0件	10件

※シートベルト着用率：《指標変更》根拠とした調査が無くなったため廃止し、新たに「交通安全教室などの開催依頼数」を設定しました。

※犯罪発生件数：《目標値変更》すでに、H29当初目標値400件を達成したため。

### ■ 3 各分野における課題

---

※自主防災組織の組織化率：《中間値》自主防災組織の自治会数 106 自治会 ÷ 全自治会数 136 自治会（平成 24 年 3 月末現在）

※公共施設の耐震化率（指定避難所）：《目標値変更》既に、H29 当初目標値 70%を達成したため。《中間値》耐震性がある棟数 63 棟 ÷ 全棟数 79 棟（平成 25 年 3 月末現在）

(2) 教育・生涯学習・文化

【課題総括】

教育環境においては、個別教育、英語教育、ICT教育を充実する必要性が高まっています。

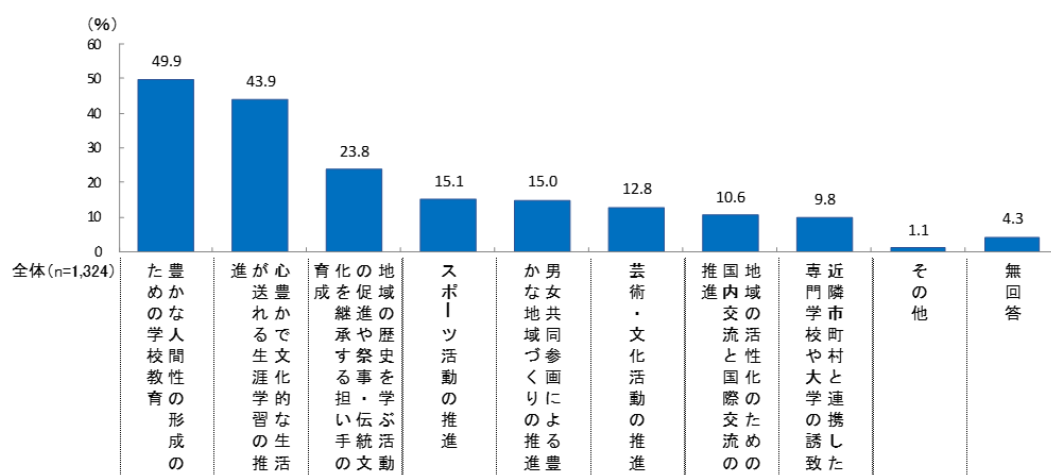
子どもの家庭環境や個性が多様化していることに対応し、個々の状況に合わせた臨機応変な対応が、教育機関と教職員に求められています。また、社会的に国際化・情報化が進んでいる背景から、英語教育とICT教育の推進を図る必要があります。また、学校教育の中で郷土愛を育むことを実施し、競争力と地域貢献力のある人材育成を進めることが、垂井町の将来的な発展に寄与すると考えられます。

生涯学習分野では、関連団体との協働が最も重要なテーマです。協働により、町内の生涯学習環境の充実、文化の保護と継承を図らなければなりません。また、そのための住民へのプロモーションを実施することも必要です。

【現況】

町民アンケート調査の結果をみると、教育・生涯学習・文化分野では、重要な取り組みとして、「豊かな人間性の形成のための学校教育」と回答した割合が49.9%で最も高くなっています。

図表 31 「教育・生涯学習・文化」分野について重要な取り組み



出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

(教育)

- 発達障がいや不登校傾向の児童生徒への個別支援を実施
- 少人数指導の実施（小学校）
- 学校等の耐震化
- 学校給食における地産地消の推進

(生涯学習)

- まちづくり協議会と連携した地域子ども教室の開催
- 各種スポーツ事業の実施
- 図書館システムによる貸出等サービス実施

(文化)

- 遺跡詳細分布・試掘調査による埋蔵文化財発見・保護

(人権)

- 人権標語やフォーラムなど、人権意識の啓発

● 現在と将来の課題認識

(教育)

- 個別教育支援のニーズ拡大と講師不足
- 英語指導助手の招致困難
- ICT環境の不足
- 学校施設、給食センターの老朽化対策
- アレルギー児童への対応と設備整備

(生涯学習)

- 生涯学習推進事業の縮小
- タルイピアセンター等、各種施設の老朽化

(文化)

- 文化財保護の担い手減少
- 文化施設等の老朽化

● 今後の方向性

(教育)

- 個別教育支援講師の充実
- 英語指導助手派遣推進のためのカルガリー市との交流強化
- I C T環境整備
- 空調機配備等、学校等教育環境整備事業
- 学校給食センターの計画的な設備更新
- 児童のアレルギーへの対応徹底





(生涯学習)

- まちづくり協議会との連携による生涯学習推進事業の推進
- 生涯スポーツ連合の設立

(文化)





- 文化財の維持管理
- 文化財愛護の啓発
- 図書館・文化会館等公共施設の維持管理とサービス向上

【評価指標】

2-1 学校教育	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
地域の伝統行事を教育課程に取り入れている時間数	63 時間	235 時間 (H23)		280 時間
小中学校の整備状況に満足している住民の割合	74.5%	80.4%		76.3%
不登校児童、生徒の割合	0.8%	1.0% (H23)	0.6%	2.4%
心の相談員や心のサポーター員	2 人	1 人	4 人	1 人
2-2 青少年育成	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
毎朝家族と食事をしている児童、生徒の割合（家族のだけかと）	72.4%	71.3% (H23)	80%	78.4%
青少年の補導件数（垂井町管轄内）	567 件	236 件		98 件
子ども会など青少年育成活動やPTA活動に参加した住民の割合	16.4%	16.1%		10.2%

2-3 生涯学習	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
学級や講座の参加者数	10,128 人	11,714 人 (H23)	12,000 人	12,088 人
社会教育施設（文化会館、タレイピアセンター図書館、中央公民館、各地区公民館）の利用者数	310,216 人	303,438 人 (H23)	330,000 人	266,138 人
タレイピアセンターの図書の貸し出し数	209,874 冊	236,335 冊 (H23)	240,000 冊	232,974 冊
学級や講座の講師登録者数	202 人 (H14)	226 人 (H23)	260 人	121 人
趣味や教養を高める場所に満足している住民の割合	51.8%	55.2%		59.5%
スポーツクラブや文化サークルなどの活動に参加した住民の割合	15.9%	15.9%		14.1%
審議会などへ参加している女性の割合	22.4%	29.7%	30%	29.7%
人権問題などの町民活動に参加した住民の割合	3.9%	2.4%		1.4%

■ 3 各分野における課題

2-4 生涯スポーツ	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
スポーツ少年団の加入率	25.3%	22.3%	28%	23.2%
体育施設（南体育館、北部グラウンド、各小中学校の体育館・グラウンド、朝倉運動公園）の利用者数	173,089 人	191,276 人 (H23)	183,000 人	192,597 人
グラウンドや体育館などのスポーツ施設に満足している住民の割合	61.4%	66.3%		66.3%
スポーツクラブや文化サークルなどの活動に参加した住民の割合	15.9%	15.9%		14.1%
2-5 文化	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
タルイピアセンター 歴史民族資料館、歴史文献センターの入場者数	20,888 人	18,922 人 (H23)	23,000 人	29,636 人
文化財など歴史的資源の保護、保存状況に満足している住民の割合	70.5%	73.1%		70.9%
地域の祭り、伝統芸能などの保存継承活動に参加した住民の割合	23.1%	21.7%		22.0%

※スポーツ少年団の加入率：《中間値》 加入数 379 人 ÷ 児童数 1,697 人

※体育施設の利用者数：《目標値変更》既に、H29 当初目標値 183,000 人を達成したため。



(3) 子育て・健康・福祉

【課題総括】

子育て環境の充実、人口ビジョンの達成においても特に重要な分野となります。合計特殊出生率を2030年までに1.8まで上昇させることが、一つの条件となっています。そのためには、昨今の就労環境の多様化に対応した保育・幼児教育体制の充実や、人口減少や核家族化を踏まえた子育て家庭の相談・仲間づくり支援などに注力し、町全体を子育てしやすいまちとしなければなりません。

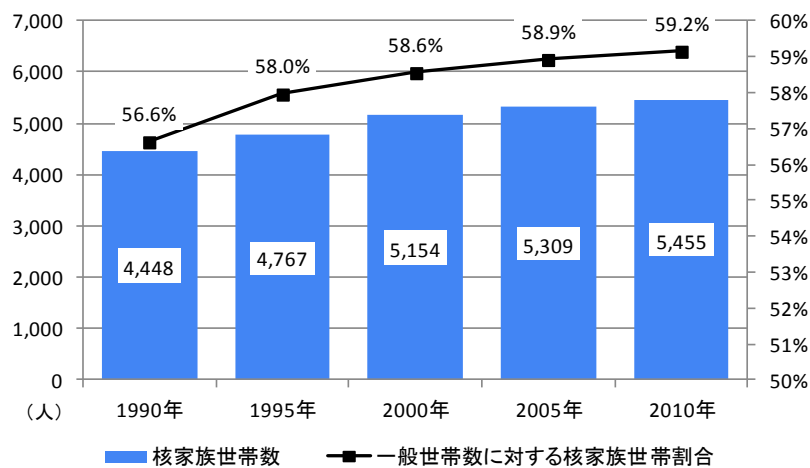
健康分野では、高齢者や生活スタイルの多様化に応じた医療費増に歯止めをかけることが必要となります。各種団体と連携し、住民に啓発を継続していくことが必要です。

高齢者・障がい者が自立し、自分らしく生活できる福祉環境整備が町の責務です。特に、高齢福祉分野では、2025年前後に後期高齢者数がピークに達し、社会保障の増大と福祉担い手の不足がさらに顕著になることが予測されます。健康分野の取り組みとあわせ、介護予防の取り組みや人材確保の取り組みが急務であるといえます。

【現況】

核家族世帯は20年間で約1,000世帯増加しています。また、一般世帯に対する核家族世帯の割合も増加傾向となっています。

図表 32 核家族世帯の状況・変化

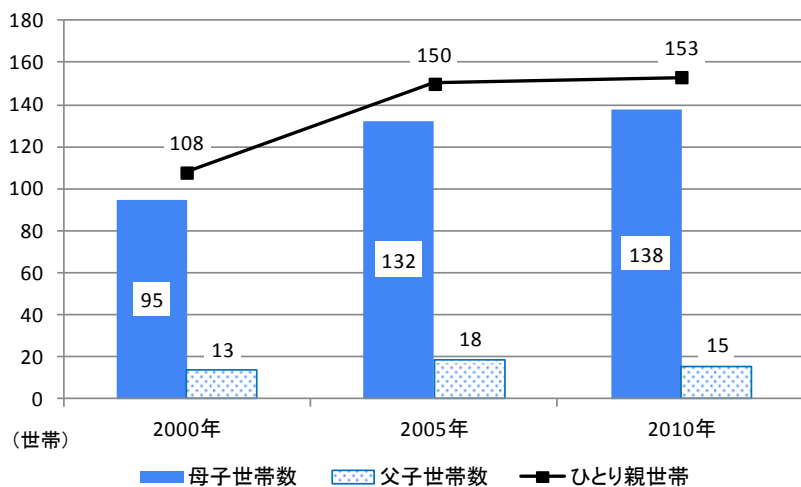


出典：国勢調査

■ 3 各分野における課題

ひとり親世帯は10年間で、約1.5倍となっており、母子世帯の増加が顕著です。

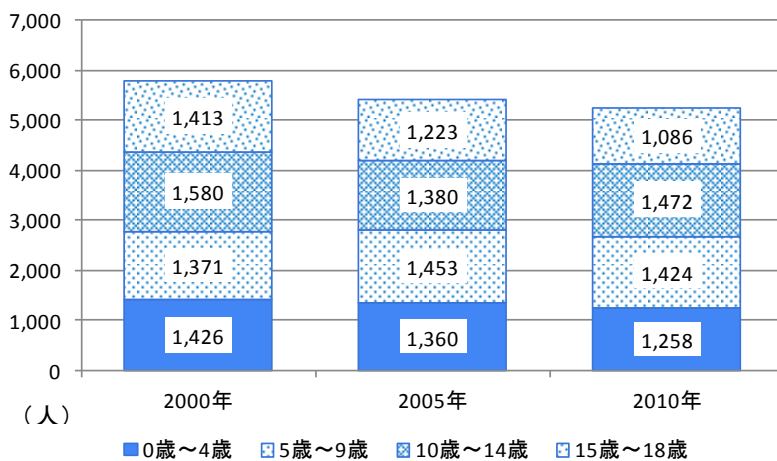
図表 33 ひとり親世帯の状況・変化



出典：国勢調査

18歳までの子どもの人口の推移は、年々減少傾向となっています。また、0歳～4歳までの人口も減少傾向となっています。

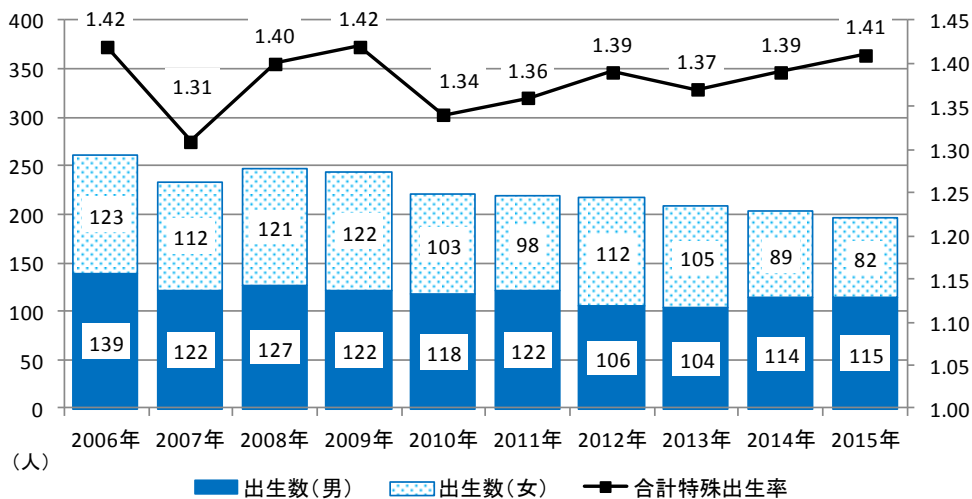
図表 34 子ども人口の推移



出典：国勢調査

合計特殊出生率は、1.31～1.42 の間で推移しており、2010 年からは増加傾向と なっています。一方で、全体の出生数については、減少傾向がみられます。

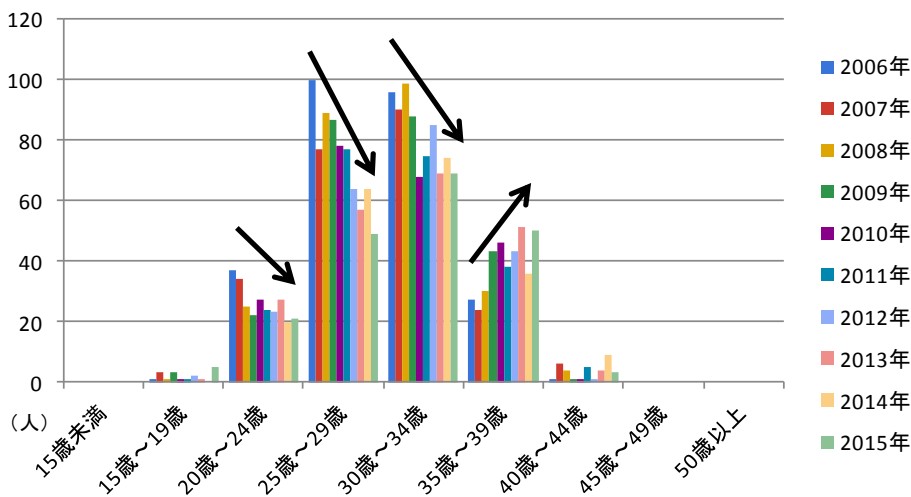
図表 35 男女別出生数と合計特殊出生率



出典：西濃地域の公衆衛生

母親の年齢別出産数をみると、20 歳～34 歳までが減少傾向にあるのに対し、35 歳～39 歳は増加傾向にあることがわかります。

図表 36 母親の年齢別出生数



出典：西濃地域の公衆衛生

### ■ 3 各分野における課題

町内医療施設の環境については、2006年～2015年にかけて大きな変化はありません。今後さらに高齢化が進む可能性が高いため、医療環境の充実が可能な注視していく必要があります。

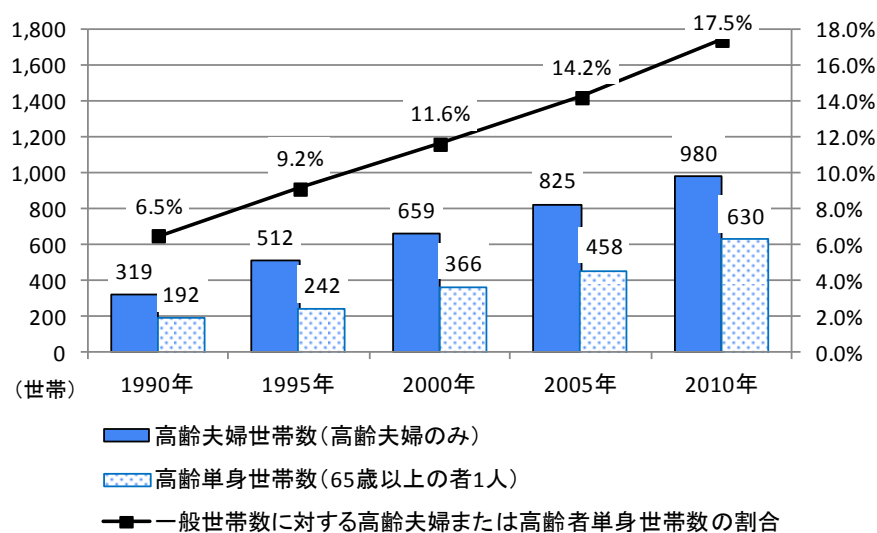
図表 37 町内医療施設の推移

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
病院総数 (箇所)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
病床数 (床)	507	507	592	592	592	592	589	589	589	588
一般診療所総数 (箇所)	16	16	15	14	14	14	14	14	14	15
無床施設数 (箇所)	15	15	14	14	14	14	14	14	14	15
歯科診療所 (箇所)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	13
医師数 (人)	37	35	35	37	37	37	37	35	35	33
歯科医師数 (人)	14	17	17	16	16	17	17	16	16	19
薬剤師数 (人)	31	27	27	31	31	30	36	34	34	29

出典：西濃地域の公衆衛生

高齢者世帯は、高齢夫婦世帯、高齢単身世帯ともに増加しています。また、一般世帯に対する高齢者世帯の割合は、1990年時点と比較すると、2010年には約2.5倍となっています。

図表 38 高齢者世帯の状況<sup>1</sup>



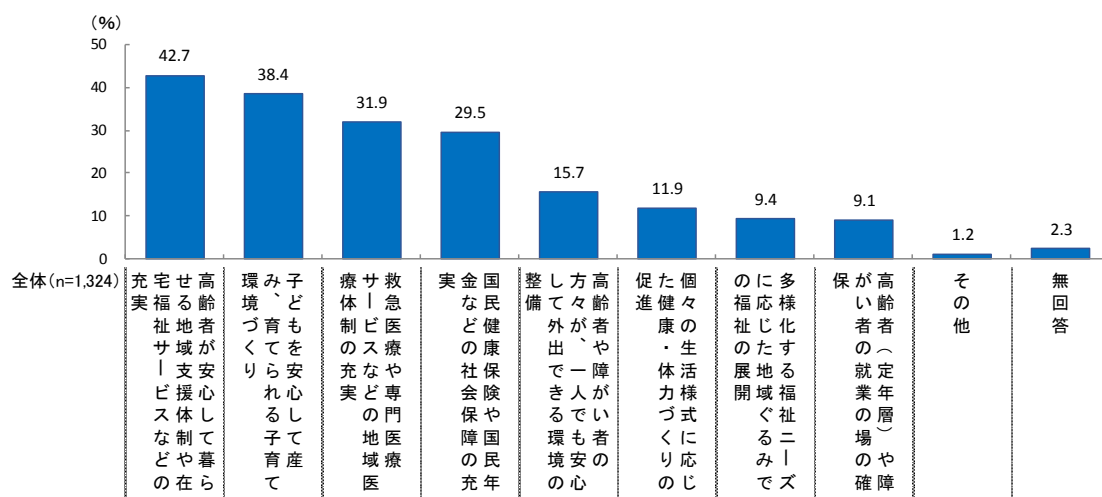
出典：国勢調査

<sup>1</sup> 高齢夫婦世帯：夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組の一般世帯  
 高齢単身世帯：65歳以上の一人のみの一般世帯

町民アンケート調査の結果をみると、子育て・健康・福祉分野では、重要な取り組みとして、「高齢者が安心して暮らせる地域支援体制や在宅福祉サービスなどと充実」と回答した割合が42.7%で最も高くなっています（図表 39）。

また、年代別にみると、若年層は「子どもを安心して産み、育てられる子育て環境づくり」の割合が高い傾向となっています（図表 40）。

図表 39 「子育て・健康・福祉」分野について重要な取り組み



出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

図表 40 「子育て・健康・福祉」分野について重要な取り組み（年代別）

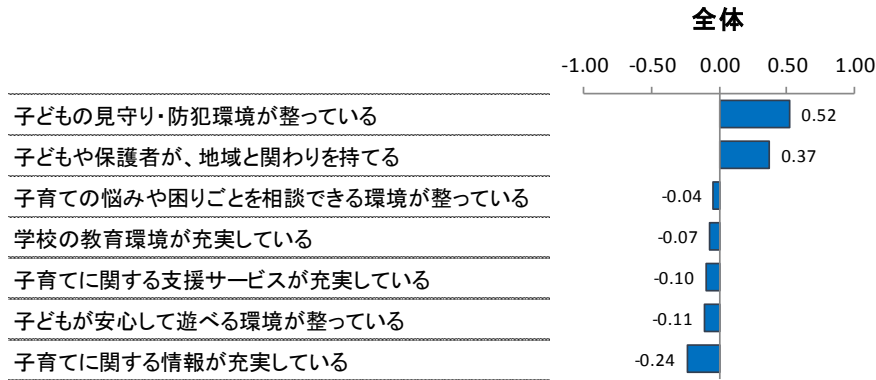
上段：件数 下段：割合	調査数	問5 ③子育て・健康・福祉の分野において特に重要と思われる取り組み									
		個々の生活様式に応じた健康・体力づくりの促進	救急医療や専門医療サービスなどの地域医療体制の充実	多様な福祉ニーズに応じた地域ぐるみでの福祉の展開	高齢者が安心して暮らせる地域支援体制や在宅福祉サービスなどの充実	高齢者(定年層)や障がい者の就業の場の確保	高齢者や障がい者の方々が、一人でも安心して外出できる環境の整備	子どもを安心して産み、育てられる子育て環境づくり	国民健康保険や国民年金などの社会保障の充実	その他	無回答
全体	1324 100.0	157 11.9	423 31.9	124 9.4	566 42.7	120 9.1	208 15.7	509 38.4	391 29.5	16 1.2	31 2.3
年代	18～19歳	18 100.0	2 11.1	9 50.0	1 5.6	6 33.3	-	8 44.4	9 50.0	-	-
	20～29歳	84 100.0	10 11.9	32 38.1	8 9.5	19 22.6	5 6.0	6 7.1	56 66.7	20 23.8	2 2.4
	30～39歳	123 100.0	12 9.8	49 39.8	5 4.1	25 20.3	10 8.1	15 12.2	81 65.9	33 26.8	4 3.3
	40～49歳	163 100.0	16 9.8	58 35.6	21 12.9	55 33.7	22 13.5	24 14.7	80 49.1	37 22.7	3 1.8
	50～59歳	186 100.0	21 11.3	52 28.0	17 9.1	83 44.6	28 15.1	25 13.4	80 43.0	52 28.0	-
	60～69歳	318 100.0	37 11.6	102 32.1	35 11.0	150 47.2	31 9.7	47 14.8	104 32.7	108 34.0	2 0.6
	70歳以上	406 100.0	56 13.8	115 28.3	36 8.9	217 53.4	21 5.2	78 19.2	93 22.9	132 32.5	5 1.2

出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

※各年代（行）ごとに最も高い回答率の選択肢を網掛け

保護者アンケート調査の結果をみると、垂井町の子育て環境に関する印象については、「子どもの見守り・防犯環境が整っている」印象を持っている保護者の割合が多い結果となっています。一方、「子育てに関する情報が充実している」印象を持っている保護者は最も少ない結果です。

図表 41 垂井町の子育て環境に関する印象の平均



※そう思う[+2点]、まあそう思う[+1点]、あまりそう思わない[-1点]、思わない[-2点]として集計

出典：「第6次総合計画」策定に係る保護者アンケート

【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

- (子育て)
  - 垂井東こども園の開設
  - 不妊治療や両親学級、食育教室等、多種のサポートの実施
- (健康)
  - 特定保健指導、人間ドックの実施
  - 休日における医療受診の機会確保
- (福祉)
  - 適正な介護保険料設定により、基金借入れを行わずに運用
  - 地域活動支援センター（けやきの家）を設置し、障がい者の日中活動の場を確保
  - 児童発達支援事業所「いずみの園」を改築
  - 留守家庭児童教室の運営による働きやすい環境づくり

● 現在と将来の課題認識

(子育て)

- 幼稚園からの受入れが5歳児からのみであり、幼保一元化が不十分
- 就労形態の多様化による保育ニーズの拡大と、保育士等の人材不足
- 子育て支援センター利用者の固定化
- 母子・父子家庭の増加と、児童虐待通報の増加
- 不妊治療費等助成費用の増大

(健康)

- 生活習慣病等の増加による医療費の拡大
- 保健師等、人材の確保

(福祉)

- インフォーマルな団体が行う介護サービスの不足と、介護支援専門員の制度外サービス利用意識の薄さ
- 高齢者や認知症高齢者増加による日常生活支援ニーズの拡大と介護職員の不足
- 障がい者の相談支援の内容多様化
- 障がい者が必要とするサービスを提供する事業所の不足

● 今後の方向性

(子育て)

- 子育て相談が容易に可能な仕組みづくり
- 就労形態の多様化に対応できる保育・教育の提供
- 家庭支援を通じた児童虐待防止対策
- 子育て環境整備の重要性の意識啓発
- 関係機関との連携強化
- 地域等の見守り環境づくり

(健康)

- 健康と医療に係る町民の意識改革
- 町民が主体的に健康づくりに取り組む体制づくり
- 関係団体との連携強化

(福祉)

- 住民主体の高齢者福祉サービスの構築
- 介護と医療の連携による在宅介護の推進
- 障がい者の日中活動の場の確保







### ■ 3 各分野における課題

---

- 障がい児の放課後等デイサービスの実施
- 障がい者の基幹相談支援センターの設置
- 障がい児保育の充実



【評価指標】

3-1 子育て	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
子育て支援センターの利用者数	13,838 人	15,666 人 (H23)	16,000 人	10,466 人
保育園、幼稚園の整備状況に満足している住民の割合	72.8%	74.3%		72.5%
3-2 健康・医療	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
国民健康保険加入者（老人除く）1人当たりの医療費（療養諸費費用額）	261,370 円	327,993 円 (H23)		377,417 円 (H27)
住民検診などの保健事業に満足している住民の割合	76.0%	85.2%		79.7%
病気になったときの医療体制に満足している住民の割合	55.2%	66.6%		65.0%
3-3 高齢福祉	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
いきいきふれあいサロンの利用者数	2,055 人	4,524 人 (H23)		5,330 人
高齢者人口における要介護者の割合	14.7%	13.3%	14.0%	14.7%
老人福祉センターの利用者数	20,892 人	17,569 人 (H23)	21,500 人	12,085 人
高齢者や障がい者の福祉対策に満足している住民の割合	52.9%	59.3%		59.3%



※国民健康保険加入者1人当たりの医療費：《目標値変更》高齢化などにより、医療費の増加が続き中間目標を達成できなかったため、広報による周知、健診の受診勧奨などにより、中間実績より減少に向けて取り組みます。

※いきいきふれあいサロンの利用者：《目標値変更》既に、H29当初目標値3,700人を達成したため。

※高齢者人口における要介護者の割合：《中間値》要支援以上の人数906人÷65歳以上の人数6,812人（平成24年4月1日現在）

※老人福祉センターの利用者数：《目標値変更》近隣市町施設の整備、充実により、利用者が減少傾向にあり中間目標を達成できなかったため、施設の整備、有効活用の検討などを行い、利用者増に取り組みます。

■ 3 各分野における課題

3-4 障がい福祉	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
日中活動（通所施設など）利用者数	29人	76人 (H23)	80人	163人
日中一時支援利用者数	5人	21人 (H23)	30人	19人
相談支援事業利用者数	531人	917人 (H23)		279人
3-5 地域福祉	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
福祉ボランティアの登録者数	305人	348人 (H23)	500人	526人
福祉などのボランティア活動に参加した住民の割合	10.6%	7.4%		7.1%

※日中活動利用者数：《目標値変更》H29当初目標値80人をH24で達成見込であるため。

(4) 地域環境

【課題総括】

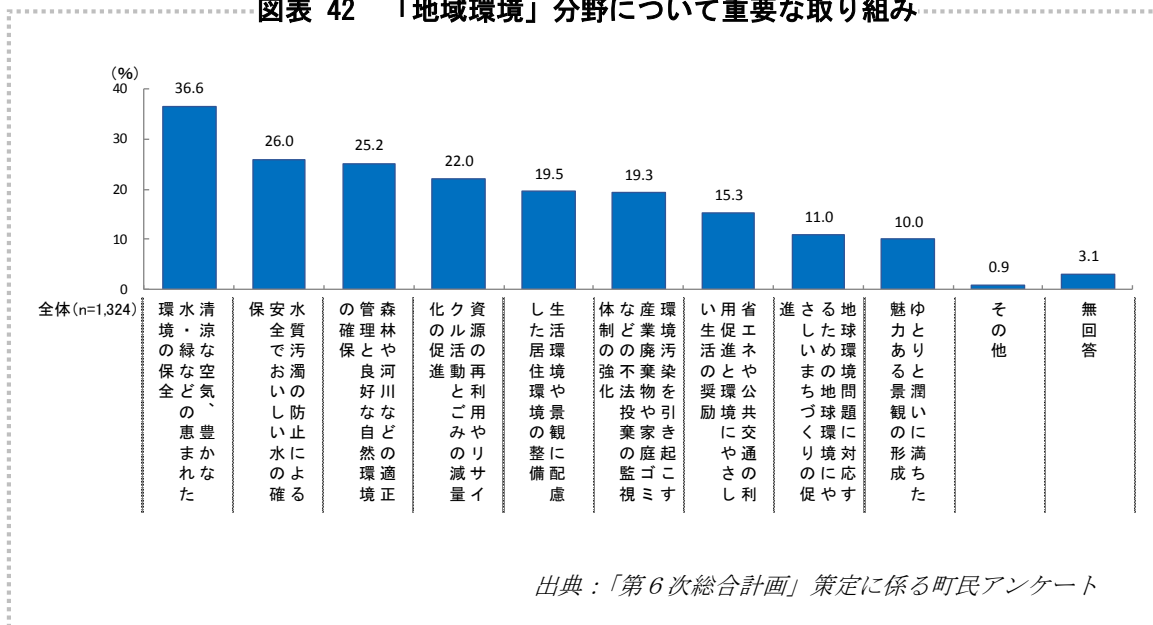
垂井町は、岐阜市や大垣市への交通アクセスも良く、水と緑に恵まれた地域でもあります。水のきれいさや交通の利便性から、企業の工場誘致が進んだ背景もあるため、自然環境保全は町の強みを維持する重要事項です。ごみの減量化やリサイクルの意識は、エコドームの設置などにより進展しているものの、減量化・資源化に伴う経費増大は憂慮すべき事項です。

環境保全は町の設備や体制の拡充のほか、住民の意識面も大きく影響する分野です。ゴミ処理の広域化等、処理のあり方の検討とともに、住民を巻き込み3Rを推進することが必要です。

【現況】

町民アンケート調査の結果をみると、地域環境分野では、重要な取り組みとして、「清涼な空気、豊かな水・緑などの恵まれた環境の保全」と回答した割合が36.6%で最も高くなっています。

図表 42 「地域環境」分野について重要な取り組み



【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

- クリーンセンター燃焼設備の改善
- エコドームの建設による資源物の分別回収量の増加

● 現在と将来の課題認識

- クリーンセンターの老朽化と、それに伴う修繕費の増大
- 生ごみ減量化の取り組み効果の低さ
- 近年の可燃ごみの微増
- 資源物売却金額以上のエコドーム管理経費

● 今後の方向性

- クリーンセンターの延命化と広域処理に向けたあり方検討
- 3Rの推進（リデュース、リユース、リサイクル）
- リサイクルからリユース・リデュースへのシフト

【評価指標】

4-1 自然環境	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
川の水や空気がきれいなことに満足している住民の割合	78.8%	88.5%		86.1%
地域の清掃、美化などの活動に参加した住民の割合	46.5%	51.8%		44.5%
4-2 環境衛生	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
住民1人当たりの可燃、不燃ごみ排出量(1日)	850g	766g (H23)	750g	指標変更
住民1人当たりのごみ総排出量(1日)	1,069g	898g (H23)	750g	850g
ごみのリサイクル率(旧計算式)	3.29%	-	7%	指標変更
ごみのリサイクル率(後期から)	18.10%	18.50%	25%	16.0%
大気(ダイオキシン類)測定値(ゴミ焼却施設) ※国基準 5ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.12 ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.074 ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.12 ng-TEQ/m <sup>3</sup>	0.11 ng-TEQ/m <sup>3</sup>
河川のBOD測定値(10箇所平均値)	1.40mg/L	0.90mg/L		0.73 mg/L
ごみ、し尿の収集状況に満足している住民の割合	74.0%	80.0%		80.9%

※住民1人当たりの可燃、不燃ごみ排出量：《指標変更》他市町村との比較に適さないため廃止し、新たに「住民1人当たりのごみ総排出量(1日)」を設定しました。

※住民1人当たりのごみ総排出量(1日)：《中間値》ごみ総排出量 8,999 t ÷ 総人口(人口動態統計調査結果 岐阜県統計課調べ) 27,375 人 ÷ 366 日

※ごみのリサイクル率：《計算方法変更》他市町村との比較に適さないため。《中間値》(直接資源化量 336 t + 中間処理後再生利用量 137 t + 集団回収量 1,180 t) ÷ (直接焼却量 6,882 t + 直接最終処分量 0 t + 焼却以外の中間処理量 603 t + 直接資源化量 336 t + 集団回収量 1,180 t) × 100

(5) 産業・交流

【課題総括】

垂井町は、これまで水源や交通など恵まれた地理的条件を活かし、企業誘致を推進してきました。この強みは、今後も活かしつつ、新規企業の誘致だけでなく町内企業の移設対策等を進め、町内での創業のメリットを創出することが必要です。

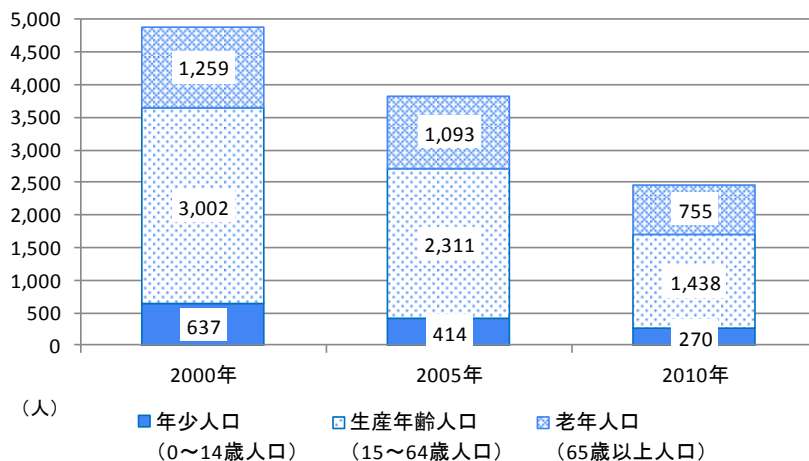
一方で、農林業等の第一次産業の衰退は顕著です。販売農家の高齢化が進み、専業農家、兼業農家ともに減少しています。担い手育成や遊休農地の解消は、一定の成果をみせていますが、今後の高齢化の進行をふまえると、継続して取り組まなければならない主要課題であると位置づけられます。

観光振興は、垂井町の新たな魅力や産業、人の交流を生み出す重要なテーマとなります。SNS等を活用した情報発信体制、資源のブラッシュアップ等、町内の体制整備が整いつつあるため、今後はこれらを活かすための取り組みを実行し、進捗管理を行うことが必要です。

【現況】

販売農家の世帯員数は、2010年までの10年間で、半分に減少しています。また、生産年齢人口と年少人口の減少により、今後の販売農家の規模の縮小が懸念されます。

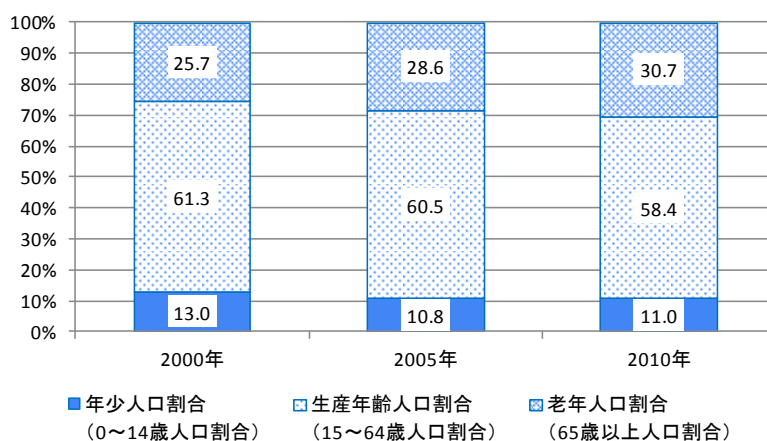
図表 43 販売農家年齢別世帯員数



出典：世界農林業センサス/2005年のみ農林業センサス

販売農家年齢 3 区分別世帯員数の割合をみると、年少人口割合と生産年齢人口割合が減少傾向にあり、老年人口割合は増加傾向にあります。

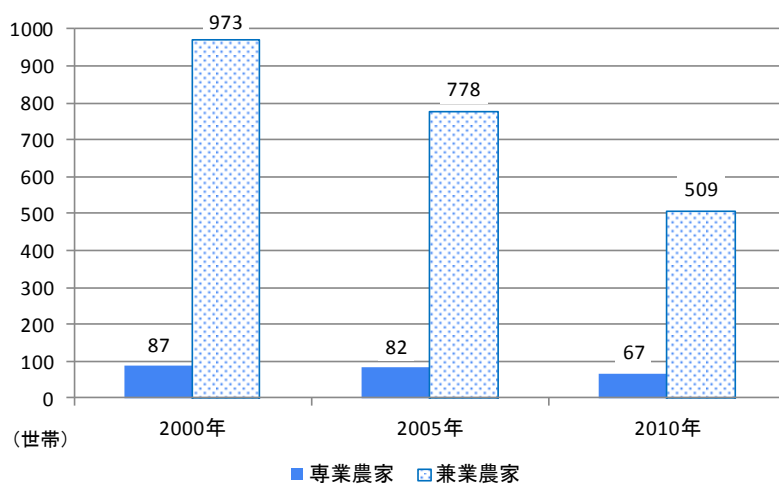
図表 44 販売農家年齢 3 区分別世帯員数の割合



出典：世界農林業センサス/2005年のみ農林業センサス

専業、兼業別農家数（販売農家における）は、専業農家、兼業農家ともに減少しています。また、兼業農家においては、2010年までの10年間で約半数に減少しています。

図表 45 専兼業別農家数—販売農家—

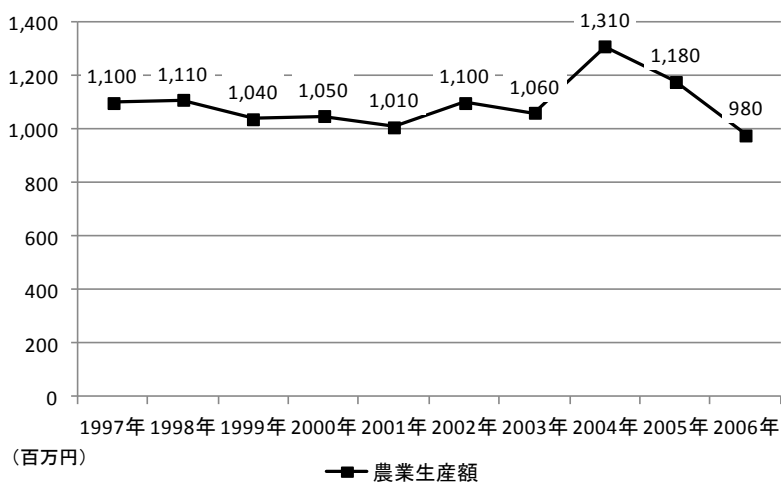


出典：世界農林業センサス/2005年のみ農林業センサス

■ 3 各分野における課題

農業産出額については、2004年に約13億円を記録しましたが、おおむね約10億円前後で推移しています。

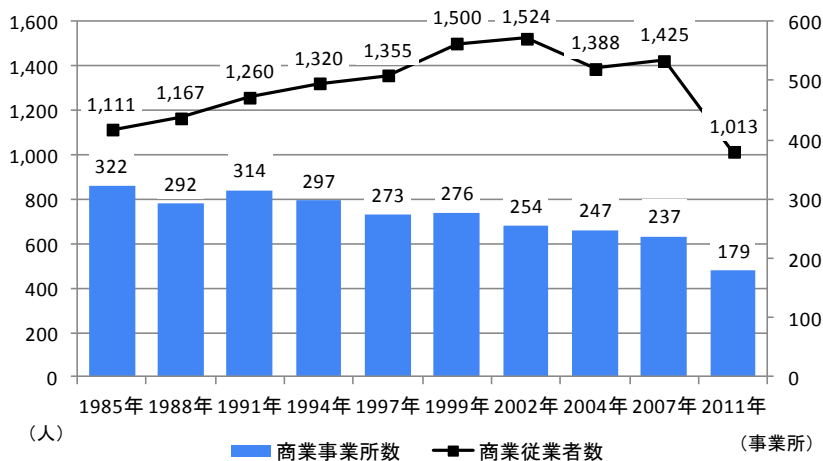
図表 46 農業産出額



出典：生産農業所得統計

商業事業所数は、年々減少傾向にあります。また、商業従業者数は、2002年までは増加傾向でしたが、2004年以降減少に転じています。

図表 47 商業事業所数と商業従業者数の推移

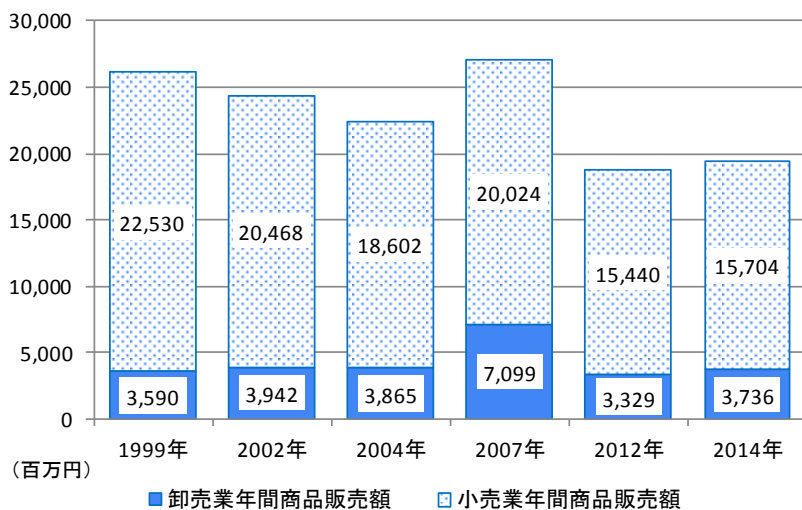


出典：商業統計調査



卸売業年間商品販売額、小売業年間商品販売額ともに 2007 年が最高額となっていますが、2012 年にはともに最低額となっています。

図表 48 卸売業年間商品販売額と小売業年間商品販売額

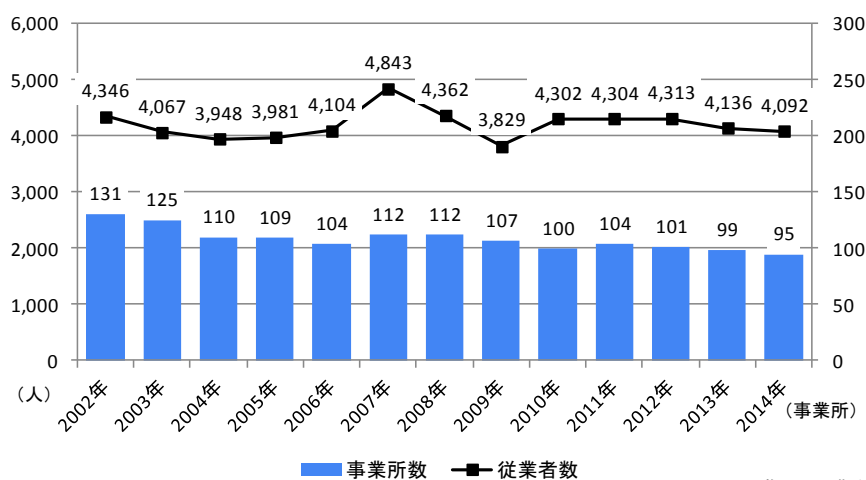


出典：商業統計調査（～2007年,2014年）、経済センサス（2012年）

※2009年は経済センサスへの移行期のため商業統計調査（簡易調査）は実施せず。

事業所数、従業者数ともに 2007 年に増加したものの、それ以降緩やかな減少傾向となっています。

図表 49 工業（事業所数、従業者数）

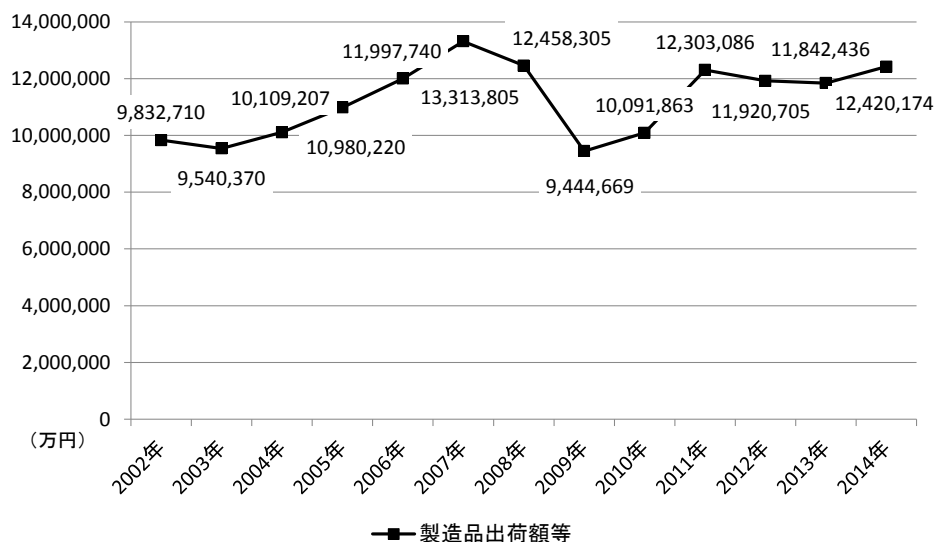


出典：工業統計調査

### ■ 3 各分野における課題

製造品出荷額等については、2007年をピークに、2009年は大幅に減少したもののその後持ち直し、2011年以降横ばいとなっています。

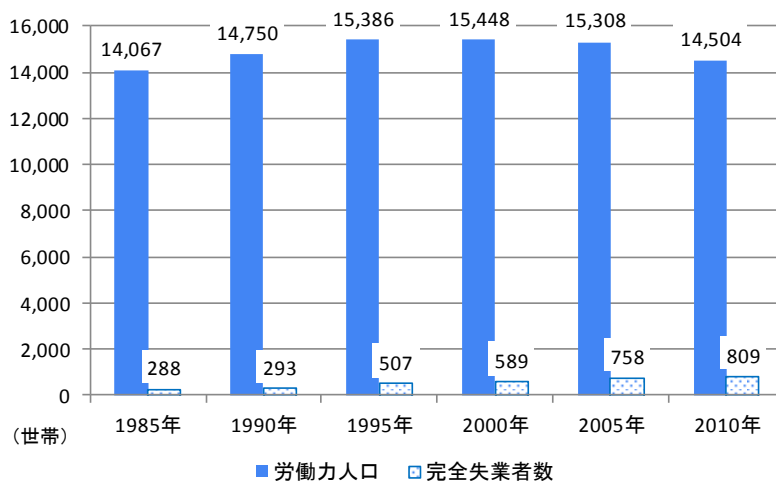
図表 50 工業（製造品出荷額等）



出典：工業統計調査

労働力人口は2000年をピークに緩やかに減少傾向となっています。一方、完全失業者数は、増加傾向となっています。

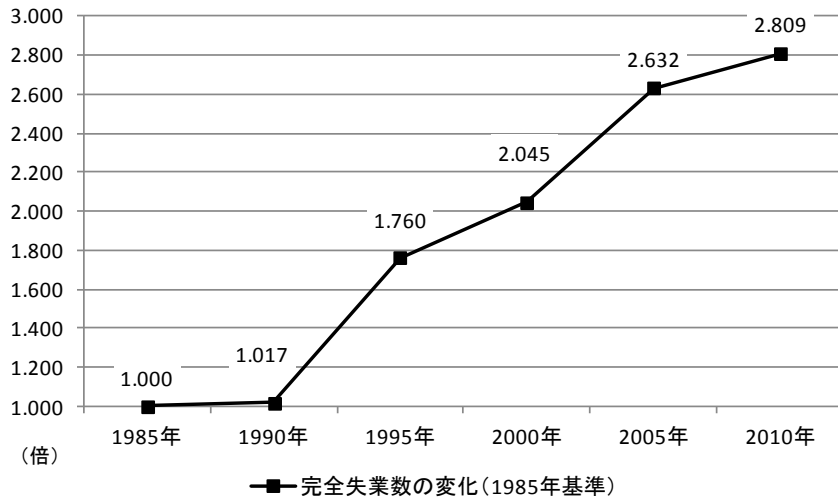
図表 51 労働力人口、完全失業者数



出典：工業統計調査

完全失業者数については、1985年を基準とすると、2010年には約3倍となっています。

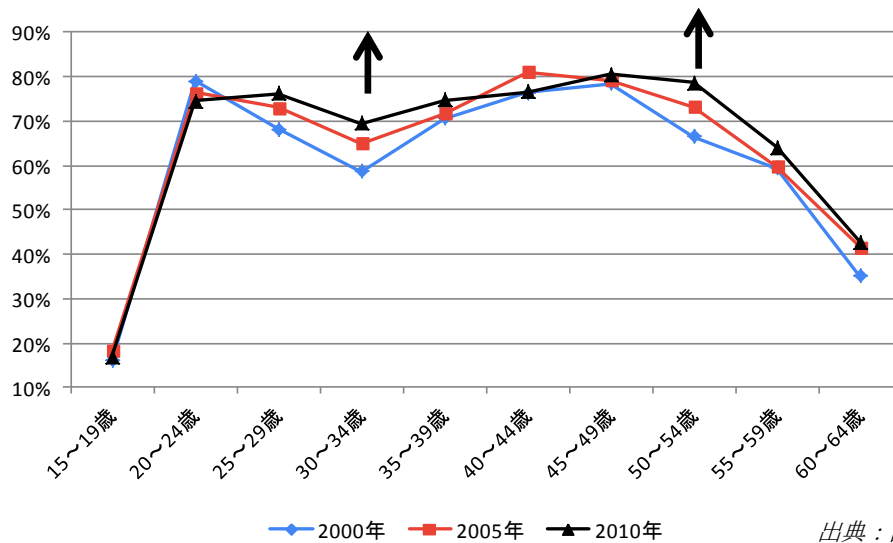
図表 52 完全失業者数の変化（1985年基準）



出典：国勢調査

女性の労働力率は30歳～34歳、50歳～54歳で約10ポイント増加しています。上記の年代では、働く女性の割合が増加している結果となっています。

図表 53 女性の労働力率

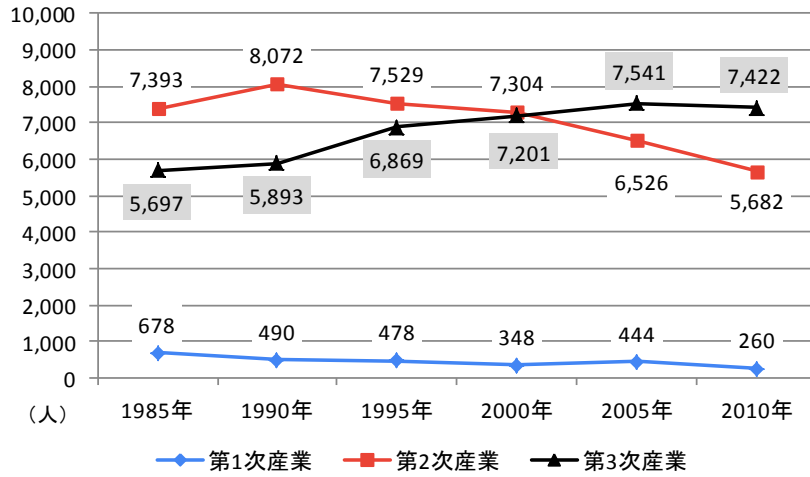


出典：国勢調査

■ 3 各分野における課題

産業別就業者数の推移をみると、第1次産業、第2次産業が減少傾向にあるのに対して、第3次産業が増加傾向にあります。

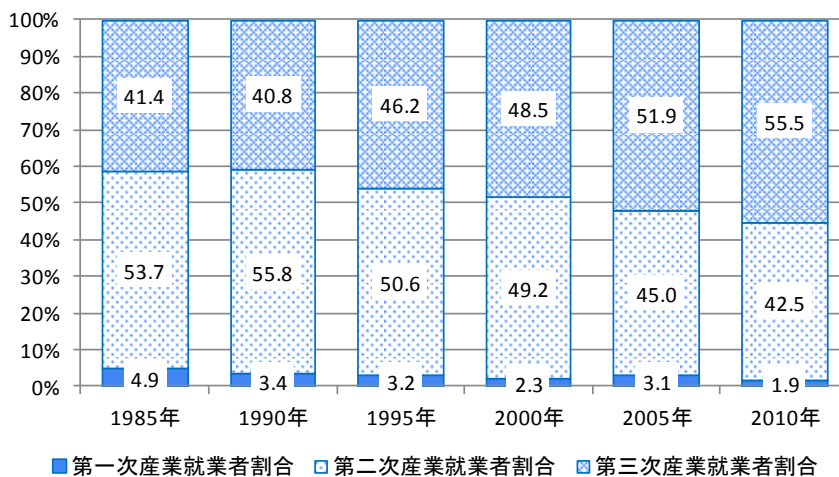
図表 54 産業別就業者数の推移



出典：国勢調査

産業別就業者の割合は、2005年に第2次産業就業者と第3次産業就業者の割合が逆転しています。それ以降は、第三次産業就業者の割合が最も高くなっています。

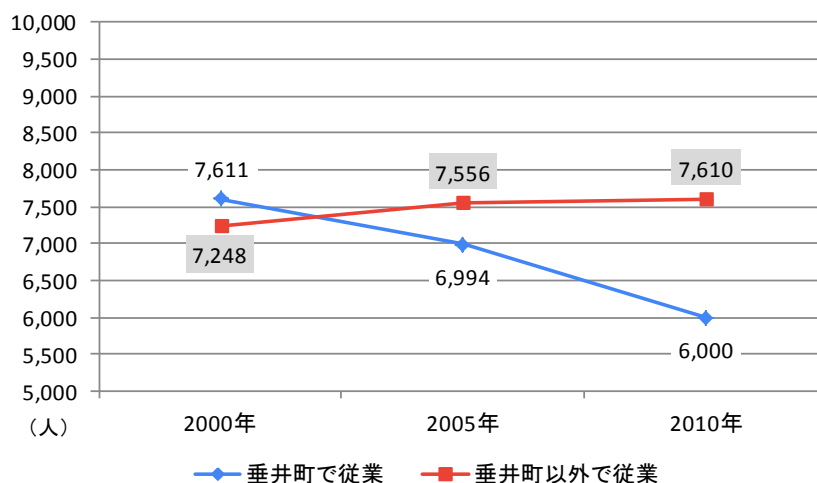
図表 55 産業別就業者割合



出典：国勢調査

垂井町に常住する就業者（15歳以上通勤者）が従業する場所は、2000年時点では町内が町外より多くなっています。しかし2005年以降は逆転し、町内より町外で従業している就業者の方が多いという結果になっています。

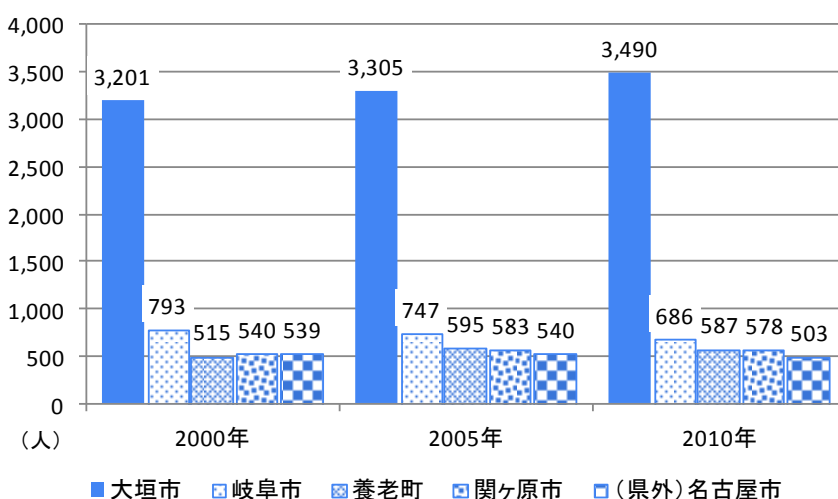
図表 56 垂井町常住者における町内従業と町外従業数



出典：国勢調査

垂井町に常住する就業者（15歳以上通勤者）の内、他市町村で従業する人の就業先として最も多い場所は、大垣市となっています。

図表 57 他市町村で従業（上位5市町村）

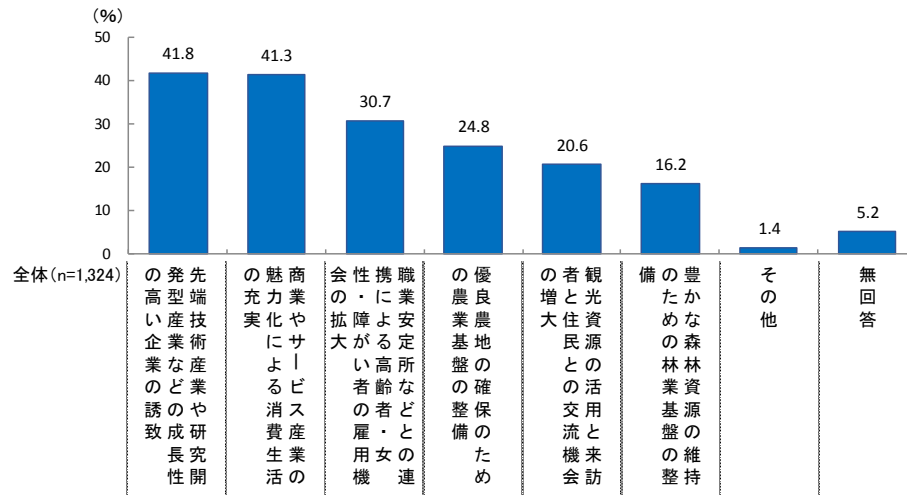


出典：国勢調査

### ■ 3 各分野における課題

町民アンケート調査の結果をみると、産業・交流分野では、重要な取り組みとして、「先端技術産業や研究開発型産業などの成長性の高い企業の誘致」と回答した割合が41.8%で最も高く、ついで「商業やサービス産業の魅力化による消費生活の充実」が41.3%となっています。

図表 58 「産業・交流」分野について重要な取り組み



出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

(農林業)

- 担い手育成による遊休農地解消や農地の利用集積
- 地域ぐるみの有害鳥獣対策
- 営農組織への高機能機械の導入による作業の効率化

(産業)

- 地区計画決定による企業誘致の実現
- 企業立地奨励金制度の活用・説明
- プレミアム商品券の発行

(観光)

- SNS等による観光情報の発信強化
- 観光資源の掘り起こしによる、観光振興における基礎資料の作成

● 現在と将来の課題認識

(農林業)

- 農林業の担い手不足
- 高齢化、後継者不足による遊休農地の増加
- 地場産物購入機会の拡大不足
- 有害鳥獣の増加

(産業)

- 企業誘致するための、まとまった規模の土地の不足
- 企業の工場等の老朽化による町外移設の可能性
- 勤労者に対する施策の利用者、周知度の低さ
- 中小企業事業者の後継者不足

● 今後の方向性

(農林業)

- 農地利用最適化を推進する農地利用最適化推進委員の新設
- 農業・林業の担い手確保

(産業)

- 新規企業誘致や移設のための用地確保
- 中小事業者への支援強化

(観光)

- 観光基本計画の策定と、アクションプランの実行



【評価指標】

5-1 農業・林業・畜産	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
担い手への土地利用集積率	34.1%	54.1% (H23)	85%	65.7%
農業生産法人数	4 団体	7 団体		10 団体
学校給食の地元食材活用率	3.6%	6.7% (H23)	15%	17.3%
保安林面積	238ha (H16)	299ha (H23)	360ha	317ha
間伐事業面積(18年度からの累積)	30ha	433ha (H23)	400ha	562.6ha
5-2 観光	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
観光案内などのボランティア活動に参加した住民の割合	2.3%	1.7%		1.9%
観光客入込客数	512,954 人	485,026 人 (H23)	650,000 人	498,397 人
ホームページの観光ガイドへのアクセス数(月平均)	898 件	1,899 件 (H23)	5,000 件	15,470 件
5-3 工業	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
製造品出荷額等(工業統計調査)	1,199 億円	1,009 億円 (H22)	1,500 億円	1,241 億円 (H26)
企業誘致数	0 件	0 件	8 件	1 件

※担い手への土地利用集積率：《中間値》担い手への集積面積 489ha÷町内水田面積 904ha


※農業生産法人数：《目標値変更》広域化も含め法人化に向けた指導をしていくため。

※学校給食の地元食材活用率：《中間値》町内食材活用量 3,429kg÷全体量 51,416kg

※間伐事業面積：《目標値変更》既に H29 当初目標値 400ha を達成したため。

※企業誘致件数：《目標値変更》農地に係る規制強化などにより中間目標を達成できなかったため、引き続き関係機関との協議や企業へのPRを行い、早期誘致に向け取り組みます。

■ 3 各分野における課題

5-4 商業	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
年間商品販売額（商業統計調査）	2,246 千万円 (H16)	-	4,000 千万円	1,944 千万円 (H26)
日常の買い物の便利さに満足している住民の割合	58.6%	70.9%		72.2%
5-5 勤労者	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
垂井町内に勤務している住民の割合（国勢調査）	48.1% (H17)	43.8% (H22)	54%	—
完全失業率（国勢調査）	5.0% (H17)	5.6% (H22)	4.0%	—

(6) 都市基盤

【課題総括】

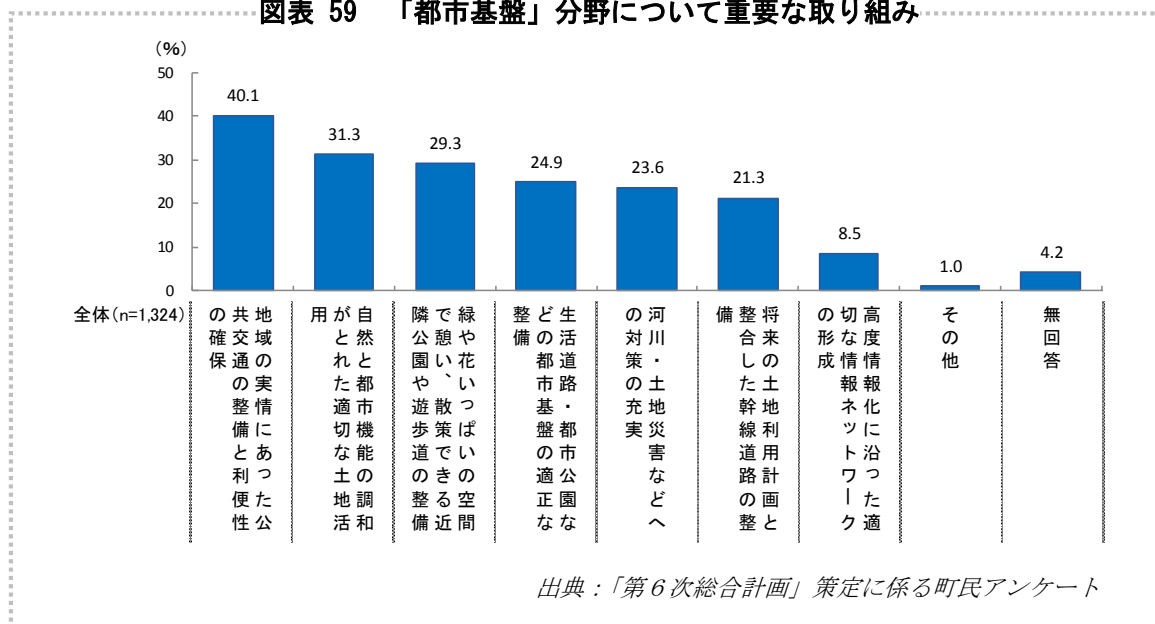
都市基盤の分野では、特に公共交通における課題が主要項目として考えられます。住民アンケート調査の結果をみても、「鉄道・バスなど公共交通機関」が数あるまちづくりの取り組みの中で最も不満である結果となっています。住民の足となる巡回バスの路線の拡充によって高齢者等を中心に利用者の増加はあったものの、住民満足度を踏まえると、引き続きの課題として位置づける必要があります。

また、将来的な町の発展を支え、地方創生を実現するための基盤として、定住促進のための土地開発を推進することが求められています。特に平成31年度に供用開始予定の新庁舎を中心とした都市環境整備を進めることが重要です。

【現況】

町民アンケート調査の結果をみると、都市基盤分野では、「地域の实情にあった公共交通の整備と利便性の確保」と回答した割合が40.1%で最も高なっています。

図表 59 「都市基盤」分野について重要な取り組み



### ■ 3 各分野における課題

町民アンケートの結果をみると、まちづくりに関する取り組みの中で、「鉄道・バスなど公共交通機関」が最も満足度が低い結果となっています。

図表 60 まちづくりに関する満足度の上位・下位5項目

順位	満足度の高い5項目		不満の多い5項目	
1	川の水や空気がきれいなこと	1.11	鉄道・バスなど公共交通機関	-0.31
2	ごみ・し尿の収集状況	0.90	夜道の安全さなどの防犯	-0.28
3	住民健診などの保健事業	0.85	はえ・蚊・雑草などの除去状況	-0.15
4	小・中学校の整備状況	0.82	公園や子どもの遊び場	-0.10
5	保育園・幼稚園の整備状況	0.71	道路事情や道路の整備状況	0.15

※満足度=満足[+2点]、まあ満足[+1点]、やや不満[-1点]、不満[-2点]として集計

出典：「第6次総合計画」策定に係る町民アンケート

【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

- 公共交通充実のための巡回バスの見直し（路線拡大、ワゴン車購入）
- 道路新設による未利用地の宅地化と開発促進
- 河川敷の整備による親水空間の確保
- 利用者の声を活かした公園づくりの実施（相川児童公園全面改修）
- 上下水道の安定供給と耐震化の推進

● 現在と将来の課題認識

- 巡回バスの見直しにより高齢者を中心に乗客が増えたものの、現状では利用者は頭打ちになっている
- 人口減少による空家の増加
- 町営住宅のバリアフリー化が未施工
- 町営住宅の老朽化
- 道路舗装、橋梁等の老朽化
- 耐震診断、耐震補強件数の減少
- 上下水道設備・施設の老朽化

● 今後の方向性

- 移住定住者への利用促進等、空家対策の推進
- 公営集合住宅の統廃合検討
- 道路建設・維持補修の継続
- 市街化調整区域の土地開発の推進
- 上下水道の計画的な整備

【評価指標】

6-1 道路	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
6 m 以上の幅員がある町道の割合	32.9%	33.6% (H23)	35%	34.4%
町道の歩道整備率 (5.5m以上の幅員)	36.8%	37.2% (H23)	40%	36.9%
道路事情や道路の整備状況に満足している住民の割合	44.8%	54.7%		54.9%
6-2 河川・治水	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
急傾斜地崩壊危険箇所のうち施設整備した箇所数	8 箇所	9 箇所	10 箇所	9 箇所
6-3 公園	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
住民 1 人当たりの都市公園面積	5.56 m <sup>2</sup>	6.80 m <sup>2</sup>	8.3 m <sup>2</sup>	7.0 m <sup>2</sup>
公園や子どもの遊び場に満足している住民の割合	42.0%	46.2%		46.1%
6-4 市街地形成	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
市街化区域内の住宅用地の面積	2,164,900 m <sup>2</sup> (H14)	-	2,304,000 m <sup>2</sup>	2,334,300 m <sup>2</sup>

※ 6 m 以上の幅員がある町道の割合：《中間値》 6 m 以上の町道延長 80,549m ÷ 全町道実延長 239,631.9m

※ 町道の歩道整備率（5.5m 以上の幅員）：《中間値》 歩道等設置道路延長 16,766.5m ÷ 規格改良済 5.5m 以上町道延長 45,064.6m

※ 市街化区域内の住宅用地の面積：《目標値変更》既に、H29 当初目標値 2,304,000 m<sup>2</sup>を達成しているため。

6-5 上・下水道	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
水道施設の最大稼働率	85.5%	-	76%	指標変更
浄水施設耐震率	-	31.0%	100%	31.0%
配水池耐震施設率	-	60.5%	84%	60.5%
管路の耐震化率	-	14.8%	20%	20.6%
下水道水洗化率	61.9%	65.5% (H23)	70%	64.7%
下水や雨水の排水状況に満足している住民の割合	51.2%	64.4%		68.1%
6-6 公共交通	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
垂井駅の1日平均乗車人員	2,800人	2,666人 (H23)	3,000人	2,642人
町営駐車場の利用台数	18,165台	11,829台 (H23)	22,000台	指標変更
巡回バスの1日平均乗車人員	82人	83人 (H23)	200人	109人
鉄道、バスなど公共交通機関に満足している住民の割合	31.4%	35.7%		40.3%

※水道施設の最大稼働率：《指標変更》既に、H29当初目標値76%を達成したため廃止し、新たに「浄水施設耐震率」、「配水池耐震施設率」、「管路の耐震化率」を設定しました。

※下水道水洗化率：《中間値》水洗化人口8,877人÷処理区域内人口13,550人

※町営駐車場の利用台数：《指標廃止》民間駐車場の増加により指標として適切ではないため。

※巡回バスの1日平均乗車人員：《目標値変更》利用者は固定化しており中間目標を達成できなかったため、運行経路の見直しなど利便性の向上を図ります。

(7) 協働

【課題総括】

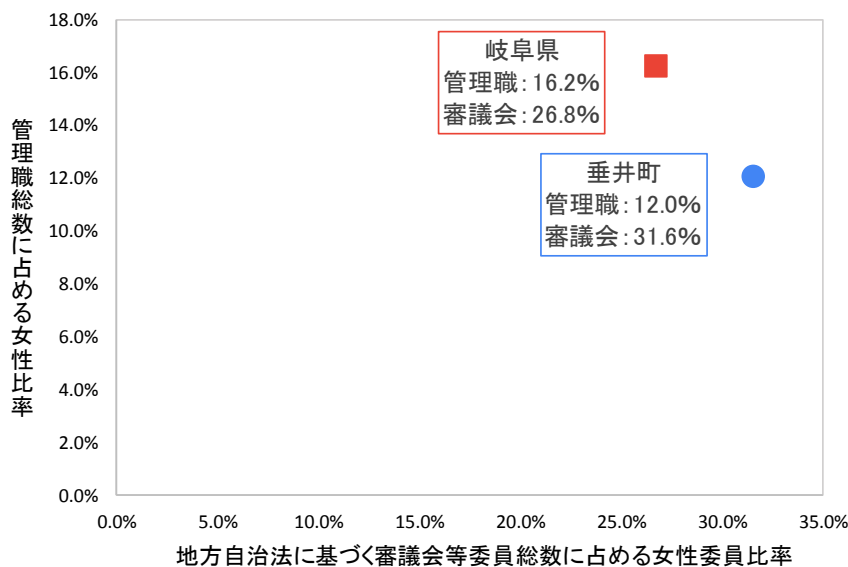
垂井町においては、「まちづくり基本条例」の制定、および「まちづくり協議会」の設置によって、住民協働のまちづくりの基盤が整っています。これに加え、男女共同参画プランの策定等、誰もが社会やまちづくりに参画できるようにするための取り組みも進んでいることも、協働の体制に寄与するものです。

今後、協働の取り組みが具現化し、目に見える形でまちづくりに体现されるよう、町と住民が連携を密にできる体制や環境を構築し、様々な取り組みを実行しなければなりません。また、協働を進めていくためには、住民自身の意識改革も重要であることから、住民がまちづくりの主体であることを積極的に啓発し、協力していくことが重要です。

【現況】

管理職総数に占める女性比率は、12.0%となっており、岐阜県内平均より 4.2 ポイント低くなっています。一方、地方自治法に基づく審議会等委員総数に占める女性委員比率は、31.6%となっており、岐阜県内平均より 4.8 ポイント高くなっています。

図表 61 管理職総数に占める女性比率と地方自治法に基づく審議会等委員総数に占める女性委員比率

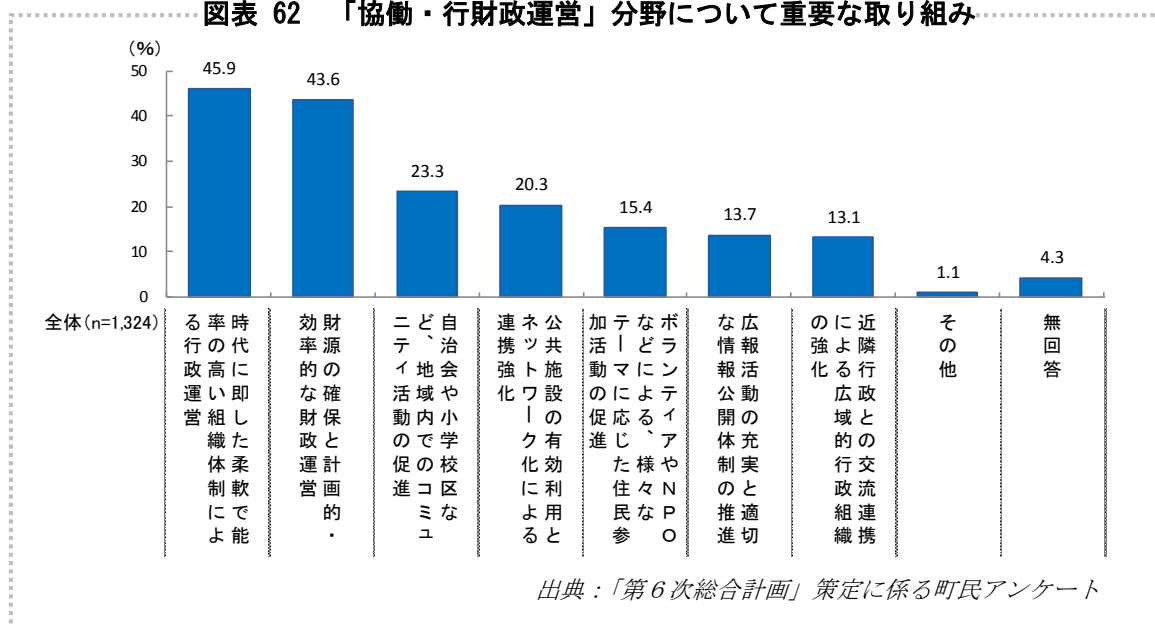


出典：地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況



町民アンケート調査の結果をみると、協働・行財政運営分野の重要な取り組みとして、「時代に即した柔軟で能率の高い組織体制による行政運営」と回答した割合が45.9%で最も高く、ついで「財源の確保と計画的・効率的な財政運営」が43.6%となっています。

図表 62 「協働・行財政運営」分野について重要な取り組み



【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

- 地区公民館をまちづくりセンターへ移行し、住民主体の事業展開を開始

● 現在と将来の課題認識

- 各地区公民館のまちづくりセンター化の必要性

● 今後の方向性

- 公民館のまちづくりセンター化
- まちづくり協議会との連携等、協働のまちづくりの推進
- 広報・広聴機能の拡充

【評価指標】

7-1 地域活動	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
自治会の加入率	82.0% (H19)	79.1%	90%	76.7%
公民館や地域集会所 などの整備状況に満 足している住民の割 合	70.9%	72.6%	↑	70.6%
自治会の活動に参加 した住民の割合	55.0%	55.7%	↑	47.2%
青年団体、女性団体、 老人クラブなどの活 動に参加した住民の 割合	18.3%	15.0%	↑	14.7%
7-2 住民参画	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
公募委員のいる委員 会などの数(50委員会 などの内)	3委員会など	3委員会	15委員会など	7委員会
新たな住民参画事業 数	0事業	2事業	↑	指標変更
まちづくり協議会数	-	7団体	↑	7団体
NPO法人数	1法人	3法人 (H23)	↑	4法人
まちづくり、まちおこ しなどの提言や住民 活動に参加した住民 の割合	4.4%	2.9%	↑	4.5%

※自治会の加入率：《目標値変更》核家族化やアパートの増加などにより、中間目標を達成できなかったため、地域活動の支援などを通じ、加入率増加に取り組めます。《中間値》平成24年4月号広報配布世帯数8,130世帯÷平成24年3月末世帯数10,276世帯

※公募委員のいる委員会などの数：《目標値変更》応募者が少なく中間目標値を達成できませんでしたが、応募しやすい環境づくりに努めていきます。

※新たな住民参画事業数：《指標変更》まちづくり基本条例に基づく指標「まちづくり協議会数」に変更します。

■ 3 各分野における課題

7-3 広報・情報公開・公聴	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
ホームページのアクセス数	94,806 件	121,386 件 (H23)	150,000 件	552,959 件
まちづくり提案箱の提案件数	52 件	23 件 (H23)	150 件	21 件
まちづくり出前講座の件数	8 件	12 件 (H23)	30 件	31 件
パブリック・コメント実施件数 (累積)	0 件	26 件		37 件

(8) 行財政運営

【課題総括】

財政の健全な運営は、垂井町が自立可能なまちとなるために欠かせないものであり、かつ住民からも望まれている重要テーマです。今後、少子高齢化・人口減少により財源が縮小する可能性がある一方、老朽化する公共施設の維持管理等に多くの財源が必要とされることが見込まれています。

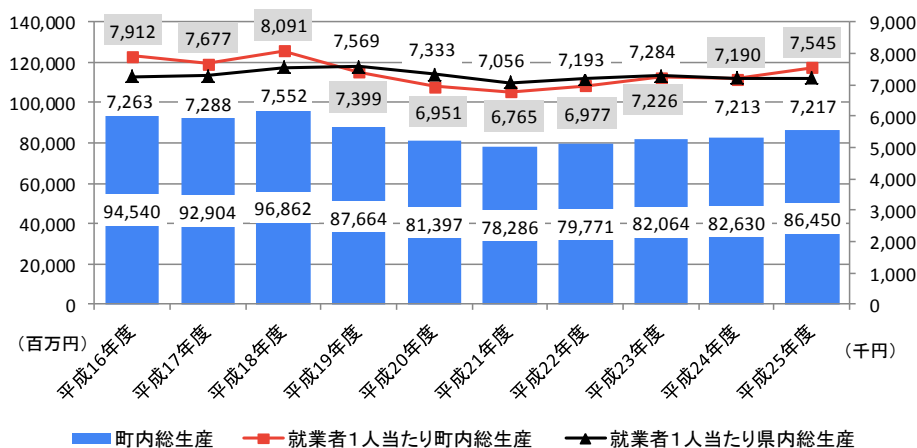
垂井町では経常収支比率が 80%を超え、弾力的な財政運営に課題を抱える一方、実質公債費比率や将来負担比率は改善している結果となっており、財政健全化の効果がみられます。

しかし、今後の施設老朽化への対策や新庁舎建設等、大型事業が進められることにより健全化判断比率は著しく上昇する可能性があります。公共施設の適正化などの大規模事業から通常業務まで、総じて財政健全化の視点で効率的・計画的に進めることが重要です。

【現況】

町内総生産<sup>1</sup>は、平成 25 年までの 10 年間で約 100 億円減少しています。また、一人当たり総生産については、県内平均と比較すると平成 19 年度から平成 23 年度まで下回っていたものの、24 年度以降再び上回る結果となっています。

図表 63 町内総生産・一人当たり総生産



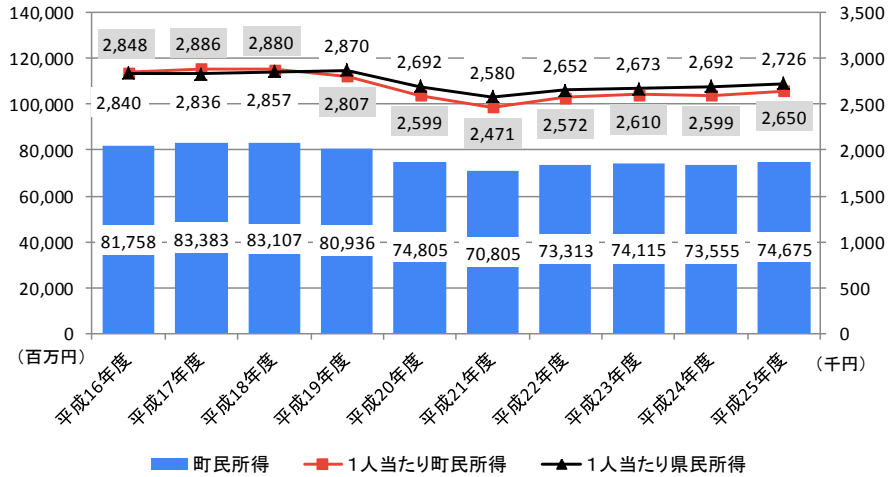
出典：市町村民経済計算結果(各年)

1 町内産業の総生産額

■ 3 各分野における課題

町民所得については、平成 25 年までの 10 年間で約 50 億円減少しています。また、一人当たり所得については、県内平均と比較すると平成 19 年度以降下回る結果となっています。

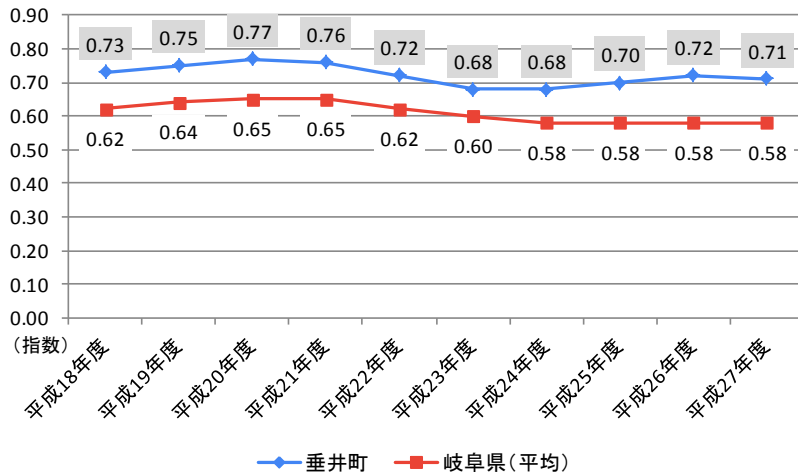
図表 64 町民所得 一人当たり所得



出典：市町村民経済計算結果(各年)

財政力指数は、平成 27 年度までの 10 年間は 0.75 前後を推移しています。岐阜県内市町村平均と比較すると 0.10 程度高くなっているものの、収支のバランスが良いとされている 1.00、財源に余裕があるとされる 1.00 以上の基準と照らし合わせると低い数値となっています。

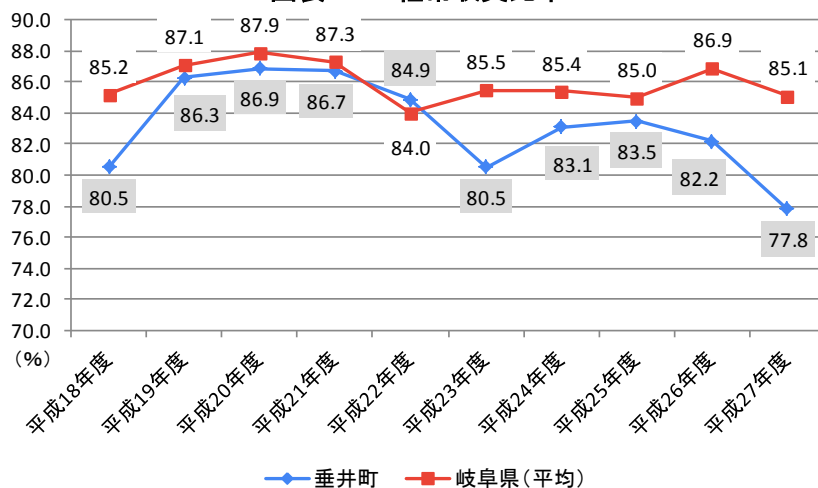
図表 65 財政力指数



出典：地方公共団体の主要財政指標一覧 (各年)

経常収支比率は、一般的に適正水準といわれる 70.0%~80.0%を超えて、80.0%~86.0%の間を推移しています。そのため、垂井町の財政構造の弾力性が低下している状態と判断できます。

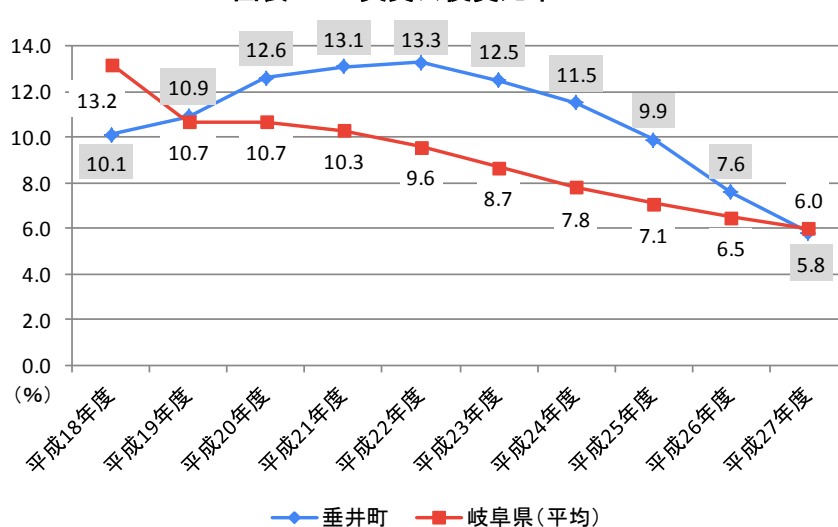
図表 66 経常収支比率



出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（各年）

実質公債費比率は、平成 22 年度まで上昇し、それ以降減少傾向にあります。また、起債に当たり許可が必要となる 18%を超えておらず、直近 3 年間では、10%を下回っていることから、実質公債費比率は改善傾向にあると思われます。

図表 67 実質公債費比率

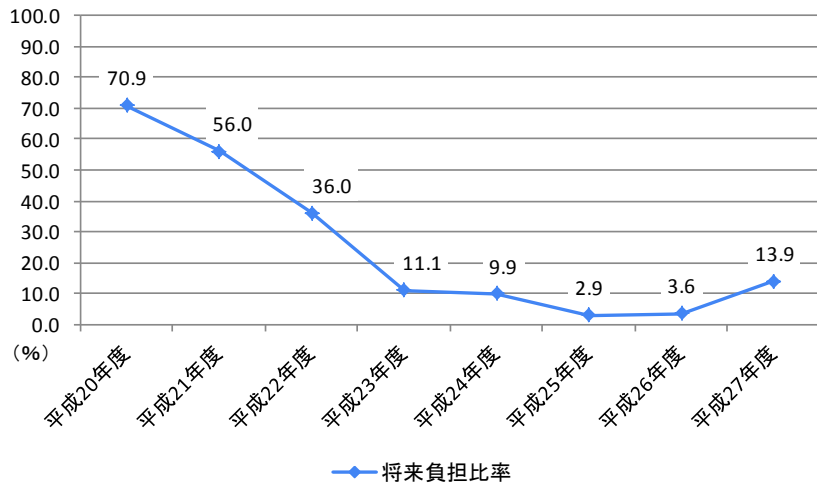


出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（各年）

■ 3 各分野における課題

将来負担比率は、年々減少傾向にあります。また、危険水準の目安である 350%と比較すると低い値となっているため、借入金等の負債の大きさの財政規模に対する割合は比較的健全な状態と思われます。

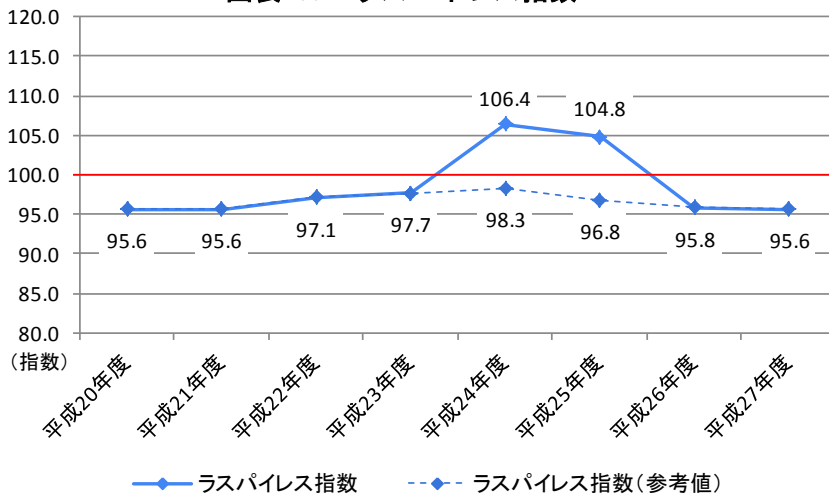
図表 68 将来負担比率



出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（各年）

ラスパイレース指数は、平成 24 年度、平成 25 年度で 100.0 を超えています。これは、「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律(平成 24 年法律第 2 号)」による措置が影響しているためです。参考値は、その措置がないと仮定した数値であり、こちらを基準として見た時、平成 27 年度までの 8 年間はほぼ横ばいに推移しています。

図表 69 ラスパイレース指数

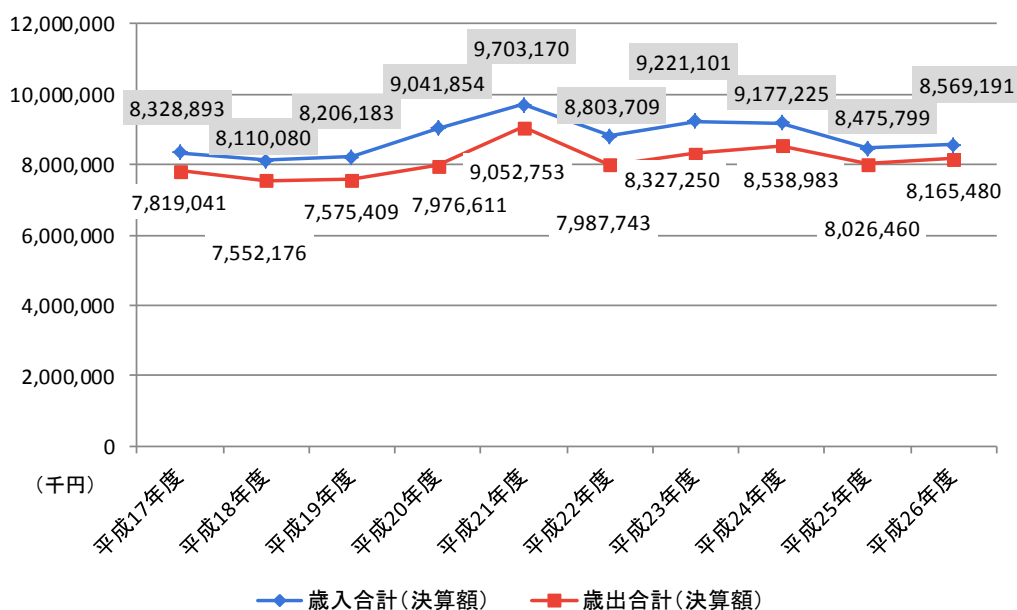


出典：地方公共団体の主要財政指標一覧（各年）



決算額における歳入合計と歳出合計については、平成 25 年度、平成 26 年度で歳入合計と歳出合計の差が 5 億円を割り込んでいる結果となっています。また、歳入合計は、平成 21 年度を境に減少傾向となっています。

図表 70 歳入合計と歳出合計（決算額）



出典：決算カード（総務省）

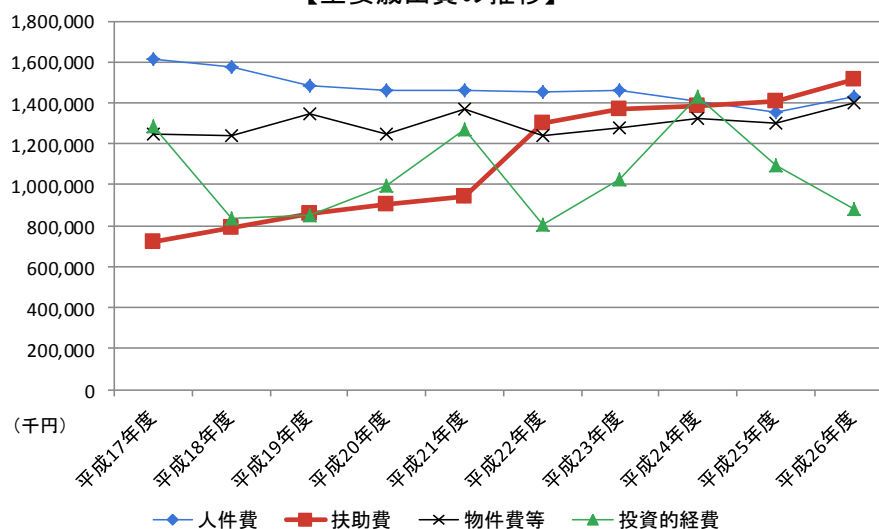
### ■ 3 各分野における課題

主要な歳出の内訳をみると、扶助費が平成17年度と比較すると2倍の額となっています。扶助費は、平成17年度の歳出額の上位3項目を上回り最大の主要歳出項目となっています。

図表 71 主な歳入と歳出

		(千円)									
【歳入】	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
地方交付税	1,260,544	1,222,796	1,069,078	1,190,174	1,419,027	1,672,229	1,703,671	1,402,523	1,368,316	1,454,602	
地方税	3,327,766	3,552,614	3,844,215	3,844,904	3,665,994	3,513,652	3,816,751	3,690,822	3,668,526	3,742,154	
国庫支出金	361,617	240,201	376,248	875,807	899,271	811,584	812,372	753,587	685,380	755,847	
都道府県支出金	445,094	411,722	467,370	544,879	640,388	499,445	539,278	590,880	566,493	590,539	
地方債	620,100	351,800	381,800	344,600	431,300	588,000	533,600	582,806	480,000	500,000	
【歳出】	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
人件費	1,613,543	1,574,570	1,487,695	1,458,015	1,460,174	1,457,252	1,461,526	1,410,805	1,351,840	1,432,525	
扶助費	723,167	792,606	860,162	905,000	939,389	1,302,069	1,372,157	1,381,901	1,407,168	1,513,760	
公債費	810,460	844,702	927,324	1,055,140	1,079,407	1,054,359	1,372,157	797,881	725,795	617,726	
物件費等	1,247,311	1,242,743	1,347,111	1,244,255	1,368,901	1,242,701	1,280,521	1,326,224	1,304,289	1,399,998	
補助費等	820,750	799,782	873,165	906,772	1,456,137	865,188	865,976	911,782	875,449	860,341	
繰出金	861,733	1,024,552	987,884	1,040,525	977,162	1,010,333	988,994	1,003,225	1,077,578	1,192,085	
積立金	336,424	368,081	170,117	295,987	408,689	153,136	242,202	201,843	101,472	147,109	
投資的経費	1,287,487	838,067	854,494	998,619	1,270,825	808,329	1,026,674	1,427,996	1,096,972	881,265	

【主要歳出費の推移】



出典：決算カード（総務省）

【担当課における課題認識と今後の方向性】

● 第5次総合計画期間中の主要な成果

- 健全化判断比率（実質公債費比率、将来負担比率）に基づく将来的なシミュレーションを作成し、財政的な見通しを立てることができた
- 運用益の積立や、各基金の整理に向けた検討を行い、基金の適切な運用に向けた取り組みにつながる活動ができた
- 新庁舎移転等事業の着手
- 税の納期内納付の推進と厳正な滞納処分


● 現在と将来の課題認識

- 幼保一元化や保育園耐震化、庁舎建設、老朽化施設対応等、多くの大型事業が見込まれており、起債発行額の増加により健全化判断比率が著しく上昇することが見込まれる
- 新庁舎建設にあたり、行政機能の集約方針、民間施設・用地の取得検討、現役場敷地の有効活用を検討する必要がある
- 他課との連携・効率的な徴収体制の不足

● 今後の方向性

- 地方公会計改革に伴う財務書類整備
- 計画的な財政の健全運営
- 新庁舎建設事業推進とコスト管理
- 現役場敷地の活用方針検討
- 税徴収体制の強化と法整備
- 備品管理の適正化

【評価指標】

8-1 行政運営	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
定員適正化計画の達成率	106.3%	106.4%	100%	110.3%
8-2 財政運営	初期値 (H18)	中間値 (H24)	目標値 (H29)	実績値 (H28)
町税の収納率 (現年度)	98.7%	98.7%	99%	99.16%
自主財源比率	62.6%	56.3%		51.7% (H27)
経常収支比率	80.5%	80.5%		77.8% (H27)
実質公債費比率 (単年度)	11.5%	12.5%		3.9% (H27)
住民1人当たりの町債額	260,131円	180,774円 (H23)		174,143円 (H27)

※自主財源比率：歳入全体に対する自主財源（地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財政収入寄付金、繰入金、繰越金など）の占める割合。

※経常収支比率：財政構造の弾力性を示す指標。人件費、扶助費、公債費などの毎年経常的に支出する経費に、地方税や地方交付税などの一般財源がどの程度費やされているかを求めたもの。

※実質公債費比率：公債費などの財政負担の程度を客観的に示す指標。実質的な公債費に費やした一般財源の額が、標準財政規模（標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模）に占める割合。

#### 4 垂井町男女共同参画プラン懇話会における主要意見

今後のまちづくりの将来を検討するにあたっては、男女双方の意見や考えを取り入れることが重要です。そのため、「垂井町男女共同参画プラン懇話会」において、「男女共同参画の視点からみた今後のまちづくり」をテーマとしてヒアリングを実施しました。

以下にその結果を記載します。

##### 【実施概要】

日時：平成 28 年 11 月 22 日（火）

場所：垂井町役場 3 階 協議会室

（次第）

- 1 あいさつ
- 2 男女共同参画の視点からみた今後のまちづくりについて
- 3 その他

##### 【主要意見】

#### ① 教育分野における男女共同参画の浸透

男女の混合名簿や、体操服の統一化など、学校における男女共同参画は着実に進展しています。このような環境下で育った子どもたちは、将来的にも男女共同参画を当たり前のこととして認識することが期待されます。

ただし、教職員の就労環境上の男女共同参画は、今後も充実させる必要があります。男性も看護や介護で特別休暇が取りやすい環境などにすることが求められています。

#### ② 商工会における女性活躍

商工会女性部では、女性だからこそできる役割や、女性の視点を重視した取り組みを実施しています。ただし、女性・男性と切り分けることではなく、男性と歩みをそろえて協力することが必要です。

#### ③ 若年者と高齢者の認識差異

若年者は男女共同参画や男女平等は当たり前のこととして考えていることが見受

けられます。一方、高齢者では、未だに性差に固執した考え方をもっている方が多い傾向があります。若い世代の方々が社会・地域に進出していくことで、男女共同参画は当たり前のものになっていく可能性があります。

#### ④ 性的マイノリティの配慮

性的マイノリティ（LGBT等）への関心が高まっています。学校にも、LGBTの実態調査の依頼がきています。トイレ等プライバシーの確保や、スカートなど性差による衣服の違いなど、配慮が必要なことが多々あります。学校等、社会全体で正しい認識を持つとともに、人権問題として子どもの頃から正しい理解を促すことが重要になります。

#### ⑤ 地域の女性リーダーの少なさ

町内の老人クラブでは、会長や副会長などは依然として男性が多い状況です。女性会長はゼロとなっています。一部のクラブでは、副会長に女性を配置する規約をつくり、地域における男女共同参画を推進する仕組みをつくっていますが、まだ少数派であり、地域活動における女性リーダーの少なさがうかがえます。

#### ⑥ 企業における女性活躍の進展と課題

町内の会社では、工場現場においても女性が勤務しており、男性と変わらない働きぶりで仕事をしています。女性活躍推進法の制定により、行動計画をつくる企業も多々ありますが、しっかりと実行されるかどうかについては課題が残ります。女性参画が進むことにより、セクハラ等の問題発生の可能性も高くなり、対策が必要となってきます。

## 5 高校生ワークショップにおける主要意見

垂井町の将来を考えるにあたっては、次代を担う若い世代の意見やアイデアを取り入れることで、新たな施策や方向性を導き出すきっかけになる可能性があります。そこで、町内高校に通う高校生を対象に、「垂井町の将来を考える高校生ワークショップ」を実施しました。

以下にその結果を記載します。

### 【実施概要】

日時：平成 28 年 12 月 6 日（火）

場所：岐阜県立不破高校

（次第）

- 1 あいさつ・説明
- 2 住みたいまちってどんなまち？
- 3 今の垂井町に足りないことは？
- 4 全体発表

### 【主要意見】

今後、より住みたいまちに変わっていくために必要なこととして、大きく分けて 4 つの指摘がありました。

一つ目は、道路状況や鉄道・バスアクセス等の向上です。道路環境や交通の便が悪いことで不便や不安を感じており、移動手段や環境の改善を求める声が多く挙げられていました。

二つ目は、商業施設（娯楽施設等）の検討です。ショッピングモール、ゲームセンター、コンビニなどの商業施設が不足していることを指摘しています。さらに具体的な施設名称や設置場所も挙げていることから、日々の生活でよく感じられているものであるとうかがえます。

三つ目は、住環境と地域のつながりの向上です。衛生環境や防犯環境の強化を地域ぐるみで進めるとともに、挨拶やお祭り、ボランティア等を通して「顔の見える関係づくり」が必要であるとの意見が挙げられました。

四つ目は、まちの情報発信です。他の人に聞かれたら羨ましがられるまちに住みたいとの声がありました。歴史を通じた観光のまちや誰もが住みやすいまち、賑わいのあるまちなど、より誇れるまちに住みたいという要望が見受けられました。

【意見概要】

【グループA】

ボランティア	
住みたいまち	自分たちに何ができるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつがいっぱい</li> <li>・笑顔やあいさつがあふれる街</li> <li>・みんなが笑顔</li> <li>・地域で協力できる街</li> <li>・子育てがしやすいまち</li> <li>・みんなが住みやすいまち</li> <li>・老後の生活を安心してすごせるまち</li> <li>・高齢者も若い人もこの町に住みたいと思えるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動をする</li> <li>・自分からあいさつをしてあいさつを広める</li> <li>・車いす体験などを行い、いつでも手助けができる環境にしていく</li> <li>・ボランティア活動に進んで参加する</li> <li>・地域の人が困っていたら助け合えるようにする</li> </ul>

まちづくり			
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか	自分たちに何ができるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人に聞いたら「あー、」となるような町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場所</li> <li>・活気</li> <li>・人が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代から30代の人達が働きたいと思えるような職場を作る</li> <li>・垂井祭りに参加している若い人が少ないから活気がない</li> <li>・観光客などを増やす・イベントを多くして若者を呼ぶ</li> <li>・12月31日から1月1日あたりまで南宮大社がにぎわうので、その日にイベントをたくさん催す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターなどを作成しPRする。</li> <li>・SNSでPRする</li> <li>・自作PR動画を作成する</li> <li>・友達などに呼びかけたりする</li> <li>・PRイベントをする</li> <li>・高校生でイベントを企画して開催する</li> </ul>



ショッピング		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングセンター等お店がたくさんある街</li> <li>・遊ぶ場所がたくさんある町</li> <li>・垂井町にはショッピングモールがないので大垣などへ行かないといけない</li> <li>・便利な町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お店が少ない</li> <li>・公園が少ない</li> <li>・垂井駅周辺以外の施設が少ない</li> <li>・ショッピングモールみたいなお店がほしい</li> <li>・ショッピングセンターなどのお店</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しめるような場所を増やす</li> <li>・遊べるようなお店（ショッピングセンター）を増やしてほしい</li> <li>・大きい施設を作る（アミューズメントパークなど）</li> <li>・お店を増やす</li> </ul>

■ 5 高校生ワークショップにおける主要意見

環境			
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか	自分たちに何ができるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を大切にし、活気のある町</li> <li>・自然がいっぱい</li> <li>・ごみが落ちていない、ごみが少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイ捨てが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみを捨てる場所を増やす</li> <li>・ごみ捨て禁止の看板を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別をする</li> <li>・ごみをみつけたらすすんで拾う</li> <li>・ごみ拾いをゲーム形式で行うイベントを企画</li> <li>・ごみ拾いのボランティアをする</li> </ul>

道路		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすい環境が整っている町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が少ない</li> <li>・道路が狭い</li> <li>・歩道が狭い</li> <li>・道路がでこぼこ</li> <li>・坂道と段差が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯を増やしてほしい</li> <li>・道路の整備</li> <li>・道路の拡張</li> <li>・車が来たら危ないので道を広くする</li> <li>・自転車が2台すれ違えるよう道幅を広げてほしい</li> </ul>

交通手段	
垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまちに」近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの運行数が少ない</li> <li>・電車の本数が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの本数を増やす</li> <li>・電車等の交通機関を増やしてほしい</li> <li>・10分に1本は欲しい</li> </ul>

【グループB】

PR		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方がまた来たいと思える町</li> <li>・誰でも気軽に足を運べる町</li> <li>・高齢者が住みやすい町</li> <li>・垂井町は大垣市と近いので、そこを利用しホテルなど宿泊施設を作ると良い</li> <li>・大勢の人でにぎわう町</li> <li>・段差のない、少ない道と建物</li> <li>・人がたくさん集まりそうな所に郷土資料館を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史マニアがたくさん来ると活気づく</li> <li>・町のにぎわい</li> <li>・駅のにぎわい</li> <li>・垂井町のPR手段</li> <li>・垂井駅に売店や店を作る</li> <li>・みんなが知っている名物</li> <li>・ゆるキャラを使う</li> <li>・地元の子供達などに協力してもらおう</li> <li>・垂井町民だけではなく多くの方が来たいと思えるイベント</li> <li>・不要な建物を撤去して新しい建物を作る</li> <li>・その町にしかない昔の風景を利用して旅館を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合戦があった所を前面に押し出す</li> <li>・服、靴などのセール</li> <li>・民宿などから始め、そこからどんどんホテルなど大型宿泊施設を作っていくしてほしい</li> <li>・売店の他にも駅内に本屋など作ったらにぎわうのでは</li> <li>・垂井の歴史にちなんで名物などを作れば、みんなわかりやすい</li> <li>・周辺の学校に呼びかけ、垂井町の良い所をアンケートする</li> <li>・駅にイベント等のポスターを貼る</li> </ul>

環境		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミが落ちていない町、ゴミのないきれいな町</li> <li>・自然が豊かできれいな町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生だけでなく、小中学生も参加してもらおう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した学生にはクーポンのようなものを配る</li> <li>・道路だけではなく、川も清掃する</li> </ul>

■ 5 高校生ワークショップにおける主要意見

地域	
住みたいまち	垂井町に足りないところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪のない安心安全な町</li> <li>・ 祭りなどで盛りあがることのできる町</li> <li>・ 何に対しても諦めず入れる</li> <li>・ 地区にとらわれず、町として色々な人が協力できる町</li> <li>・ いつでもあいさつが当たり前に見える姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に色々な人がいつも協力できる</li> <li>・ すれ違ったらお互いにあいさつができるようにする</li> <li>・ 祭りなど盛りあがる場があるのに、参加する人が少ないので盛りあがっていない</li> <li>・ 何かをつくる時、途中で諦めずにしてほしい</li> </ul>

娯楽・ショッピング・ゲームセンター		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲームセンターや遊び場を増やす</li> <li>・ 駅の近くに大型ショッピングセンターがある</li> <li>・ 大型ショッピングモールを作してほしい</li> <li>・ 駅周辺には「トミダヤ」やケーキ屋などがあるのでそのお店も十分に使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲームセンターや宝島がない</li> <li>・ ゲームセンターが少ない</li> <li>・ 21号付近にしか店が広がっていない、その付近にしか人が集まらない</li> <li>・ 「昔ながら」を前面に出してほしい</li> <li>・ 電車をおりてすぐ行ける</li> <li>・ 娯楽関係を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅の近くにコンビニを増やしてほしい</li> <li>・ テーマパークを作してほしい</li> <li>・ ヨシツヤの跡地などにゲームセンター等を作る</li> <li>・ 街並みをいかした店や告知を多くする</li> </ul>

交通手段		
<b>●道路</b>		
住みたいまち	垂井町足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故が少ない町</li> <li>・カーブミラーや信号を増やす</li> <li>・でこぼこを直すなど、道路をきれいにして安全な交通の町</li> <li>・交通手段が便利な町</li> <li>・高齢者が歩きやすい道</li> <li>・坂がゆるい道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミラーがあってもほとんどが見えていない為、見ない</li> <li>・道幅が狭かったり、でこぼこがあるところが極端・夜間の対向車線の車のハイライトが見えにくい</li> <li>・曲がり角から出てくる車が危ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が狭い、広げてほしい</li> <li>・街灯をもっと増やしてほしい</li> <li>・対向車線を走っている車や人が近づいてきたら、ライトを切り替える</li> <li>・ちゃんと確認するよう周知したり看板をたてたりする</li> <li>・見える位置にたててほしい</li> </ul>
<b>●バス・電車</b>		
住みたいまち	垂井町に足りないところ	何をすれば「住みたいまち」に近づけるか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスをもっと上手く利用できるように、運行時間や本数を多くする</li> <li>・コミュニティーバスなども取り入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの通りが少ない</li> <li>・通学バス（朝だけでも）がない</li> <li>・誰でも気軽に使えない交通機関は不便</li> <li>・バス停を増やす</li> <li>・30分に1本バスが来るようにするといいい</li> <li>・電車の本数を多くする</li> <li>・交通機関を便利にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時間に最低2、3本欲しい</li> <li>・シャトルバス</li> <li>・バス停・駅の周辺にコンビニやお店をつくる</li> <li>・電車の本数をもっと増やす</li> <li>・バスの本数を増やす</li> </ul>

【実施風景】



## 6 住民ワークショップにおける主要意見

今後のまちづくりは、住民とともに考えることが必要不可欠です。アンケートだけでは分からない質的な課題や町政へのアイデア、住民・行政がそれぞれどのような役割を担うことができるのかを把握するため、「垂井町の将来を考える住民ワークショップ」を実施しました。

以下にその結果を記載します。

### 【第1回 実施概要】

(第1回)

日時：平成29年1月21日（土）

場所：文化会館 小ホール

(次第)

- 1 あいさつ・説明
- 2 垂井町の現状や課題を考える
- 3 垂井町の魅力的な地域資源を洗い出す
- 4 全体発表

### 【主要意見】

現状の課題として、大きく分けて4つの指摘がありました。

一つ目は、人口減少、少子化、高齢化等の問題です。単なる減少だけではなく、それに係る子育て支援の整備やひとり暮らし高齢者の支援が必要とされています。

二つ目は、空き家対策の検討です。若者世代の流出等により空き家が増加しています。空き家の管理、更には人を呼び込むためのまちづくりが必要とされています。

三つ目は、交通手段の問題です。公共交通に不便を感じている人が多く見受けられ、改善を求める要望があがっています。

四つ目は、防犯対策です。夜道が暗い、街灯が少ない等の意見があがりました。

魅力的な地域資源の洗い出しとしては、祭りや行事の維持、町にある数々の歴史的文化財等伝統文化、ホテルが生息できる環境や里山など、それぞれ伝統が引き継がれ、自然も残っているため、それらを活かした観光PRをしてはどうかという要望が見受けられました。

**【第2回 実施概要】**

(第2回)

日時：平成29年2月26日（日）

場所：文化会館 小ホール

(次第)

- 1 あいさつ・説明
- 2 目指すべき将来の姿を考える
- 3 将来の姿を実現するための取組みを整理する
- 4 全体発表

**【主要意見】**

目指すべき将来の姿として、大きく分けて3つの指摘がありました。

一つ目は、子育てしやすい町、子育て支援等の問題です。医療費等の補助や公園や施設的环境等の整備が必要とされています。

二つ目は、空き家対策の検討です。若者世代の流出等により空き家が増加しています。空き家の管理、更には人を呼び込むための対策が必要とされています。

三つ目は、地域資源活用の検討です。町にはたくさんの観光スポットがあるにも関わらず、活かされていないのが現状などの意見があがりました。

将来の姿を実現するための取組みは、子育てしやすい環境を整えるための対策や、空き家を利活用し人を呼び込むための方策、魅力的な地域資源の活用、PR方法の検討などの意見があがりました。



【第3回 実施概要】

(第3回)

日時：平成29年6月24日（日）

場所：文化会館 小ホール

(次第)

- 1 あいさつ・説明
- 2 取組みの役割分担を考える
- 3 全体発表

【主要意見】

垂井町の将来に向けてこれから行うべき取組みの中で、自分たちが実践できることとして、大きく分けて4つの意見がありました。

一つ目は、地域行事への参加、あいさつ等の交流です。祭りやスポーツ教室、ボランティアなど、地域で開催される様々なイベントへの参加や、あいさつ・声かけ・見守りによって、地域住民の交流を深めることができます。

二つ目は、SNSによる情報の発信です。人口減少が問題となっている中で、ツイッターやInstagram、ホームページなどで垂井町をPRし、垂井町に足を運んでもらうことが対策の第一歩となります。

三つ目は、空家対策です。現状では空家の情報が分かりづらいため、データベース化して管理すべきだという意見があがっています。情報を知ることで、空家の活用方法を考えることもでき、また、防犯対策にもつながります。

四つ目は、行政の施策に対する意見表明です。議会の傍聴への参加、選挙での投票、町役場の意見箱の利用など、施策に対してどう思うかを伝えることが重要です。

【意見概要】

(第1回)

【グループA】

現状の問題・課題			
少子化	地域活動	行動力	産物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団員が少ない</li> <li>・子供の数が少ない</li> <li>・子供の数が地域によりかたよっている</li> <li>・出産時にはお祝い金など手厚い保護をする</li> <li>・少子化対策が明確化されていないように思える</li> <li>・若者の地域離れ(人口減少)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア参加者が少ない</li> <li>・子供見守りボランティアが少ない</li> <li>・近所との交流減少</li> <li>・地域間や各種団体のつながりに分断化の傾向が表れている</li> <li>・ゴミのポイ捨て</li> <li>・公民館やまちづくりセンターの利用法(若い人が集まらない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致を積極的かつスピード感をもってやること</li> <li>・観光資源を積極的に活用する(ポスターだけでなく、専任呼びこみ隊を作る)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅まわりの観光スポットがない</li> <li>・観光スポットが知られていない</li> <li>・土産物売り場がない(南宮大社周辺等)</li> <li>・隣の関ヶ原ともっとタイアップして活性化する</li> </ul>
家	土地	木	町バス
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家増</li> <li>・空き家対策で居住人口を増やす</li> <li>・独居</li> <li>・家を建てる場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使い道のない土地</li> <li>・道路の狭さ</li> <li>・夜道が暗い(町はずれ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木の管理(道路・公園など)</li> <li>・間伐材利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町バスの利用</li> <li>・駅までの公共交通がもっと良くなったらしいな</li> </ul>

魅力的な地域資源			
南宮山	垂井体験	祭り・伝統	立地の良さ活用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南宮大社</li> <li>・南宮山ハイキングコース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グルマン</li> <li>・農業体験</li> <li>・古民家暮らし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統をしっかりと引き継いでいっている（岩手だとしのぶえ）</li> <li>・祭りの（伝統芸能）発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便（JR、国道）</li> <li>・JR垂井駅ビルの建設</li> <li>・複合ビル等（住居、サービス業 発展）</li> <li>・インターが近い</li> <li>・他県の往来</li> <li>・公園など子供が遊べる場所</li> </ul>
自治会活動	観光客の呼びこみ		意識
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の総会などへの参加が多い</li> <li>・高齢者が元気で自治会活動をしている</li> <li>・見守りパトロール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相川の景観（桜並木・鯉のぼり）</li> <li>・伝統まつり（垂井まつり、表佐たいこ）</li> <li>・相川鯉のぼり</li> <li>・高い建物が少ないから景色が良い</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうにかしたい、してほしいという意識は皆さんある</li> </ul>

【グループB】

現状の課題			
交通	空き家	高齢者	子ども
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内の交通の便</li> <li>・ 公共交通機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少に伴う空き家の活用（リフォーム等）</li> <li>・ 空き家が多くなっている（身内は遠くに居住している）</li> <li>・ 魅力ある町づくり（シャッター面）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居対策を地区内、町内でしてほしい</li> <li>・ 安心して年を重ねられる町づくり</li> <li>・ 保険証（1人1枚）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園までが遠い</li> <li>・ 小学校での行事の際、駐車場が少ない</li> <li>・ 小・中学生の学校英語教育</li> <li>・ 中学校までの給食費の無料化（人口を増やす）</li> <li>・ 子供の通学路に危険な所もある</li> </ul>
町づくり	お金	現庁舎活用	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退職された方を町づくりに参加してもらう</li> <li>・ 地区によって公共施設の充実に差がある（公園・図書館等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何か行動するのにお金が必要になる（現状は金がないからできない）</li> <li>・ ふるさと納税の活用（お金を集める）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現庁舎の活用方法は？</li> <li>・ 役所移転に伴う活用（観光物店舗にしたら）</li> </ul>	
要望			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 五次総の評価を公表してほしい</li> <li>・ 各地区毎にといわれ、オール垂井という意識が低い</li> <li>・ フォローアップ計画について観光案内所訪問者数、公園緑地の満足度目標値を決めたい</li> <li>・ 評価委員会のスケジュール             <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年 11 月 30 日の委員会</li> <li>平成 29 年 3 月下旬には国へ評価シートを提出</li> <li>事後評価シートを 1 年間公表する</li> <li>フォローアップ結果の公表</li> <li>平成 29 年 6 月下旬</li> </ul> </li> </ul>			

魅力的な地域・資源(住民が楽しいと思えるまちづくり)		
祭り	みどころ	観光
<ul style="list-style-type: none"> <li>・表佐のたいこのアピール (ポスターだけでなく、いつも展示したら)</li> <li>・駅に垂井の紹介(祭り等)の大きな看板を立てたらどうか</li> <li>・垂井ピア祭り、各地区の祭り</li> <li>・お祭りを他地域に広げる</li> <li>・松阪おどりの復活</li> <li>・中山道まつりのフォロー 商工会や垂井町ひきやま祭り まちづくり協議会・地区連合自治会の協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相川の鯉のぼり 350匹</li> <li>・相川桜周辺(食事、coffeeがあれば良い)自然環境が大変良い</li> <li>・南宮大社とその周辺(ハイキング・サイクリング・歴史表示)</li> <li>・大滝と養老の滝とのタイアップ</li> <li>・トイレがあるとOK!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光大使をつくる(知名度UP)</li> <li>・中学生、高校生の観光ガイドボランティア</li> <li>・菩提山城の看板の設置(大きいものを)</li> <li>・歴史資料の活用(各地区町道に個人及び地区の名前をつける)</li> <li>・道路に街道名をつけよう</li> </ul>

【グループC】

現状の課題		
福祉	子育て支援	他地区との交流
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方で困っています（75歳の方）お嫁さんに自分の持ち物を全部隠したと言って家の鍵を全部かけて家に入れなくなった</li> <li>・高齢者福祉については関係する機関の間での連携が不十分である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郡の陸上記録会（全員参加のもの）が無くなるなど、行事が減ってしまった。</li> <li>・学校と地域との交流（土曜授業）はあるがなかなか話がととのわない。連絡・連携が取りにくい。</li> <li>・道路の整備（子供達のための通学用歩道）</li> <li>・「子育て支援」と言うが、子供を連れて行ける身近な公園が少ない</li> <li>・高校生や大学生になると垂井では遊ばない。地域とも関わることがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のふれあい（お年寄り、子供）</li> <li>・他地区との交流が少ない</li> <li>・7地区の特色のみが表れていて町全体としての一体感が不足している</li> </ul>
街中がさみしい	関係機関への連携	PR不足
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなスーパーが出来た為か町がさみしくなった様に思います</li> <li>・空き家が増えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRと関連したバス運行</li> <li>・第5次総合計画により発足した「まちづくり協議会」が十分に機能していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂井はロケーションがいいところがたくさんあるのに、アピールができていないように感じる</li> <li>・相川堤防からの伊吹山</li> </ul>

魅力的な地域資源		
歴史	祭り	自然
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史 竹中半兵衛</li> <li>・南宮神社の高山さんのハイキングの件</li> <li>・親谷古墳をはじめとする古墳群（歴史、文化財）</li> <li>・宮代藤村の文化財</li> <li>・美濃国府跡地（歴史、文化財）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表佐太鼓踊り</li> <li>・南宮神社のみこし</li> <li>・大石 花火</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタルの里、モリアオガエルの里（自然環境）</li> <li>・歩く 菩提山</li> <li>・表佐ハリヨの池のホタル</li> <li>・湯つぼのきれいな水</li> <li>・不破の大滝（自然・環境）</li> <li>・明神湖からの濃尾平野の眺め</li> </ul>
人	人口増加	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・表佐の子ども教室</li> <li>・各地区にまちづくり協議会があること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口増加対策 住民</li> <li>・人口減少に町内の地区別にかたまりがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相川河川敷の整備</li> <li>・朝倉運動場の活用</li> </ul>

【グループD】

現状の問題・課題			
人口問題	環境関係	山林の整備	空き家対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働力の不足・企業の進出があまりない</li> <li>・町中央の過疎化、高齢化</li> <li>・人口の減少、自治会差が出る</li> <li>・人口問題に対する意識（少子高齢化）</li> <li>・人口に対して地域の役が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に対する考え方がない？（環境教育の充実）</li> <li>・不法投棄</li> <li>・エコドーム、クリーンセンター</li> <li>・農作物への獣害（アライグマ、ハクビシン、ヌートリア）</li> <li>・相川、どろ川等町の河川</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の木育</li> <li>・農業林業体験（場所はある）</li> <li>・山林の廃墟</li> <li>・山林の整備（観光も考えたい）</li> <li>・山林に遊びと仕事のスペースをつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空地や空き家の有効利用</li> <li>・空き家の増加 対策の遅れ</li> <li>・空き家対策 すぐれそう</li> </ul>
防犯・防災	子どもの遊び場	交通手段	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公道（町・県・国）の整備（道路状況の整備）</li> <li>・災害対策 相川の竹やぶが堤防まで広がっている</li> <li>・避難所の不足</li> <li>・街灯が少なくなった</li> <li>・新しくできる道路に街灯がない</li> <li>・子供の安全（駅までの通学）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働き世代の子供のフォロー（定時まで働ける）</li> <li>・子供の遊び場の減少（禁止が増えている）山州池</li> <li>・子供達が安心して遊べる場所</li> <li>・各地区避難所及び子供の遊び場になるような集会所の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅までの足（高校生・通勤）</li> <li>・高齢者の交通手段（買い物・病院）</li> <li>・高齢者（90歳以上）のサポート（外で見かけない方が増えている）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の流れ ①住民 ②労働者 ③観光者</li> <li>・町全体の閉塞感</li> <li>・庁舎の移転に合わせた計画</li> <li>・行政サポート情報の周知不足・まち協の連携がとれていない</li> <li>・趣味や教養を高める場を増やす</li> </ul>



魅力的な地域資源	
観光	名所・文化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂井町の知名度が低い</li> <li>・観光に来られた方の買い物、食事の場</li> <li>・観光客の受け入れ（トイレ・食事・案内）</li> <li>・観光の場所等あるが、生かされていない</li> <li>・特産品を生み出す</li> <li>・観光資源の見直し</li> <li>・映画等の口ケ地へのPR（神社、山、相川など）</li> <li>・地域ごとの祭りを垂井の祭りとしてPRする</li> <li>・林道、池田、明神線（自転車）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海自然歩道（ハイキング）</li> <li>・一里塚</li> <li>・半兵衛の里</li> <li>・国府の里 府中地区内にある</li> <li>・南宮大社等の神社・仏閣</li> <li>・神社・寺の連携</li> <li>・宿泊施設の誘致</li> <li>・連理のサカキ（県天然記念物）</li> <li>・不破の滝 道路が悪い（整備）</li> <li>・滝の整備 道 P 宿泊</li> <li>・大石花火</li> <li>・伊吹神楽</li> <li>・細雪 ホタル狩り等もっと外へPRする</li> <li>・竹中氏 城跡（景色） やぐら門</li> <li>・道の駅など特産品の販売ができる場所 大人数の食事の場所</li> <li>・栗原おどり</li> </ul>

【グループE】

現状の問題・課題			
<b>●子育て支援</b>			
子育てしたいけど	働きたいけど	地域で遊べない	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が三人いてもあまり支援がない</li> <li>・学校の先生の子供に対する指導の方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場所、会社が少ない</li> <li>・産業の優位がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社、寺の敷地はあるが、公園が少ない</li> <li>・公園（遊具施設）が少ない</li> <li>・使えない遊具がある</li> <li>・外で子供が遊ばない</li> <li>・河川敷の東地区側の遊び場</li> </ul>	
<b>●防犯・防災</b>			
道路が暗くて狭い	防犯	防災	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の舗装（町道外）</li> <li>・道路が狭い</li> <li>・街灯がないから夜が危ない</li> <li>・夜の明るさ、暗い</li> <li>・夜道が暗い</li> <li>・夜、照明のない所があるので危険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯対策（家の周りの小物が無くなる、農作物の被害）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所まで遠い</li> <li>・防災の制度の継続性が薄い</li> </ul>	
<b>●その他</b>			
独居老人	空き家問題	PRが弱い	交通手段
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人暮らしのお年寄りの家が多くなった</li> <li>・独居老人、空き家が増加している</li> <li>・独居老人の見守り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の若い世帯が少ない</li> <li>・空き家が多くなった</li> <li>・空き家の管理</li> <li>・住居に偏重がある（まばらに家が建ち、バランスが悪い）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂井に観光に来ても宿泊するところがない</li> <li>・関ヶ原と比較して知名度が低い</li> <li>・町としての特異性に乏しい</li> <li>・伝統芸能（太鼓）の後継者不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内のバスがあるが、利用者が少ない、ムダ</li> <li>・夜、駅からの足に困る（タクシーがない、少ない）</li> </ul>

魅力的な地域資源		
歴史・文化	グルメ	子育て
<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹中半兵衛公（軍師）</li> <li>・南宮大社</li> <li>・菩提山</li> <li>・大滝に滝がある</li> <li>・平塚為広</li> <li>・観光資源（干句の里 など）</li> <li>・国府跡がある</li> <li>・太鼓踊り</li> <li>・九十九坊</li> <li>・垂井町内によさこいチームが3チームあり、イベントなどでも盛り上げている</li> <li>・こいのぼり</li> <li>・河川敷の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グルマン（パン屋）</li> <li>・お店が増えてグルマンが人気</li> <li>・つちや（和菓子）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂井ピアセンター〈場所〉</li> <li>・見守りパトロール隊〈人〉</li> </ul>

【グループF】

現状の問題・課題			
町政	少子高齢化	産業（商業・観光）	防災・防犯
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場との意思疎通</li> <li>・垂井町の方針が明確に伝わってこない</li> <li>・税金の使い道</li> <li>・町職員に覇気がない</li> <li>・ふるさと納税への対応が貧困</li> <li>・町民に改革意識が薄い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化</li> <li>・少子化</li> <li>・若い人が垂井町から出て行く</li> <li>・子供を増やす施策がお題目だけ（真剣味がない）</li> <li>・子供達と地域の方達のふれあい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の発展</li> <li>・高齢者が地元で買い物をする場所がない</li> <li>・宿泊施設がない</li> <li>・農業従事者が高齢者ばかり</li> <li>・農業は米作（稲作）中心 野菜作りを進める指導がない</li> <li>・工場誘致を行っているが、今更製造業でもないのでは</li> <li>・敷地も狭い</li> <li>・林業は壊滅状況なのに補助金が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災意識の低さ</li> <li>・災害時の対応（垂井町全体）</li> <li>・夜間のパトロール</li> </ul>
町民の心	町の中心	まち協	交通
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神の薄さ</li> <li>・歴史的価値のある物の大切さの心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の中心地がないと思う</li> <li>・垂井町のまとまりが低下、不明（？）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会はその目的をはたしているのか</li> <li>・公民館をなくすことは理解しがたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の不便</li> <li>・道路の整備（特に通学路など）</li> <li>・障害者の方への配慮（垂井駅）</li> </ul>

魅力的な地域資源	
歴史・名所	土地・自然
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竹中半兵衛関連の史跡等</li> <li>・ 外に誇れる歴史財産がある</li> <li>・ 垂井の祭り（山車、たいこ）</li> <li>・ 垂井の曳山</li> <li>・ 表佐太鼓</li> <li>・ 谷崎潤一郎の「細雪」の舞台（表佐）</li> <li>・ 南宮大社</li> <li>・ 曳山</li> <li>・ 美濃国府</li> <li>・ 南宮山</li> <li>・ 相川のこいのぼり（観光客の思い出的なもの）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝倉温泉を使って（商品化）</li> <li>・ 朝倉公園グラウンド（スポーツ活性）</li> <li>・ 多くの工場（製造業の出荷路）</li> <li>・ 青年つどい協の冬のイルミネーション</li> <li>・ 車で旅行等便利なところ（東西南北どこへ行くにも）</li> <li>・ J R東海道、国道21号が両方そろっている</li> <li>・ 垂井の地理的な二面性 濃尾平野の北西の場、京都の外（京都文化の外）</li> <li>・ 里山になりえる自然</li> <li>・ 岩手川のホタル</li> <li>・ 相川を町の中心にする</li> </ul>

【グループG】

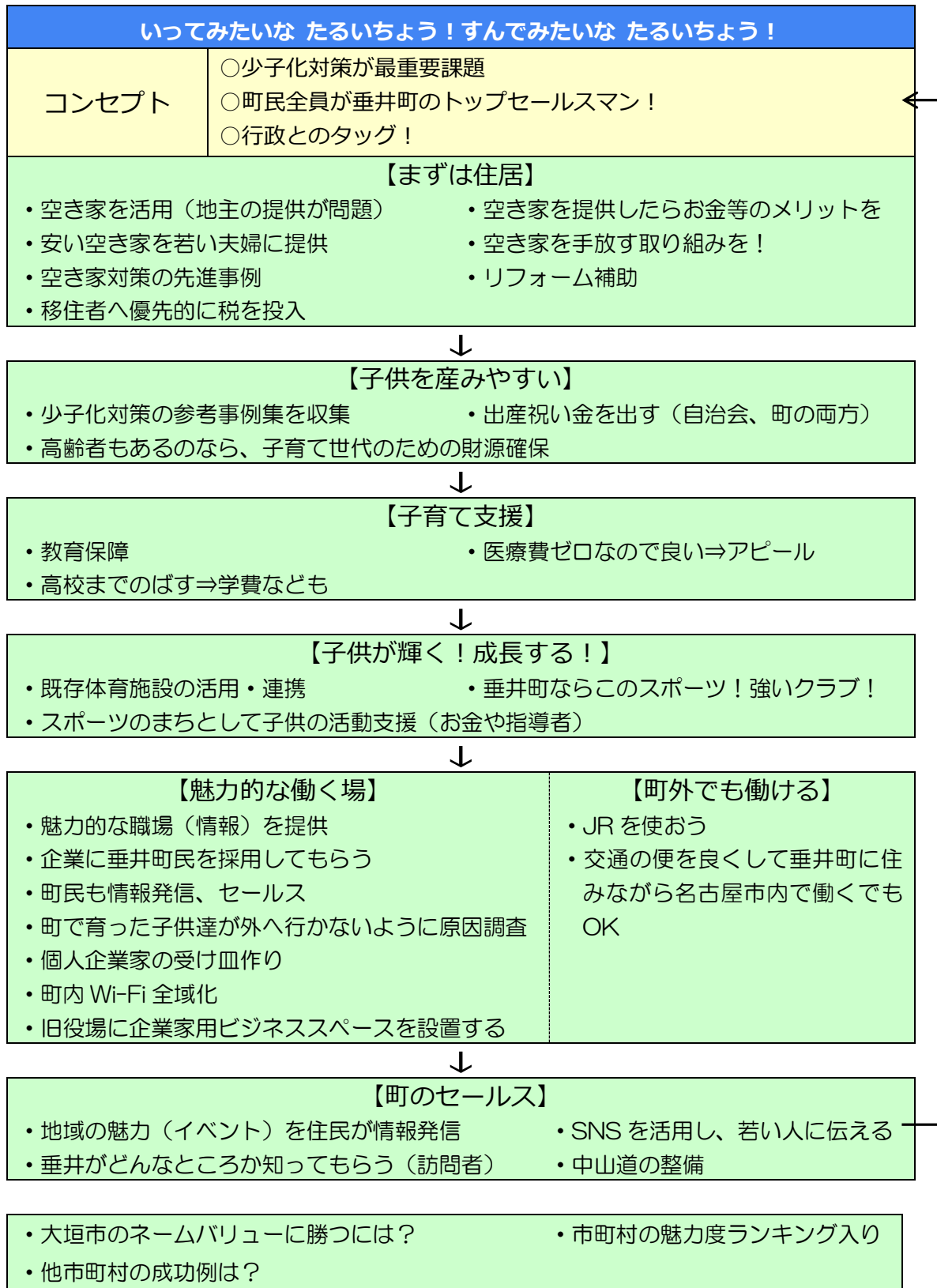
現状の問題・課題		
食	自然	人口
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食店が少ない</li> <li>・ 町内のお店の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然とふれあうことが少なくなった</li> <li>・ 特に子供たちの体力、仲間意識が弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の遊び場の確保</li> <li>・ 若者の流出防止</li> </ul>
交通		生活
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者への交通手段が悪い 巡回バスルートของ考え・方法が足の確保につながらない</li> <li>・ 道路の、車道と歩道の分離帯の横があまりにもひどい（ゴミ、草、など）</li> <li>・ 交通機関が少ない</li> <li>・ 除雪が不十分</li> <li>・ 養老一垂井線の改修</li> <li>・ 垂井町の幹線道路で片側二車線の道路が無い</li> <li>・ 国道 21 号線の四車線化の実施 人・物流にも重要</li> <li>・ 国道 21 号の拡大</li> <li>・ 道路の補修具合が他市町村より遅れている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口、世帯の減少 地域差が拡大している</li> <li>・ 高齢者の増加 高齢者の地域活動へのボランティア活動が少ない</li> <li>・ コミュニケーションの希薄化 連帯意識が薄く、個人主体の行動がみられる</li> <li>・ 空き家が増え続けている</li> <li>・ 若者の流出による高齢世帯、一人家庭世帯の増加</li> <li>・ 放射線災害の対策計画はどうなっているのか</li> <li>・ 夜が暗い</li> <li>・ 公園が少ない</li> <li>・ 体育館の管理が悪い</li> <li>・ 夜道の明かり 安全</li> </ul>
保険・医療		役所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドックの多面化（医療費がかさむ）</li> <li>・ 全般のゴミに対する減少を考える 現状を町民全員に伝え、いかにゴミの減少を図るのか考える</li> <li>・ 高齢者の保健施設の拡充</li> <li>・ 高齢者に対する対応 医療費、介護等に対する 町役場考え方（将来）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町職員の能力が不足している（たらいまわしなど）</li> <li>・ 町職員の働き具合が見えない（町民へのおしつけが多い）</li> <li>・ 第 4 次、第 5 次総合計画の達成度の公表はどうなっているのか。</li> <li>・ 役場の駐車場が狭い</li> <li>・ ボランティアに頼るのが多すぎる</li> </ul>

魅力的な地域資源		
伝統	観光	自然
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山道宿場町 小林宅 長浜屋</li> <li>・東西への交通要所である</li> <li>・歴史文化がすぐれている</li> <li>・国府、他すぐれたものを生かす 伝統芸能も多い</li> <li>・垂井祭 垂井の曳山</li> <li>・垂井出身の偉人の生かせる町</li> <li>・伝統芸能の継承</li> <li>・地域運動会、文化祭がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅の計画（特産物のPR）</li> <li>・養老の滝と関ヶ原の中間に位置する</li> <li>・ホテル・旅館を増やし垂井町の名物 観光客を増やす</li> <li>・養老のスマートインターへのアクセスが良い（今は未だ）</li> <li>・観光マップ作りを行う</li> <li>・他の市町村から見た場合、垂井町は色々なサービスが遅れている。</li> <li>・観光は大垣、関ヶ原とタイアップして全国に発信してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相川流域の整備（下流部の堤防部分の整備）</li> <li>・山（里山）に近い</li> <li>・自然豊かである</li> <li>・健康の為に散策道等を生かせればすぐれた地域になる</li> <li>・人口の割にスーパーが多い（車なら大垣市、養老町もすぐ）</li> <li>・静か</li> <li>・岩手川 ホテル</li> <li>・自然動物</li> <li>・相川の桜</li> </ul>
人口		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちがすれていない</li> <li>・地元好き</li> <li>・高齢者が元気</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソンコースの拡充（参加者の全国的募集）</li> <li>・カルガリーからの研修生の受け入れ</li> </ul>

(第2回)

【グループA】

○実現させるための取組み





【グループB】

毎日が幸せだと感じられる町づくり 誇りを持てる町づくり 知人・友達に話したくなるような町	
○観光の町垂井	
【歴史と観光の町】	
目指すべき 将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南宮大社の近くにコーヒー等を飲む所を設置する（お土産が買える）</li> <li>・外部からお金の落ちる町づくり</li> <li>・まちづくり協議会（7か所）の活発化（町の予算）</li> <li>・声をかけあえるまちづくり</li> </ul>
実現させる ための取組 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂井駅前、南宮大社前に資料館・お土産屋が欲しい</li> <li>・名産品（お土産）の開発</li> <li>・他地区から来て、宿泊・食事・喫茶ができる場所を</li> <li>・宿泊施設の建設</li> <li>・南宮大社の北側の空地の有効活用</li> <li>・各地区に観光マップで表示、地域の宝を認識（地域住民のため、観光客のため）</li> <li>・中山道まつり（商工会・地区連合自治会の協力によって垂井地区の商店の活性化を図る。町の祭典・ひきやま行事についても庁舎跡地の活用を図りたい。）</li> <li>・観光ボランティアの養成</li> <li>・観光大使をつくる（HPで公開、HPの充実）</li> <li>・各地区のまちづくりセンターを充実した内容にする</li> <li>・山村留学（農業体験ができる所を）</li> </ul>

○子供から大人まで話したくなる住みよいまち	
【子育てしたくなる町】	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供から大人まで住みやすいまち</li> <li>・保育料をもっと安く2人目から保育園無料に</li> <li>・合計特殊出生率をあげる方策</li> <li>・世代が違って交流のできる町</li> <li>・現庁舎の活用方法（地区の中心部と連携して活用を考える。公園の整備を考える。子供と一緒に利用できる公園の整備。子供用の図書館を作ったらどうか。）</li> <li>・企業内に保育所を設置する（女性が働きやすい）</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で子育てできる場所を</li> <li>・小・中・高生の活躍の場をつくる（観光ガイド、ほたる、世代を超えた交流）</li> <li>・女性の働く場所の確保（企業を増やす）</li> <li>・人口を増やす為に中学校までの給食費無料</li> <li>・空き家を改修して外部から人を呼ぶ（安価で貸す、期限をつける）</li> <li>・空き家を活用して（町で借用して）地域での交流（高齢者・独居者・子供）</li> </ul>
【老後もいきいき楽しくすごせる町】	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者対策（地区で自治会・福祉委員・民生委員で要支援者の支援はどのようにするか？）</li> <li>・町のバスは昼間のみなので、夜7時ごろまで運行があると良い</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対して社会福祉協議会との連携（安心して生活できるように）</li> <li>・車の乗合いミニタクシーの活用</li> <li>・自動車の運転免許を返納した人にはバス券（5年間無料）</li> </ul>

【グループC】

○子育てのしやすいまち	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・保育園等の廃品回収の量が少なくなったので困っている（民間サービスをみんなが使うようになった）</li> <li>・スポーツ少年団（活動）ができる場所がほしい</li> <li>・子育てをするのに困らない</li> <li>・小学校を守る</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校までの医療費無料化</li> <li>・コミュニティーバスに乗って不都合な事を提案する</li> <li>・長男の子供が保育園に行くようになる頃は実家に帰ってくるようにできるよになるといい</li> <li>・学生がタウンバスを利用できるようにする</li> </ul>
○地域資源のPR	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西濃地域が関ヶ原合戦の古戦場のPR（意識づくり）</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携（できているようでできていない）</li> </ul>
○自然が守られるまち	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が壊されない、今のまま残していきたい</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物との共存（悪さをする動物への優しい駆除）</li> <li>・犬の散歩のフンの後始末はもう少し守ってほしい</li> </ul>
○人のつながりがあるまち	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生の先輩が元気で過ごせる地域</li> <li>・集会所での交流から情報発信（ネットワークづくり）</li> <li>・年をとった時に（車に乗れない）病院や買い物に行きやすく</li> <li>・住民同士が気軽にふれあえる場所や機会があるといい</li> <li>・高齢化社会なのでみんなで話し合える場所があったら良い（各地区）</li> <li>・各地区の集会所をもっと活用してほしい</li> <li>・地区の公民館（センター）の行事には進んで参加する</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話す場所を作るとしてもみんなの声かけが必要である</li> <li>・地域で発信される情報を知る</li> </ul>
○住みたくなるまち	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代が移住してくるまち</li> <li>・誰でもどこにでも住めるまち（都市計画との関係で）</li> <li>・名古屋に便利に通勤できるベッドタウン</li> <li>・若者が町内で働きたいと思えるようなまち</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の移住優遇施策の見直し</li> <li>・都市計画の見直し</li> <li>・垂井駅始発の名古屋方面行ダイヤの増発</li> <li>・駅前駐車場の充実（住民無料駐車場）</li> <li>・企業誘致を促進する</li> </ul>

【グループD】

○住民にやさしいまち	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子育てできるまち</li> <li>・共働き</li> <li>・送迎</li> <li>・高齢者と子供の交流の場があるまち</li> <li>・高齢者と若い人と一緒に住めるまち</li> <li>・21号から北部地域にアクセスしやすいまち（トラック・バス）</li> <li>・道路の整備、大きな道路</li> <li>・各地への道路整備</li> <li>・買い物が便利なまち</li> <li>・免許のない高齢者が住みやすいまち</li> <li>・災害に強いまち</li> <li>・ウェルカムになる</li> <li>・みんなが住みたくなる</li> <li>・多様な働く場所があるまち</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRに合わせた巡回バス</li> <li>・高齢者と保育園児と一緒に遊べる場所</li> <li>・通所と放課後デイの併設施設の建設</li> <li>・交通網の整備</li> <li>・オンデマンドタクシーかバスを作る</li> </ul>
○観光で生きるまちに	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体との共存</li> <li>・観光で生きる町に活用できる</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設をつくり、他地域の中心として活用してもらう</li> <li>・関ヶ原観光の活用</li> <li>・池田温泉の活用</li> <li>・観光エリアに食事をする所</li> <li>・おみやげ売り場（アピール）</li> <li>・観光地までの案内看板を増やす</li> <li>・町内に観光案内看板（所要時間、距離付）</li> <li>・垂井駅に周辺町の観光情報（アクセス）明示</li> <li>・トイレMAPを作る</li> <li>・観光エリアにトイレ</li> <li>・観光協会への働きかけ</li> <li>・役場跡地の活用（ホテル）</li> </ul>

○誰にでも持てるまち	
目指すべき 将来の姿	[農業関係] ・大規模農業の盛んなまち ・日本の食糧自給率に貢献できるまち ・農地の有効活用
	・市街化調整区域の見直し ・土地を自由に活用できるまち ・町の空き家買い取り「コーディネーター」 ・空き家の利用、住居でなくお店など ・誰でも家を建てることのできる場所の整理 ・タイミング良く入居できる場所が欲しい
実現させる ための取組 み	[農業関係] ・耕作放棄地の活用 ・空き家や土地についてのコーディネーターを置く
○みんなで参加できる	
目指すべき 将来の姿	・スポーツのまちとして誰でも参加できる広報活動
実現させる ための取組 み	・地区のまち協同士の連携をとる。「町の補助金の目的を少しかえてもらう」 ・まちづくり協議会の広報の中に各地区で行っているスポーツチームや文化活動の紹介をする。

【グループE・F合同】

○高齢者が安心して住めるまち	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が安心して住める町</li> <li>・高齢者が元気にすごせる町</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回バスの土日運行</li> <li>・巡回バスの逆回り運行</li> <li>・高齢化に伴い、高齢者が各地域で気楽に集まれる場所を作ってほしい。</li> <li>・ふれあいカフェを公民館で</li> <li>・サロンより、日常化への集まりへ</li> <li>・地域住民による福祉ネットワークの拡充</li> </ul>
○防災・防犯	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、防犯がしっかりしている</li> <li>・安全な町</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会での防災訓練</li> <li>・車道と歩道を区別</li> <li>・照明をLEDにして明るくする</li> </ul>
○いつでもなんでも楽しめるまち	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の機会が多い町</li> <li>・誰もが軽スポーツを楽しめる町</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館の役割拡大</li> <li>・体協とレッツ統合</li> </ul>

	○産業	○子育て
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT関連企業などの現在若者が関心を持っている企業の誘致</li> <li>・ 農業における生産の効率化</li> <li>・ 産業、工業の発展</li> <li>・ 町内で働く場所がある町</li> <li>・ 米作り以外の農業の町</li> <li>・ 里山を活用した林業活性化を図る町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供がいきいき育つ町</li> <li>・ 子育てしやすい町</li> <li>・ 小学校無料化</li> <li>・ 子供の学力がある</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ITインフラの整備、光ケーブル網等</li> <li>・ 離山工業団地の早期実現</li> <li>・ 既存企業の発展を助成する。地元採用の拡大を計る。助成など。</li> <li>・ 野菜工場の誘致</li> <li>・ 有機農業の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生まで医療費無料化</li> <li>・ こども園の早期整備(送迎バスの配置)</li> <li>・ 町内に産婦人科病院を作る</li> <li>・ 小中学校の修学旅行無料化</li> <li>・ 小中学校の給食費無料化</li> </ul>
↓ ↓		
○人口増		
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口が増える町</li> <li>・ 空き家の無い町</li> </ul>	
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内へ移住してきた人へ優遇策を</li> <li>・ 若い人が生活しやすい環境、会社を誘致</li> <li>・ 地元で就職できるように雇用促進する</li> </ul>	

○観光	
<p>目指すべき 将来の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と祭りを中心とした観光の町</li> <li>・観光で多くの人がある</li> <li>・伝統文化を大切にしている町</li> <li>〔まちのシンボル〕</li> <li>・垂井町 21 世紀作戦（町のシンボル）、国道 21 号線沿いに 21 階建てのビルを作り、上階をマンションに、下階を町の庁舎にする。</li> <li>・垂井町内に 21 世紀広場を作り、町民のいこいの広場、お祭り広場にする。</li> <li>〔若者が外部から集う町〕</li> <li>〔温泉の町〕</li> <li>〔名古屋市・岐阜のベッドタウン〕</li> <li>〔グルメの町〕</li> </ul>
<p>実現させる ための取組 み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡めぐりウォーキング大会（2デーウォーク大会等）</li> <li>・観光案内人の養成</li> <li>・観光、文化財めぐりの巡回バスの運行</li> <li>・ホテル、旅館を増やす</li> <li>・ホテル、旅館の誘致</li> <li>・中山道（垂井地区）の整備</li> <li>・文化財の表示板の整備、設置</li> <li>〔まちのシンボル〕</li> <li>・駅付近にマンションを作る</li> <li>〔若者が集う町〕</li> <li>・スケートボード、ブレードスケートなど、Xゲームの拠点</li> <li>・若い人に住んでもらえるよう安く土地を提供する</li> <li>〔名古屋市・岐阜のベッドタウン〕</li> <li>・駅から JR の本数を増やす</li> <li>〔グルメの町〕</li> <li>・グルメの町を目指すため、店舗数と質を高める</li> <li>・ジビエ料理の普及、拡大</li> </ul>



【グループG】

○交通	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセスの良い町</li> <li>・国道 21 号線の整備（垂井町だけ 4 車線がない。非常時、対応できるように。）</li> <li>・養老⇄垂井線県道の整備</li> <li>・高齢になっても自由に動ける町</li> <li>・町バスの路線見直し</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関の見直し</li> <li>・国道 21 号線の 4 車線化の実現</li> <li>・養老 SA のスマートインターとのアクセス拡幅</li> <li>・R21 の拡幅</li> </ul>
○空き家	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家対策の推進（北部地域の人口減少と空き家の増）</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家登録の斡旋</li> <li>・移住計画と現地紹介</li> <li>・一日移住体験</li> <li>・安心な暮らし。空き家を利用したサロンの開催（異世代交流）</li> </ul>
○防災	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のコミュニティ場所の充実（独居高齢者などが集える場所）</li> <li>・万が一の災害に対処できる日頃の活動とリーダーの養成</li> <li>・安全な町</li> <li>・安心・安全の町（街灯の充実、道路補修をタイムリーに）</li> <li>・安心な暮らし日本一。子どもから高齢者まで支えるまち</li> <li>・災害に強い町</li> <li>・安心して住める町（防災対策が整っている。人と人とのつながりが密である。）</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が主体となる防災組織を各地区で立ち上げる</li> <li>・避難所運営体験</li> <li>・防災士の養成</li> <li>・養老⇄垂井線の整備の実現</li> </ul>
○自然	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かな町（現状のまま）</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の保護</li> <li>・自然散策道の整備（森林浴等の効果、体験の行事の設定、コース別に設定）</li> </ul>

■ 6 住民ワークショップにおける主要意見

○役場	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい役場、たよりやすい役場（開放的、やさしい対応、いつでも開かれている）</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場組織の改変（業務の棚卸→余剰人員→すぐやる課）</li> <li>・役場職員のレベルアップ（自己啓発、ピラミッド型→ナベブタ型）</li> <li>・巡回バス運行の見直し。逆回り、土日の運行</li> </ul>
○子育て	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の定住（若者対象のワークショップ、20代、30代等年代別、アンケートのみでなく意見交換のできるワークショップ）</li> <li>・若者が戻って生活しやすい町</li> <li>・子育て世帯の多い町</li> <li>・子供が元気な町</li> <li>・子育て支援、保育士補助人材、高齢者の活用</li> </ul>
実現させるための取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の定住（若者ワークショップを開催、高齢者と共にワークショップを開催、町の将来を共に考える）</li> <li>・保育園の先生の賃金アップ&amp;増員（退職者または資格がなくても保育園に勤められるように垂井町だけでも取り組む。）</li> <li>・子育て支援（保育士のワークショップ、資格者の集い、子育て親への協力体制の充実（高齢者の活用））</li> </ul>
○福祉	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活力があり、住みやすい町（高齢者がいきいきと生活、子供が楽しく遊べて学べる）</li> <li>・お年寄りと年少者が集える町</li> <li>・福祉の充実</li> <li>・福祉の町。子育て支援の充実</li> <li>・子供が遊べる広場</li> <li>・人と人とのつながりがある町</li> <li>・高齢者福祉の町（健康診断の充実、保健施設の充実）</li> <li>・林業補助金は国・県・町より多くのお金が補助されているが山が荒れているのはなぜか。</li> <li>・保育園等の先生方の人数不足（手当を増やす）。一人の先生につき何人まで保育に費やしているのか。将来のことを考え今から先生を増やす要望をします。</li> <li>・障がい者の職業訓練所を作る</li> </ul>
○まちづくり	
目指すべき将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しさであふれる町</li> <li>・活発な町</li> <li>・便利（生活）な町</li> <li>・町民の誰もが自然の中で散歩できる施策の推進</li> <li>・関ヶ原と一体化した町（不破郡でまとまる）</li> </ul>

○伝統	
目指すべき 将来の姿	・ 伝統ある町
○情報	
目指すべき 将来の姿	・ 日本中が名前（町名）を知っている町
○地域	
実現させる ための取組 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役場を定年退職した人に民生委員を一期ずつ勤めてほしい</li> <li>・ 地域の活性化をはかるため（ひもつきの補助はやめる、ボランティアを強制しない）</li> </ul>
○交流	
実現させる ための取組 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見の交流</li> <li>・ 情報の拡散</li> <li>・ 他市町村と連携した観光を進める</li> <li>・ 故郷教育を実施する（学校、地域が連絡を密にして）</li> </ul>
○協働	
実現させる ための取組 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域ごとの取組み</li> <li>・ 地区センターでのイベント創設</li> <li>・ 協働の意識を高めること（向こう三軒両隣から）</li> <li>・ 小、中、高校との協同活動</li> </ul>
実現させる ための取組 み	・ 考え方はポジティブに

■ 6 住民ワークショップにおける主要意見

(第3回)

【グループA】

交流・産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業団地の造成を始める</li> <li>・観光協会の予算を増やす</li> <li>・ツイッターやインスタグラムなどSNSで垂井町を拡散する</li> </ul>
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスの充実（グループをつくる）</li> <li>・おはようございます。こんにちは。こんばんは。出会う人に笑顔であいさつ</li> <li>・健診受診。地区毎の集団健診</li> <li>・健康づくりの意識を高める</li> </ul>
生涯学習・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ行事に参加する</li> <li>・地域のボランティア活動に子どもも参加</li> <li>・地域の歴史を知る</li> </ul>
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者交通安全大学 ⇒参加する ⇒周知する（行政と協力） ⇒各地区同時に実施</li> </ul>
基盤・都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の資源回収に協力する</li> <li>・服のリサイクル（学生服など）</li> <li>・空家の調査結果を各地区に報告してほしい→地域で手伝えることが出てくる</li> </ul>
人権・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの機会を増やす</li> <li>・地域の集いに参加</li> <li>・地域の役から逃げない！</li> <li>・住民が何かに参加する時は粗品を渡すとよい</li> <li>・例年通り、賛成・反対に屈しない！</li> </ul>
運営・行財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報を読む</li> <li>・チラシ・パンフなどだとわかりやすい</li> <li>・ワークショップの結果を広報とホームページで公開する！</li> <li>・選挙に行こう！立候補しよう！</li> <li>・議会を傍聴する</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントに参加</li> <li>・おもちゃ病院。モノを大切に、子どもとのつながり</li> <li>・イベント時は家族を呼ぶ</li> <li>・議会傍聴用バス運行⇒みんなで傍聴</li> </ul>

【グループB】皆で、参加

産業・交流	【参加】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に参加してみる⇒祭、歴史勉強会等（ボランティア・ガイドの養成）</li> <li>・歴史めぐりウォーキング</li> <li>・老人会の地元行事への参加（登山道の草刈り、神社の除草）</li> <li>・清掃ボランティアを町で1年に1回でなく2～3回行う</li> </ul>	
	【ボランティア】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高校生のボランティアガイドの養成</li> <li>・観光ボランティアの育成と活用を</li> <li>・他地区の行事参加及び勉強会参加（観光等）</li> </ul>	
	【造る】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅に観光の看板（大きいもの）を立てる</li> <li>・宿泊施設の新設（イベント等）（合宿）</li> <li>・道の駅設置</li> <li>・垂井温泉を作ってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南宮大社のお土産屋、コーヒー等を飲む施設</li> <li>・垂井ピアの見直し（毎年内容が同じ）</li> <li>・小中学校の土曜授業</li> </ul>
福祉・健康	【見守り】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内における一人住まいの方、老々介護の方について、リアルタイムに現状を把握できる対策（自治会長に現状等情報を入れる）</li> <li>・老人（独居）の見守り隊参加</li> <li>・自治会の近隣ボランティア（班長）（福祉）</li> <li>・隣同士で見守り・挨拶</li> </ul>	
生涯学習・教育	【学ぶ】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校のALTの充実</li> <li>・英会話講座（まちづくり協議会）→（子どもも参加する）</li> <li>・若い世代が中心になれる企画</li> </ul>	
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黄色のハンカチ（災害時）→まち協</li> </ul>	
都市基盤	【エコドーム】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部に建設。エコドームの積極的搬入参加</li> </ul>	
	【JR・バス】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋から関ヶ原まで乗り換えなしの電車の増発</li> <li>・町のバスを朝と夕方（通勤・通学）に運用してほしい</li> </ul>	
人権・協働	【まちづくりセンター活性化】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区のまちづくりセンターの活性化</li> </ul>	
空家	【人の集まる場所の確保】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光に繋げる空家の利用（町の援助可）（物産・飲食の販売）</li> <li>・人が集まる場所の確保（つくる・提供）</li> </ul>	

【グループC】まずは自分から動く！

産業・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致への協力をする</li> <li>・地元の商店でお買い物をする</li> <li>・他の地区のお祭にも行ってみる</li> <li>・サイクリングマップに載っている所に行ってみる</li> </ul>
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な体づくりをしよう！</li> <li>・老人の一人住まいに対する見守り</li> <li>・高齢者家族の方の見守り</li> </ul>
生涯学習・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室に参加する</li> <li>・青少年育成</li> <li>・青少年事業への協力</li> <li>・学校ボランティアへの参加</li> <li>・町の広報を読み情報を知る</li> <li>・歴史・文化（財）の周知・PR</li> </ul>
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校中の子どもたちを見かけたら挨拶を心がけよう</li> <li>・子どもたちの見守り（自転車乗り！！）</li> <li>・地域防災への協力</li> <li>・水害のない地域づくりへの参画・貢献</li> <li>・いざ！！というときの持ち出し品は大丈夫ですか？</li> <li>・色んなところを歩いてみる（挨拶、自然の発見、危険箇所）</li> </ul>
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンバス運用見直しへの提案</li> <li>・垂井駅の利用拡大（利用しよう！！）</li> <li>・子が区内で定住できる仕組みづくり（住宅！！）</li> </ul>
人権・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での人々の交流</li> <li>・地域事業への参加</li> <li>・地域の行事に参加してみる</li> <li>・地区センターで行われる行事には進んで参加しよう</li> <li>・すれ違った人には必ず挨拶をする</li> <li>・自ら進んで挨拶をする</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の散歩時のフンの処理。マナーを守って！！</li> <li>・地域の自然に恵まれた事業の発信（菩提山、ホテル）</li> <li>・SNSを利用して垂井のいいところを発信する</li> </ul>

【グループD】

産業・交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元で買い物をする</li> <li>・地域森林資源の活用（家、燃料、食事）</li> <li>・耕作放棄地の公開と活用方法の公募「ファンドを作る」</li> <li>・シルバー人材のPR</li> <li>・中山道復活、株式会社の設立</li> <li>・新役場に併設した道の駅の運営に参加する</li> </ul>
福祉・健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徘徊高齢者への声かけ</li> <li>・自分の健康に気を付ける</li> <li>・健康向上のための活動を増やす</li> <li>・医療、病気の勉強会開催と参加（実際病気になった人と）</li> </ul>
教育・生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財等興味を持たせるための教育</li> <li>・いろいろな特技を持っていらっしゃる方を掘り起こして、新しい生涯学習の場を増やす</li> <li>・地域の歴史に興味を持つ</li> <li>・まちづくりセンターと学校での環境教育の推進</li> <li>・まちづくりセンターを中心とした各種の活動</li> <li>・駅に近いところに高校大学をと訴える</li> </ul>
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体で「あいさつ」を積極的に行い、町全体で子ども・高齢者を守る</li> <li>・あいさつする</li> <li>・子どもの行動に関心を持つ</li> <li>・隣人把握のため自治会活動を行うこと</li> <li>・積極的に立ち話をする</li> <li>・子どもへの見守り、声かけ、時間</li> <li>・近所での困りごとを助け合う</li> <li>・安心・安全なまちづくりのために！！地域ボランティアの推進</li> <li>・三世代交流</li> </ul>
都市基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネの推進（子ども、大人、家庭でできること）</li> <li>・自然環境の保全（文化財等保護のために）</li> <li>・ごみを拾う</li> <li>・垂井駅を利用する</li> </ul>
人権 協働・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・垂井ピアの参加。若者が来たくなるような（マルシェ的な）</li> <li>・地域行事への参加</li> <li>・地域ボランティアへの参加</li> </ul>
運営 行財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会の指定管理者制度への参画</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパート入居の方も自治会加入は義務に！！</li> <li>・空家のデータベース化⇒住民の隣近所の情報集約</li> <li>・空家の登録・管理を地元へ託す方法を考える</li> <li>・外部の人に地元の自慢をする</li> <li>・課題を積極的に行政に提案する</li> </ul>

【グループE】 とにかく声かけ

※新しい交流を生むために積極的に声かけ⇒活気生まれる！！

<p>交流 産業・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光マップを作る</li> <li>・地元の会社で働く</li> <li>・自治会の立場から色々なボランティアに参加する機会が多くなった</li> <li>・農業活性化のために認定農業者育成</li> <li>・まちづくり協議会の行事に参加する</li> <li>・街歩きへの参加（紹介等のボランティア）</li> <li>・垂井町の観光を勉強する</li> <li>・観光ボランティアに参加する</li> </ul>	
<p>健康 福祉・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりセンターにキッズコーナーを設け子育て支援の一助</li> <li>・体力維持のためウォーキング他運動を積極的に実施している</li> <li>・町の健診を受ける</li> <li>・夏休みラジオ体操に参加する</li> <li>・ふれあいサロンへの参加</li> </ul>	<p>声かけ</p>
<p>生涯学習 教育・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能（太鼓）への参加と後継者の育成</li> <li>・祭りに参加する</li> <li>・生涯学習講座の受講</li> <li>・地域の行事に参加する（コムスポ（町体育祭）等）</li> <li>・インターネットで学習講座を探し参加する</li> <li>・学校のPTA活動に積極的に参加する</li> <li>・小中学校の評議員のため、今後はいろんなことを考える段階です</li> </ul>	<p>学ぶ意欲</p> <p>活気</p> <p>学校</p>
<p>安心 安全・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災リーダー研修会に参加する</li> <li>・自主防災がらみで放水訓練の実施、防災用具の点検を行っている</li> <li>・自主防災組織の見直し</li> <li>・ハザードマップの再作成</li> <li>・一人歩きしている子どもに声かけ</li> <li>・不登校の親さんに声をかけたり話を聞いたりする</li> <li>・子どもたちの登下校を見守ってあいさつする</li> <li>・土日部活動の見守り</li> </ul>	<p>防犯</p>
<p>都市基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町報に目を通す←広報</li> <li>・相川河川敷の整備（ごみ拾い）</li> <li>・エコドームを利用する</li> <li>・巡回バスを妻が利用しましたが、時間がかかりすぎ&lt;積極的な利用&gt;</li> </ul>	
<p>人権 協働・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族を大切にする</li> <li>・男性でもできる料理教室で学び、女性負担を軽減する</li> </ul>	
<p>運営 行財政</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場の意見箱を活用する</li> <li>・町議等の選挙に投票する</li> </ul>	<p>積極的に行政に参加</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空家を利用する</li> <li>・婚活パーティーの開催（活発化⇒人口増す）</li> </ul>	



【グループF】

交流 産業・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タリイピアに7地域の祭りが参加する</li> <li>・祭りやイベント事など友人たちに口コミする</li> <li>・空いている土地を利用してレンタル畑にする</li> </ul>
健康 福祉・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力維持のために積極的にスポーツを行う</li> <li>・福祉ボランティアへの参加（生活支援等）</li> <li>・認知症予防に対し、積極的に人々との交流を行う</li> <li>・健康診断を確実に受ける（がん検診等）</li> </ul>
生涯学習 教育・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護協会の講演会などを実施し参加</li> </ul>
安心 安全・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体を、特に夜間など地域によっては暗くて安全に問題があるので、一人ではあまり出かけない（歩いては）</li> <li>・子どもたちの登下校時の見回り</li> <li>・子どもへの声かけ（あいさつ等）</li> <li>・声かけ見守りなどに参加</li> </ul>
基盤 都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代の温泉を再利用して参加</li> </ul>
人権 協働・	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブへの積極的参加</li> <li>・話し合い—このことは大切にしていきたい</li> <li>・隣近所、同じ地域に住んでいる人、家族の把握</li> <li>・各々の役（行事）に対して、参加する意識を高める</li> </ul>
運営 行財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の施策に対する意見表明</li> </ul>

【グループG】

産業・交流	【観光PR】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験（農業を知る）→水田に入る、水田での泥んこ遊び、稲刈り体験</li> <li>・青少年育成→郷土学習、地域交流ウォーク、防災体験、バーベキュー等を通したふれあい、地域ポイントをまわる体験</li> <li>・土産品の開発みんなで考えよう会</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元でショッピング</li> </ul>
福祉・健康	【高齢者が活躍】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理。高齢者による高齢者の社会参加を進め、施設管理を委託（人件費の節約）</li> <li>・独居老人、障がい者の見守り活動の継続</li> </ul>
	【コミュニケーション】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子どもたちとのコミュニケーション。あいさつなど</li> <li>・一人生活をしている人等に声をかける</li> </ul>
	【健康】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドック（半日ドック）は毎年受診したい</li> </ul>	
教育・生涯学習	【少子】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子ども会活動への参加</li> <li>・子どもたちに地元の良さを伝える</li> <li>・森林の大切さ体験。例）しいたけ菌打ち体験、森林浴遊び散策</li> <li>・子育て。核家族化による個食、コミュニケーションの希薄を防止するため、定期的食事会の開催</li> <li>・行事への参加</li> <li>・地区センターの新たな活用</li> </ul>
安全・安心	【防災】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災。防災会の組織による学習。避難所運営訓練</li> <li>・小学生の登下校の見守り活動に参加</li> <li>・避難所の見直し</li> <li>・防災士のネットワーク作り</li> <li>・減災。地域の危険箇所巡回交流</li> <li>・住民目線での防災取り組み</li> </ul>
都市基盤	【意識】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕の散歩時に気がついたことを役場に連絡する（道路の凹穴、落下物、動物の死骸等）</li> <li>・垂井町に関心を持つ</li> </ul>
	【生活】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路補修のタイムリー化（特に通学路）</li> </ul>
	【交通】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活安全。高齢化に対応した巡回バスのコース、逆コースを設定により有効な確保ができる</li> </ul>

	【環境】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境美化活動の推進（自治会を通じて）</li> <li>• 生ごみは畑に埋めて減量する</li> </ul>
協働・人権	【ネットワーク】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まちづくり情報の積極的な取得</li> </ul>
	【ボランティア】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボランティア活動への理解・協力</li> </ul>
運営 行財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 会社生活の実績を活かして（放射線関係資格等）避難計画等を作成するときには参加してもよい</li> </ul>
その他	【空家対策】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空家対策が防犯対策に</li> <li>• 空家対策。北部地域には空家が増えている。体験入店、村の活性化交流。</li> </ul>
	【永住】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 垂井町に住み続ける</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 若者の話をよく聞く</li> </ul>

## ■ 6 住民ワークショップにおける主要意見

### 【実施風景】

